

SONY®

SOLID-STATE MEMORY CAMCORDER

PMW-500



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。このオペレーションマニュアルをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCM Power HAD FX SXS

MPEG HD422 CINEALTA i

OPERATION MANUAL Japanese

1st Edition (Revised 5)

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9ページから13ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

故障したら使用を中止する

ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご連絡ください。

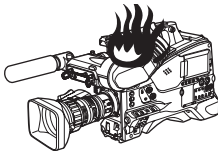
万一、異常が起きたら

- 異常な音、におい、煙が出たら
- 落下させたら



- ① 電源を切る。
- ② バッテリーやDC電源接続コード、および接続ケーブルを抜く。
- ③ ソニーのサービス担当者、または営業担当者に修理を依頼する。

炎が出たら



すぐに電源を切り、消火する。

警告表示の意味

オペレーションマニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れなどにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



スラグをコン
セントから抜く

目次

△ 警告	9
△ 注意	10
電池についての安全上のご注意	12
電池のリサイクルについて	13
その他の安全上のご注意	13
はじめに	14
ご使用の前に	14
本書の表記について	14

1 章 概要

特長	15
各部の名称と働き	17
電源部	17
アクセサリ取り付け部	18
操作・端子部	20
LCD モニター画面	30
ビューファインダー HDVF-20A (別売)	32
ビューファインダー CBK-VF01 (別売)	33
ビューファインダーの表示	34

2 章 準備

電源の準備	41
バッテリーパックを使用する	41
AC 電源を使用する	42
ビューファインダーの取り付け	43
ビューファインダーを取り付ける	43
位置を調整する	43
ビューファインダー回転収納機構 BKW-401 を取り付ける	44
アイピース部を取りはずす	45
視度と画面を調整する	45
使用地域の設定	46

内蔵時計の日付と時刻の設定	47
レンズの取り付けと調整	48
フランジバックの調整	49
音声入力の準備	50
MIC IN 端子にマイクロホンを接続する	50
AUDIO IN 端子にマイクロホンを接続する	51
UHF ポータブルチューナーを取り付ける (UHF ワイヤレスマイ クロホン使用時)	52
ライン入力用オーディオ機器を接続する	54
三脚への取り付け	55
ビデオライトの接続	56
ショルダーベルトの取り付け	56
ショルダーパッドの位置調整	57

3 章 撮影のための調整と設定

ビデオフォーマットの設定	58
記録モードを選択する	60
ビデオフォーマットを変更する	60
ブラックバランス／ホワイトバランスの調整	61
ブラックバランスを調整する	61
ホワイトバランスを調整する	62
電子シャッターの設定	64
シャッターモードについて	64
シャッターモード／シャッタースピードを設定する	65
オートアイリスの設定	66
音声レベルの調整	68
AUDIO IN CH-1/CH-2 端子からの音声レベルを手動調整する ..	68
MIC IN 端子からの音声レベルを手動調整する	68
チャンネル 3、4 への音声の記録について	69
タイムデータの設定	70
タイムコードを設定する	70
ユーザービットを設定する	71
タイムコードを外部ロックさせる	71
ショットデータの設定	73
ショット ID を作成する	73

4章 撮影

SxS メモリーカードの取り扱い	76
SxS メモリーカードについて	76
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す	77
使用する SxS メモリーカードを切り換える	78
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	79
本機と SxS メモリーカードの記録モードが異なる場合	80
残りの記録可能時間を確認する	80
SxS メモリーカードを修復する	80
USB メモリーの取り扱い	81
USB メモリーをフォーマット（初期化）する	81
USB メモリーを修復する	82
基本操作	83
記録したクリップを再生する	84
記録したクリップを削除する	85
応用操作	86
ショットマークを記録する	86
OK マークを設定する	87
数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）	87
間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）	88
コマ撮りする（フレームレック機能）	90
スロー&クイックモーション撮影する	92
クリップコンティニューアスレック機能を使って撮影する	94
フリーズミックス機能を使ってフレーミングする	95
プロキシデータの記録	96
クリップを記録しながらプロキシデータを記録する	96
クリップのプロキシデータを記録する	96
USB メモリー内のプロキシデータをすべて消去する	97
プランニングメタデータの操作	98
プランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み 込む	98
プランニングメタデータでクリップ名を設定する	100
プランニングメタデータでショットマーク名を設定する	101

5 章 クリップ操作

クリップの再生	103
サムネイル画面	103
クリップを再生する	106
クリップをサムネイルサーチする	107
サムネイル操作	109
THUMBNAIL メニュー構成	109
THUMBNAIL メニューの基本操作	111
サムネイル画面の種類を変更する	111
クリップの詳細情報を表示する	113
クリップに OK、NG、KP マークを付ける／削除する	114
クリップを保護する	115
クリップをコピーする	116
クリップを削除する	117
エキスパンドサムネイル画面を表示する	118
エッセンスマークサムネイル画面を表示する	119
ショットマークを追加／削除する	120
クリップの代表画を変更する	120
クリップを分割する	121

6 章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	122
セットアップメニューの構成	122
セットアップメニューの階層	122
セットアップメニューの基本操作	124
メニュー一覧	127
USER メニュー（工場出荷時の構成）	127
OPERATION メニュー	128
PAINT メニュー	145
MAINTENANCE メニュー	151
FILE メニュー	165
アサインابلスイッチに機能を割り当てる	170
ASSIGN. 0 スイッチに割り当て可能な機能	170
ASSIGN. 2 スイッチに割り当て可能な機能	170
ASSIGN. 1/3 スイッチ、ASSIGNABLE 4/5 スイッチと COLOR TEMP. ボタンに割り当て可能な機能	171
レンズの RET ボタンに割り当て可能な機能	173

7 章 ユーザー設定データの保存と呼び出し

設定の保存と呼び出し	174
設定データを保存する	174
設定データを呼び出す	175
変更されたファイルの内容を初期状態にリセットする	176
シーンファイルの保存と呼び出し	177
シーンファイルを保存する	177
シーンファイルを呼び出す	177
レンズファイルの保存と呼び出し	178
レンズファイルを設定する	178
レンズファイルを保存する	178
レンズファイルを呼び出す	179
レンズファイルを自動で呼び出す	180
ユーザーファイルの保存と呼び出し	180
ユーザーファイルを保存する	180
ユーザーファイルを呼び出す	181

8 章 外部機器の接続

外部モニターを接続する	182
コンピューターでクリップを管理・編集する	184
コンピューターの ExpressCard スロットを使う	184
コンピューターと USB 接続する	184
外部機器を接続する (i.LINK 接続)	187
本機の画像を外部機器で記録する	187
ノンリニア編集する	188
外部入力信号を記録する	188
撮影／収録システムを構成する	189

9 章 保守・点検

撮影前の点検	190
保守	190
ビューファインダーをクリーニングする	190
バッテリー端子に関するご注意	191
エラー／警告システム	192

エラー表示	192
警告表示	192

付録

使用上のご注意	199
内蔵時計用電池の交換	201
主な仕様	202
一般	202
カメラ部	203
オーディオ部	203
表示部	204
メディア部	204
入出力部	204
付属品	205
関連機器	205
周辺機器・アクセサリ一覧図	207
i.LINK について	208
MPEG-4 Visual Patent Portfolio License について	209
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	209
ビットマップフォントについて	209
OpenSSL について	210
索引	213



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら記録／再生をすることはおやめください。交通事故の原因となります。



指示

指定の電源で使用する

オペレーションマニュアルに記されているバッテリーパックまたは AC アダプターでお使いください。指定以外のバッテリーパックや AC アダプターで使用すると、火災の原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、バッテリーや

DC 電源接続コード、および接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。



指示

雷が鳴り出したら、使用を中止する

感電の原因となります。落雷を避けるため、使用を中止して本機から離れてください。



禁止

DC 電源接続コードを傷つけない

DC 電源接続コードやマイク用電源供給ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- DC 電源接続コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- DC 電源接続コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、DC 電源接続コードが傷んだら、ソニーのサービス担当者、または営業担当者に交換をご依頼ください。



分解禁止

外装をはずさない、改造しない

外装をはずしたり、改造したりすると、感電の原因となります。

内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、必ずソニーのサービス担当者、または営業担当者にご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で AC アダプターなどの電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがの原因となります。






プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、AC アダプターのプラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

 <p>禁止</p> <p>SxS メモリーカードスロットに手や指を入れない SxS メモリーカードスロットに手や指を入れると、けがの原因となることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>部品の取り付けを正しく行う 本機に以下の部品を取り付けるときは、オペレーションマニュアルの該当するページをよく読んで、確実に取り付けてください。 取り付け方法を誤ると部品やカムコーダー本体が落下し、けがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• レンズ• ショルダーベルト• バッテリーパック• アダプター類• ビューファインダー• ライト• 三脚アタッチメント
 <p>禁止</p> <p>指定以外のケーブル／機器を接続しない カムコーダーの外部端子に規定以外のケーブル／機器を接続した場合、発煙、発火の恐れがあります。</p>	
 <p>禁止</p> <p>レンズやビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない 太陽光がレンズやビューファインダーの接眼レンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。</p>	
 <p>禁止</p> <p>通風孔をふさがない 通風孔をふさいだまま使用すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。</p>	 <p>注意</p> <p>三脚アタッチメントは重心を考慮して取り付ける 三脚アタッチメントを三脚に取り付けるとき、カムコーダーと三脚アタッチメントの重心を考慮して適切な位置の穴を選び、カムコーダーを三脚アタッチメントに確実に取り付けないと、カムコーダーが転倒・落下しけがの原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p> <p>指定された動作温度・動作湿度で使用する 動作温度・動作湿度を超えた環境、またはほこりや油煙・湯気が極端に多い場所で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>保管するときは安定した場所に置く ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、カムコーダーが落下してけがの原因となることがあります。</p>



指示

コード類は正しく配置する

DC 電源接続コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

正しい姿勢でカムコーダーを担ぐ

カムコーダーの突起部を体に強くぶつけると、けがの恐れがあります。



高温

ビデオライト使用時は、高温部分に触れない

ビデオライト使用時または使用直後は、ライト本体およびその周辺部が高温になっているため、やけどをすることがあります。カムコーダーの取っ手を持って運搬するときなどは、ライト本体およびその周辺部に触れないよう注意して運搬してください。



指示

運搬するときは、取っ手を持つ

取っ手以外のところを持って運ぶと、カムコーダーが落下してけがの原因をなることがあります。



禁止

MIC IN (+48V) 端子には外部電源 (+48V) 対応以外のマイクを接続しない

外部電源 (+48V) に対応していないマイクを MIC IN (+48V) 端子に接続すると、マイクが故障する可能性があります。



禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、警告メッセージ「Fan Stopped」が表示されます。

そのまま使用し続けると内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

電池についての安全上 のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
 - ① 機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
 - ② ソニーのサービス担当者に連絡する。
- 電池の液が目に入ったら
すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら
すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら
よくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

危険

- 充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

警告

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や⊕極と⊖極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。

- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあつたときは、すぐに使用や充電をやめる。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。

注意

充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

電池のリサイクルについて



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

その他の安全上のご注意

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

はじめに

ご使用前に

ソニーソリッドステートメモリーカムコーダー PMW-500をお買い上げ後、ご使用になるためには、使用地域の設定が必要です。(使用地域が未設定の状態では本機を使用することはできません。)

◆設定のしかたについては「使用地域の設定」(46 ページ)をご覧ください。

ご注意

PMW-500 (以下、「本機」) に対して周辺機器やアクセサリーの取り付け/取りはずしを行うときは、必ず本機の電源をオフにしてください。

本書の表記について

本書では、本機が特定の動作モードのときのみ使用できる機能や表示される情報の説明に次のマークを付記しています。

HD

メニューのOPERATION >Format >HD/SDがHDに設定されているとき (HDモード)

UDF

メニューのOPERATION >Format >File SystemがUDFに設定されているとき (UDFモード)

FAT-HD

メニューのOPERATION >Format >File SystemがFATに設定されていて、かつメニューのOPERATION >Format >HD/SDがHDに設定されているとき (FATのHDモード)

FAT-SD

メニューのOPERATION >Format >File SystemがFATに設定されていて、かつメニューのOPERATION >Format >HD/SDがSDに設定されているとき (FATのSDモード)

1章 概要

特長

$\frac{2}{3}$ 型フルHDと「PowerHAD FX」 CCD回路を採用

- フルHD（1920×1080）の207万画素で構成されている $\frac{2}{3}$ 型ITプログレッシブのイメージセンサー
 - 14ビットA/Dコンバーターを搭載した信号処理用ASICを含む新開発の「PowerHAD FX」CCD回路イメージセンサー部にこれらの技術を採用することによって、感度F11（59.94i）/F12（50i）、S/N 59dB¹⁾を実現し、高画質な映像の撮影が可能になりました。
- 1)ノイズサプレッサー機能ON時（OFF時は54dB）ノイズサプレッサーとは、ソニー独自の信号処理技術によって高域ノイズ成分を抑制する機能です。

記録メディアにSxSメモリーカード を採用

記録画像へのランダムアクセスやファイルベースの操作が可能なSxSメモリーカードを採用しています。

記録メディアのファイルシステムは、FATまたはUDFを選択できます。

軽量・低消費電力

専用の映像信号処理LSI、およびSxSメモリーカードの採用によって、消費電力を約27W以下に抑えました。さらに本体の軽量化（3.4kg）と低重心設計によって、担い

ときの肩への負担の軽減と安定感を両立しています。

MPEG-2 Long GOP画像圧縮によるHD記録およびMPEG IMX50/ DVCAMフォーマットのSD記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920×1080、1440×1080、1280×720のHD画像を記録します。

FATモードで記録する場合は、ビットレートは、35Mbps（HQモード）または25Mbps（SPモード）に設定できます。UDFモードで記録する場合は、ビットレートを35Mbps（HQモード）または50Mbps（HD422モード）に設定できます。

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を32GBのSxSメモリーカード1枚に

50Mbps（HD422モード）で約60分、35Mbps（HQモード）で約90分記録できます（UDFモードで記録した場合）。

また、MPEG IMX 50MbpsおよびDVCAM 25MbpsフォーマットでのSD記録・再生も可能です。¹⁾

1)SD記録再生キーCBK-MD01（別売）が必要です。詳しくは、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にお問い合わせください。

マルチフォーマット対応

インターレース方式（1080/59.94iまたは1080/50i）、プログレッシブ方式（1080/29.97P、1080/23.98P、720/59.94P、720/29.97P、720/23.98P、または1080/25P、720/50P、720/25P）に対応し、各種のHD記録方式をワールドワイドでカバーしています。

また、NTSC/PAL方式のSD信号にも対応しており、SD信号をIMX/DVCAMフォーマット

トで記録・再生したり、HD信号をSD信号にダウンコンバートして出力することもできます。

充実した機能（操作性の向上とさまざまな撮影シーンに対応）

- ピクチャーキャッシュ機能
- 光学NDフィルターと電氣的CCフィルター
- ハイパーガンマ
- スローシャッター機能
- クリップコンティニュアスレック機能
- フレームレック機能
- インターバルレック（間欠記録）機能
- スロー&クイックモーション機能
- フリーズミックス機能
- ライブアンドプレイ機能
- デジタルエクステンダー機能¹⁾
- 拡大フォーカス機能
- アサインابلスイッチ
- 3.5型高解像度カラー LCDモニター
- リモートコントロール

1)SDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02（別売）装着時

USBメモリーへのデータ記録／ USBメモリーからのデータ読み込み（UDFモード時）

外部機器接続端子にUSBメモリーを接続して、プロキシデータを記録したり、プランニングメタデータを読み込むことができます。また、セットアップメニューの設定内容をUSBメモリーに保存し、読み出すことができます。

無線LAN接続に対応

外部機器接続端子に別売のWi-FiアダプターCBK-WA01、USB無線LANモジュールIFU-WLM3やワイヤレスアダプターCBK-WA100を接続すると、本機とコンピュータを無線LAN接続（Wi-Fi接続）することができます。

Wi-Fi接続を介して、コンピュータから本機にプランニングメタデータを転送したり、本機からコンピュータにクリップなどのファイルを転送することができます。また、ライブロギング機能を使って、撮影中のプロキシAVデータをコンピュータに転送し、ロギングすることができます。

XDCAMならではの従来機能を踏襲

サムネイル表示、メタデータの管理など、従来のXDCAMのワークフローを継承しながら、マンマシインターフェースの充実を図っています。

2種類のビューファインダーに対応

別売のHDVFシリーズビューファインダーとHDカラービューファインダーCBK-VF01を、用途に応じて使い分けることができます。

カムコーダーシステムの構成

別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02を装着すると、HDカメラアダプターCA-FB70をマウントして、HDカメラコントロールユニットCA-TX70と接続し、撮影／収録システムを構成できます。

CBK-HD02の装着時は、カメラアダプターの代わりにMPEG TSアダプターHDCA-702を接続して、本機のHDSDI出力をMPEG HDトランスポートストリームに変換することもできます。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトホームページ：

アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>

カナダ <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ <http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

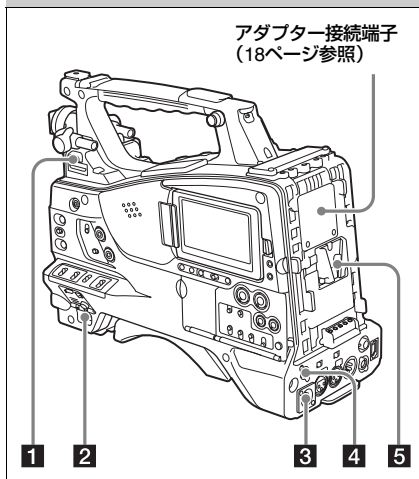
アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

各部の名称と働き

電源部



1 LIGHT (ビデオライト動作モード切り換え) スイッチ

LIGHT端子 (19ページ参照) に接続したビデオライトのオン/オフのしかたを選択します。

AUTO：ビデオライトのPOWERスイッチをONにしておくと、本機で記録しているときにライトが点灯する。

MANUAL：ビデオライトのPOWERスイッチでライトをオン/オフする。

ご注意

ピクチャーキャッシュモードでの記録時は、記録開始の操作をする前（メモリーにデータを蓄積している期間）にライトを点灯させることはできません。

2 POWER (電源) スイッチ

主電源をオン/オフします。

3 DC IN (DC電源入力) 端子 (XLR 4ピン、凸)

本機をAC電源で動作させるとき、この端子に別売のDC電源コードを差し込み、バッテリーチャージャー BC-L70、BC-L160などのDC出力端子に接続します。

4 DC OUT 12V (DC電源出力) 端子 (4ピン、凹)

UHFシンセサイザーダイバーシティーチューナー WRR-860C/861/862 (別売) 用の電源を供給します (最大0.5A)。

ご注意

UHFシンセサイザーダイバーシティーチューナー以外の機器は接続しないでください。

5 バッテリー取り付け部

バッテリーパックBP-L80Sを取り付けます。また、ACアダプター AC-DN2B/DN10を取り付けて、AC電源で本機を動作させることもできます。

◆「電源の準備」(41ページ)

◆「UHFポータブルチューナーを取り付ける (UHFワイヤレスマイクロホン使用時)」(52ページ)

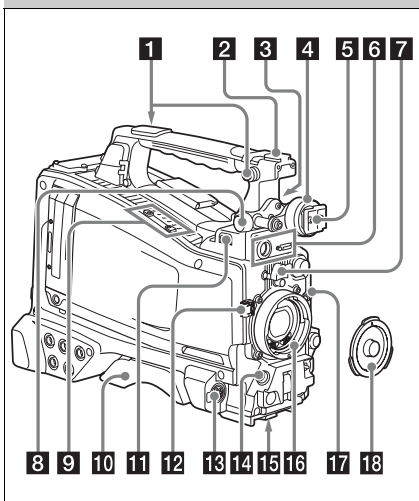
ご注意

本機を安全かつ正常な動作状態でお使いいただくために、バッテリーパックBP-L80Sの使用を推奨します。

アダプター接続端子

カバーをはずして別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02を装着すると、HDカメラアダプター CA-FB70やMPEG TSアダプター HDCA-702を接続できます。

アクセサリ取り付け部



1 ショルダーベルト取り付け金具

付属のショルダーベルトを取り付けます (56ページ参照)。

2 アクセサリーシュー

ビデオライトなどを取り付けます (56ページ参照)。

3 ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの位置を前後方向に調整するとき、このレバーとLOCKつまみをゆるめて調整します。調整後、LOCKつまみと共にロックします。

4 ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの位置を左右方向に調整するときゆるめます (43ページ参照)。

5 ビューファインダー取り付けシュー

ビューファインダーを取り付けます。

6 VF (ビューファインダー) 端子 (角型26ピンおよび丸型20ピン)

HDVFシリーズビューファインダー用のアナログインターフェース端子(20ピン)と、

HDビューファインダー CBK-VF01用のデジタルインターフェース端子(26ピン)です。使用するビューファインダーに対応する端子に、ビューファインダーに接続ケーブルを接続します。

ご注意

両方の端子に同時にビューファインダーを接続しないでください。

7 レンズマウントゆるみ止めゴム

レンズ固定レバーでレンズを固定した後に、このゴムを2つある突起の下側の突起にはめ込みます。レンズマウントが固定され、レンズマウントがゆるむのを防ぎます。

8 ビューファインダー前後位置LOCKつまみ

ビューファインダーの位置を前後方向に調整するときゆるめます（43ページ参照）。

9 別売マイクホルダー取り付け部

別売のマイクホルダー CAC-12を取り付けます（51ページ参照）。

10 ショルダーパッド

ショルダーパッド固定レバーを持ち上げると、前後方向に位置を調節できます。本機を肩にのせたとき操作しやすくなるように、適当な位置に調節します（57ページ参照）。

11 LIGHT（ライト）端子（2ピン、凹）

アントンパワー社製のウルトラライト2または同等品で、50W以下のビデオライトを接続します（56ページ参照）。

12 レンズケーブルクランプ

レンズケーブルを固定します。

13 MIC IN（マイク入力）（+48V）端子（XLR型、5ピン、凹）

ステレオマイクを接続する端子です。マイク用の電源（+48V）はこの端子から供給されます。

14 LENS（レンズ接続用）端子（12ピン）

レンズケーブルを接続します。

ご注意

本機にレンズケーブルの接続/取りはずしを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

15 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメント（別売）を取り付けます。

16 レンズマウント（特殊バヨネット型）

レンズを取り付けます。

◆使用できるレンズについては、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にお問い合わせください。

17 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに差し込んだ後、このレバーでレンズマウントリングを回してレンズを固定します。

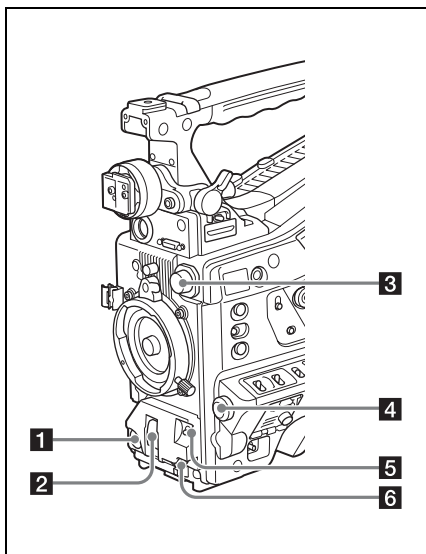
レンズを固定した後は、必ずレンズマウントゆるみ止めゴムを使用してください。

18 レンズマウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げると取りはずせません。レンズを取り付けていないときは、はめ込んでおきます。

操作・端子部

前面

**1 REC START (記録開始) ボタン**

押すと記録が始まり、もう一度押すと止まります。レンズにあるRECボタンと同じ動作をします。

2 SHUTTER (シャッター) スイッチ

電子シャッターを使うときにONにします。SELECT側に押すと、シャッタースピードとシャッターモードの表示が切り替わります。スイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

◆「電子シャッターの設定」(64ページ)

3 FILTER (フィルター切り換え) つまみ

本機に内蔵されている4種類のNDフィルターを切り換えるためのつまみです。このつまみの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

FILTER つまみ ND フィルターの種類**まみの設定**

1	CLEAR (素通し)
2	$1/4$ ND (光を約 $1/4$ に減衰させる)
3	$1/16$ ND (光を約 $1/16$ に減衰させる)
4	$1/64$ ND (光を約 $1/64$ に減衰させる)

MAINTENANCEメニューの設定を変更することにより、つまみの各位置にホワイトバランスの設定値を個別に記憶させておくことができるため、フィルターの切り換えに連動して、撮影条件に応じた最適なホワイトバランスが得られます。

◆「ホワイトバランスを調整する」(62ページ)

4 MENUつまみ

各メニュー内の項目選択や設定値の変更をするときに使います(124ページ参照)。

5 AUTO W/B BAL (ホワイトバランス/ブラックバランス自動調整) スイッチ

次のようにホワイトバランスやブラックバランスを自動調整します。

WHITE : ホワイトバランスを自動調整する。このとき WHITE BALスイッチ(22ページ参照)をAまたはBにしておくと、調整された値がメモリー AまたはBに記憶される。WHITE BALスイッチがPRSTのときは動作しない。

BLACK : ブラックセットとブラックバランスを自動調整する。

自動追尾ホワイトバランス(ATW)時も動作します。

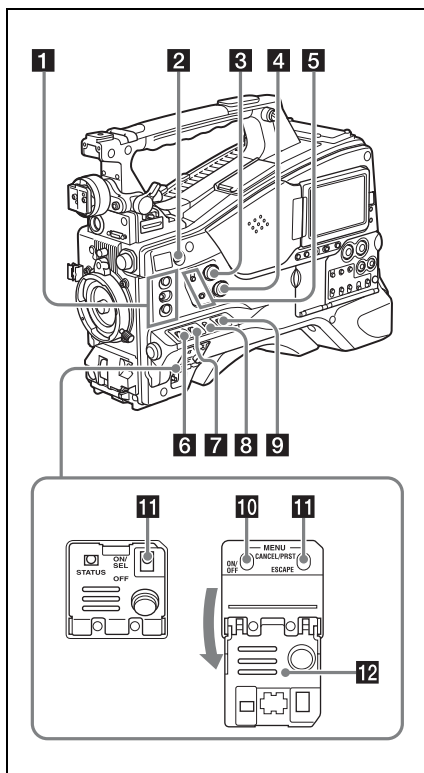
オートホワイトバランス実行中に再度WHITE側に倒すと、オートホワイトバランスは中止され、元のホワイトバランス状態に戻ります。

オートブラックバランス実行中に再度BLACK側に倒すと、オートブラックバランスは中止され、元のブラックバランス状態に戻ります。

6 MIC LEVEL (マイクレベル) つまみ

音声チャンネル1/2/3/4の入力レベルを調整します(68ページ参照)。

右側面 (前部)

**1** ASSIGN. (アサインابل) 1/2/3スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます (170ページ参照)。工場出荷時には、ASSIGN1/2/3にOffが割り当てられています。

ASSIGN. 1/3スイッチには、オン/オフが確認できるインジケーターが付いています。

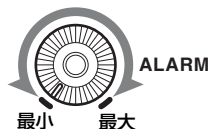
2 COLOR TEMP. (色温度切り換え) ボタン

押すと点灯し、撮影するときの色温度を変更できます (工場出荷時)。また、アサインابلスイッチとして使用することができます (171ページ参照)。

3 ALARM (警告音量調節) つまみ

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音の音量を調節します。最小にすると、警告音は聞こえなくなります。

ただし、メニューのMAINTENANCE > Audio > Min Alarm VolumeをSetに変更すると、このつまみが最小の位置でも警告音が聞こえるようになります。

**4** MONITOR (音量調節) つまみ

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音以外の音声の音量を調節します。最小にすると、音声は聞こえなくなります。

5 MONITOR (オーディオモニター選択) スイッチ

2つのスイッチの組み合わせによって、内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる音声を以下のように選択します。

下側のスイッチ：CH-1/2

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル1の音声
MIX	チャンネル1と2の混合音声 (ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル2の音声

下側のスイッチ：CH-3/4

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル3の音声
MIX	チャンネル3と4の混合音声 (ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル4の音声

a) EARPHONE端子にステレオヘッドホンを接続すると、音声をステレオで聞くことができます。(メニューのMAINTENANCE > Audio > Headphone OutをStereoに設定する必要があります。)

6 ASSIGN. (アサインابل) 0スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます (170ページ参照)。

工場出荷時には、Offが割り当てられています。

押すたびに動作が切り替わるモーメントリタイプのスイッチです。

7 GAIN (ゲイン切り換え) スイッチ

撮影時の照明状態に合わせて、映像アンプのゲイン (利得) を切り換えます。L、M、H の設定に対応するゲイン値は、あらかじめメニューのOPERATION >Gain Switchで (137ページ参照) 指定します (工場出荷時の設定は、L=0dB、M=6dB、H=12dB)。このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

8 OUTPUT (出力信号切り換え) /DCC (ダイナミックコントラストコントロール機能切り換え) スイッチ

カメラ部から出力する信号を以下の2つから選択します。

BARS : カラーバー信号を出力する。

CAM : 撮影中の映像信号を出力し、DCC機能¹⁾のオン/オフを切り換えることができる。

1)DCC (Dynamic Contrast Control) 機能 :

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやける。このようなときにDCC機能を動作させると、高輝度部分を自動的に抑え、背景をくっきりと再現できる。次のような場面の撮影に効果を発揮する。

- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- コントラストの強い場面を撮るとき

9 WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ

以下のようにホワイトバランスの調整方法を切り換えます。

PRST : 色温度をプリセット値 (工場出荷時の設定は3200K) に調整する。ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに合わせる。

AまたはB : あらかじめAまたはBに保存しておいたホワイトバランスの調整値を呼び出す。AUTO W/B BALスイッチ (20ページ参照) をWHITE側に押すと、ホワイトバランスを自動的に調整し、調整値をメモリー Aまたはメモリー Bに記憶する。

B (ATW¹⁾) : OPERATIONメニューのWhite SettingでWhite Switch をATWに設定しておくこと、ATWが動作する。

なお、ATWが動作中でも、AUTO W/B BALスイッチは機能する。

このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

1)ATW (Auto Tracing White balance) : 照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスを自動的に追従させる機能

ご注意

照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。

例 :

- 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
- 色温度が非常に高い非常に低い光源下の被写体

ATWの自動追従の時間が遅かったり、適切な効果が得られない場合は、AWBを実行してください。

10 MENU ON/OFF (メニュー表示オン/オフ) スイッチ

スイッチカバーを開けると使用できるようになります。

ビューファインダー画面やテスト出力画面上に設定メニューを表示するときに使用します。スイッチを押し下げると、メニューの表示/非表示が切り替わります。サムネイル画面操作部のMENUボタンも同じ働きです。

ご注意

スイッチカバーを閉じて、メニューは非表示にはなりません。

11 MENU CANCEL/PRST/ESCAPE (メニュー設定取消し/プリセット/戻る) スイッチ

スイッチカバーを開けると使用できるようになります。

メニューが表示されている場合と表示されていない場合で機能が異なります。

メニューが表示されているときは、次のように使用します。

CANCEL/PRST : メニューの設定変更後に

この位置へ押し上げると、変更した設定を取り消すかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると設定が取り消される。

メニューの設定変更前または設定変更を取り消した後にこの位置へ押し上げると、現在の設定を標準設定(初期設定値)にリセットするかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると現在の設定が標準設定にリセットされる。

ESCAPE : 階層構造を持つメニューを開いているときに使用する。この位置に押し下げると、現在の階層から1つ上の階層に戻る。

メニューが表示されていないときは、次のように使用します。

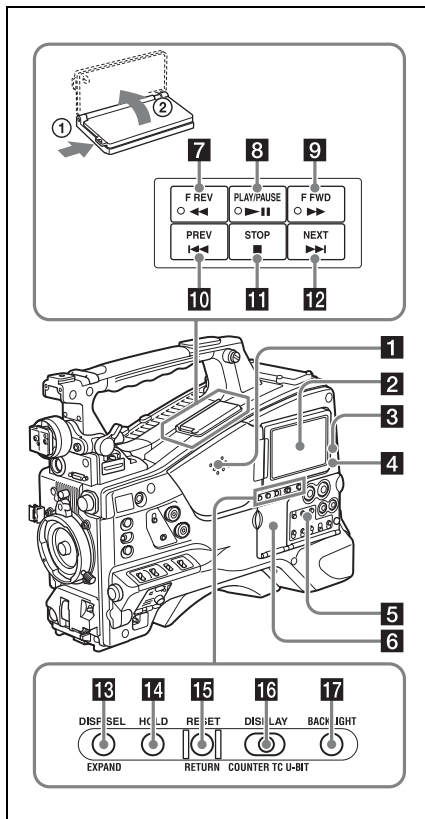
CANCEL/PRST : この位置に押し上げると、本機の各種設定や状態を確認するための画面がビューファインダーに表示される(74ページ参照)。この画面は5ページあり、押し上げるごとに、ページが変わる。画面は約10秒間表示される。

ESCAPE : 画面を表示させた直後に、画面を消したいとき、この位置に押し下げる。

12 スイッチカバー

MENU ON/OFFスイッチ、またはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチを操作するとき、このカバーを開けます。

右側面(後部)



1 内蔵スピーカー

記録中はE-E音¹⁾を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます(192ページ参照)。

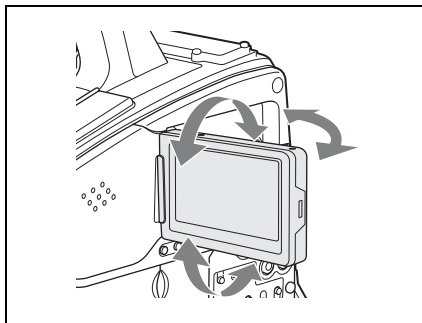
なお、EARPHONE端子にイヤホンをつなぐと、内蔵スピーカーからは音が聞こえなくなります。

1) **E-E** : 「Electric to Electric」の略。本機に入力され、本機内部の電気回路のみを通して出力端子から出てくる映像信号または音声信号のこと。これによって入力信号を確認できる。

2 LCDモニター

バッテリー残量、メディア残量、音声レベル、タイムデータなどを表示します(30

ページ参照)。また、カメラ画や再生画を確認できます。
LCDモニターは位置や角度を調整することができます。



3 WARNING (警告) ランプ

異常が発生すると、点滅または点灯します (192ページ参照)。

4 ACCESS (アクセス) ランプ

記録メディアに書き込みや読み出しが行われているときに青で点灯します。

5 オーディオ調整部の保護カバー

開くとオーディオ調整部が現れます (25ページ参照)。

6 サムネイル画面操作部の保護カバー

開くとサムネイル画面の操作部が現れます (25ページ参照)。

7 F REV (逆高速再生) ボタンとランプ

逆方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。逆方向高速再生中はランプが点灯します。

8 PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタンとランプ

再生するときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に再度このボタンを押すと一時停止状態となり、静止画が出力されます。このとき、ランプが毎秒1回の速さで点滅します。

再生/一時停止中にF REVボタンまたはF FWDボタンを押すと、逆方向または順方向の高速再生になります。

9 F FWD (高速再生) ボタンとランプ

順方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。順方向高速再生中はランプが点灯します。

10 PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタン

現在のクリップの先頭にジャンプします。F REVボタンと同時に押すと、記録メディア内で最初に記録されたクリップの先頭画にジャンプします。
このボタンをすばやく2回押すと、直前のクリップ (存在しない場合は現在のクリップ) の先頭画にジャンプします。

11 STOP (停止) ボタン

再生をやめるときに押します。

12 NEXT (順方向クリップジャンプ) ボタン

次のクリップの先頭にジャンプします。F FWDボタンと同時に押すと、記録メディア内の最後に記録されたクリップの先頭画にジャンプします。

13 DISP SEL/EXPAND (表示選択/エクスパンド) ボタン

ボタンを押すごとに、LCDモニターの表示内容が次表のように切り替わります。

表示内容	説明
文字情報付きの映像 (CHAR)	ビューファインダー画面と同様の文字情報が表示される。
文字情報なしの映像 (MONI)	映像のみ表示される。
ステータス表示 (STATUS)	カウンター、各種の警告、音声レベルなどが表示される。映像は表示されない。

サムネイル画面表示中に押すと、選択したクリップを分割し、分割されたそれぞれの先頭フレームをさらにサムネイルとして一

覧表示します（エクスパンド機能）。HD記録されたMP4クリップは時間で12分割、SD記録されたAVIクリップは、複数ファイルで構成されている場合のみ、ファイルごとに分割表示されます。

MP4クリップの場合は、押すたびに分割を繰り返します。SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すと、押すたびに1つ前の分割状態に戻ります。

14 HOLD（データ表示保持）ボタン

押した瞬間に、LCDモニターのタイムデータの表示が保持されます。（ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。）もう一度押すと、保持状態が解除されます。

◆カウンター表示について詳しくは、31ページをご覧ください。

15 RESET/RETURN（リセット／リターン）ボタン

LCDモニターのタイムカウンター表示部に表示されている値をリセットします。PRESET/REGEN/CLOCKスイッチ（26ページ参照）とF-RUN/SET/R-RUNスイッチ（26ページ参照）の設定に応じて、次のように働きます。

スイッチの設定	RESET/RETURN ボタンの働き
DISPLAYスイッチ： COUNTER	カウンターを 0：00：00：00にリセットする。
DISPLAYスイッチ： TC	タイムコードを 00：00：00：00にリセットする。
PRESET/REGEN/ CLOCKスイッチ： PRESET	
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ：SET	
DISPLAYスイッチ： U-BIT	ユーザービット ^{a)} データ を00 00 00 00にリセットする。
PRESET/REGEN/ CLOCKスイッチ： PRESET	
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ：SET	

a)メディアに記録されるタイムコードビットのうち、ユーザーが必要な情報を記録するために使うことのできるビット。

◆「タイムデータの設定」（70ページ）

エクスパンドサムネイル画面やエッセンスマークサムネイル画面の表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。

16 DISPLAY（カウンター表示切り換え）スイッチ

LCDモニターのタイムカウンター表示部の表示をCOUNTER、TC、U-BITの順に切り換えます（30ページ参照）。

COUNTER：記録・再生経過時間のカウンターを表示する。

TC：タイムコードを表示する。

U-BIT：ユーザービットを表示する。

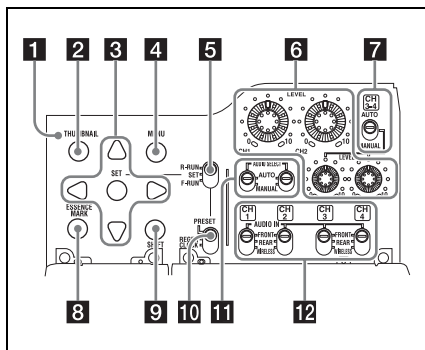
17 BRIGHT（明るさ設定）ボタン

LCDモニターのバックライトの明るさを切り換えます。

ボタンを押すたびに、次表の順番で明るさが切り替わります。LCDモニターの消灯時にこのボタンを押すと、Hの状態ではLCDのバックライトが点灯します。

設定	LCD モニターのバックライト
H	高輝度（日中の屋外でLCDモニターの表示をみるときに選択する）
M	HとLの中間の明るさ
L	低輝度（室内または夜間の屋外でLCDモニターの表示をみるときに選択する）
OFF	消灯（表示も消える）

サムネイル画面操作部とオーディオ調整部



1 サムネイルインジケーター

サムネイル画面が表示されているときに点灯します。

2 THUMBNAIL (サムネイル) ボタン

サムネイル操作を行うとき、このボタンを押してサムネイル画面（103ページ参照）を表示します。

もう一度押すと、元の画面に戻ります。

3 SET (設定) ボタンと矢印ボタン

タイムコードやユーザービットの数値の設定、およびサムネイル画面での操作に使用します（111ページ参照）。

セットアップメニューを表示しているときは、このボタンを押して項目の選択や設定変更を確定します。

4 MENU (メニュー) ボタン

押すたびに、セットアップメニューの表示／非表示が切り替わります。

MENU ON/OFFスイッチと同じ働きです。

5 F-RUN/SET/R-RUN (フリーラン／セット／レックラン切り換え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを選択します。スイッチの位置によって、歩進モードは以下のように変わります。

F-RUN：連続してタイムコードが歩進する。タイムコードを外部ロックさせるときなどに合わせる。

SET：タイムコードやユーザービットを設定する。

R-RUN：記録中のみタイムコードが歩進する。記録メディア上のタイムコードを、連続して記録する。

◆「タイムコードを設定する」(70ページ)

◆「ユーザービットを設定する」(71ページ)

6 LEVEL CH1/CH2/CH3/CH4 (音声チャンネル1/2/3/4録音レベル調整) つまみ

AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ、およびAUDIO SELECT CH 3-4スイッチを

MANUALにすると、音声チャンネル1、2、3、4に記録する音声レベルを調整できます。

7 AUDIO SELECT CH 3-4 (音声チャンネル3-4自動／手動レベル調整切り換え) スイッチ

音声チャンネル3と4の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO：自動

MANUAL：手動

8 ESSENCE MARK (エッセンスマーク) ボタン

サムネイル画面表示中に押すと、リストの選択項目に応じて、選択したクリップのエッセンスマークサムネイル画面を表示することができます。

All：エッセンスマークが打たれたすべてのフレームの一覧を表示する。

Rec Start (UDFモード時)：レックスタートマークが打たれたフレームおよび、先頭フレームにレックスタートマークが付いていないクリップがある場合は、その先頭フレームも加えて一覧を表示する。

Shot Mark1：ショットマーク1が設定されたフレームの一覧

Shot Mark2：ショットマーク2が設定されたフレームの一覧

Shot Mark0とShot Mark3～Shot Mark9も選択できます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

9 SHIFT (シフト) ボタン

各種のボタンと組み合わせで使用します。

10 PRESET/REGEN/CLOCK (プリセット／リジェネレート／クロック) スイッチ

タイムコードを記録する方法を選択します。

PRESET：新たに設定されたタイムコードをメディアに記録する。

REGEN：メディアに記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するようにタイムコードを記録する。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定にかかわらず、本機はR-RUNモードで歩進する。

CLOCK：タイムコードを内蔵の時計と合わせる。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定にかかわらず、本機はF-RUNモードで歩進する。

11 AUDIO SELECT CH1/CH2（音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り換え）スイッチ

音声チャンネル1と2の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO：自動

MANUAL：手動

12 AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4（音声入力切り換えチャンネル1/2/3/4）スイッチ

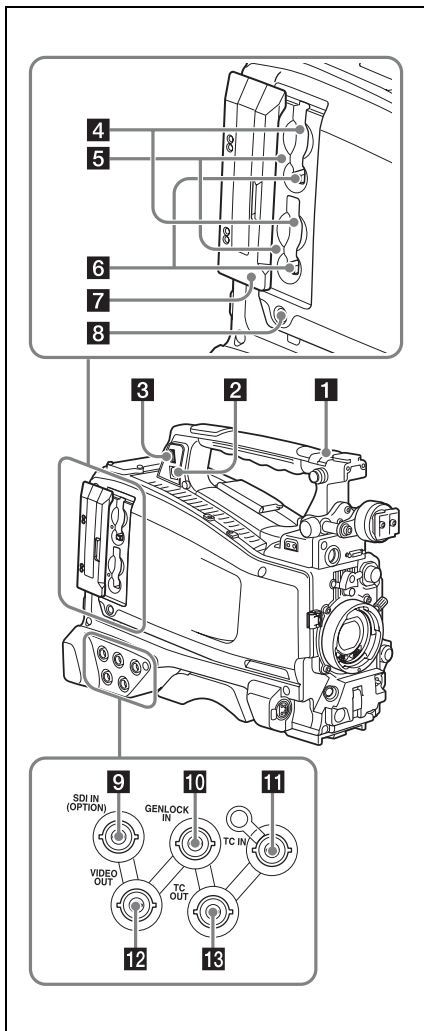
音声チャンネル1、2、3、4に記録する入力信号を選択します。

FRONT：MIC IN端子に接続したマイクからの音声入力信号

REAR：AUDIO IN CH-1/CH-2端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号

WIRELESS：本機にスロットインUHFパワータブルチューナーを装着したときの音声入力信号

左側面と上部



1 ASSIGNABLE（アサインابل）4/5 スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます（171ページ参照）。工場出荷時には、Offが割り当てられています。

2 PC接続端子

本機をUSB接続モードに切り換えてコンピュータの外部記憶装置として使用するための端子です。ExpressCardスロットを持たないコンピューターとこの端子を接続すると、本機に挿入されたメモリーカードが、カードごとにドライブとして認識されます。

3 外部機器接続端子

別売のWi-Fiアダプター CBK-WA01、USB無線LANモジュールIFU-WLM3やワイヤレスアダプター CBK-WA100またはUSBメモリーを接続します。

CBK-WA01、IFU-WLM3、CBK-WA100の

接続時：本機とコンピューターをWi-Fi接続（無線接続）できます。

USBメモリーの接続時：以下のデータを記録、保存、呼び出しできます。

- プロキシデータの記録（96ページ参照）
- プランニングメタデータの読み込み（98ページ参照）
- 設定データファイルの保存、呼び出し（174ページ参照）

ご注意

この端子は、CBK-WA01、IFU-WLM3 や CBK-WA100またはUSBメモリーの接続に使用してください。USBハブなど他の機器を接続して使用することはできません。

- ◆ CBK-WA01およびIFU-WLM3の使いかたについては、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。
CBK-WA100の使いかたについては、CBK-WA100の取扱説明書をご覧ください。

4 SxSメモリーカードスロット

上下に2つのスロット（AとB）があり、SxSメモリーカードなどの記録メディアを挿入します（77ページ参照）。

5 ACCESS（アクセス）ランプ

スロットA/Bの状態を示します（78ページ参照）。ランプの点灯状態はスロットカバーを閉めていても確認できます。

6 EJECT（SxSメモリーカード取り出し）ボタン

一度押しでロックを解除し、再度押し込むと記録メディアが手前に引き出されます（78ページ参照）。

7 スロットカバー

左右にスライドして開閉します。

8 SLOT SELECT（SxSメモリーカード選択）ボタン

スロットAとBの両方に記録メディアが装着されているとき、使用する記録メディアを切り換えます（78ページ参照）。

9 SDI IN (OPTION) (SDI入力 (オプション)) 端子 (BNC型)

別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02を装着すると、この端子に入力したHDSDIまたはSDSDI信号を本機で記録することができません。

10 GENLOCK IN (ゲンロック用入力) 端子 (BNC型)

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力します。入力できる基準信号は、設定されているシステム周波数によって次表のように異なります。

システム周波数	入力できる基準信号
1080/59.94i	1080/59.94i、480/59.94i
1080/29.97P	1080/59.94i、480/59.94i
1080/23.98P (PsF出力時)	1080/23.98PsF、480/59.94i
1080/23.98P (プルダウン出力時)	1080/59.94i、480/59.94i
720/59.94P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i

システム周波数	入力できる基準信号
720/29.97P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i
720/23.98P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i
480/59.94i	1080/59.94i、480/59.94i
480/29.97P	1080/59.94i、480/59.94i
1080/50i	1080/50i、576/50i
1080/25P	1080/50i、576/50i
720/50P	1080/50i、720/50P、576/50i
720/25P	1080/50i、720/50P、576/50i
576/50i	1080/50i、576/50i
576/25P	1080/50i、576/50i

(カメラ部へのゲンロックは、水平同期信号のみに対応しています。) ゲンロックのHフェーズ(水平同期信号の位相)の調整はメニューのMAINTENANCE > Genlockで行います。

また、別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェイスCBK-HD02を装着すると、この端子に入力したアナログコンポジットビデオ信号を本機で記録することができます。

11 TC IN (タイムコード入力) 端子 (BNC型)

タイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコードを入力します。

◆「タイムコードを設定する」(70ページ)

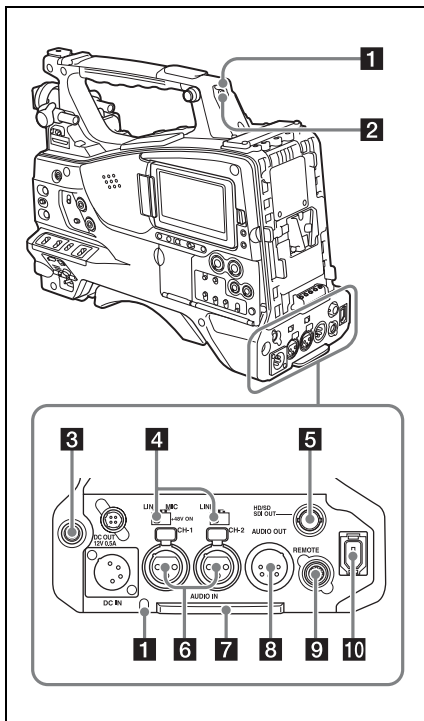
12 VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子 (BNC型)

ビデオモニター用のビデオ信号を出力します。メニューのOPERATION > Input/Output > Output&i.LINKの設定により、コンポジットビデオまたはHD-Yのいずれかを選択できます。

13 TC OUT (タイムコード出力) 端子 (BNC型)

外部VTRのタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるとき、外部VTRのタイムコードロック用TC IN (タイムコード入力) 端子と接続します。

後面



1 TALLY (バックタリー) ランプ (赤)
記録中に点灯します。ただし、TALLYスイッチがOFFになっていると点灯しません。WARNINGランプ(24ページ参照)が動作しているときは点滅します。なお、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示も同様に点灯/点滅します。

◆「エラー/警告システム」(192ページ)

2 TALLY (タリー) スイッチ

TALLYランプを使用するとき、ONに設定します。

3 EARPHONE (イヤホン) 端子 (ステレオ、ミニジャック)

イヤホンを接続すると、記録中はE-E音を、再生中は再生音をモニターできます。警告

ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます。内蔵スピーカーからの音は自動的に聞こえなくなります。

メニューのMAINTENANCE >Audioでモノラル/ステレオを切り換えることができます。

4 AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチ

AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の音源を切り換えます。

LINE：ステレオアンプなど、外部のオーディオ信号源を接続する場合

MIC：48V対応マイク以外のマイクを接続する場合

+**48V**：48V対応マイクを接続する場合

5 HD/SD SDI OUT端子 (BNC型)

HDSDI信号 (エンベデッドオーディオ) またはSDSDI信号 (エンベデッドオーディオ) を出力します。本端子からの出力信号は、メニューのOPERATION >Input/Output >SDI Outputでオン、オフを切り換えることができます。

6 AUDIO IN CH-1/CH-2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR型、3ピン、凹)

オーディオ機器やマイクを接続します。

7 ボトムカバー

後面の端子に接続するケーブル類を保護するためのパーツです。

カムコーダー底面の取り付けネジをゆるめると、接続するマイクケーブルまたはオーディオケーブルのプラグの形状に応じて、ボトムカバーの位置を調整することができます。調整後は、ネジを締めてカバーを固定してください。

8 AUDIO OUT (音声出力) 端子 (XLR型、5ピン、凸)

オーディオチャンネル1、2または、オーディオチャンネル3、4に記録された音声信号を出力します。

出力する音声信号は、MONITORスイッチで選択します。

9 REMOTE (リモートコントロール) 端子 (8ピン)

本機の遠隔操作が可能なりモートコントロールユニットを接続します。

ご注意

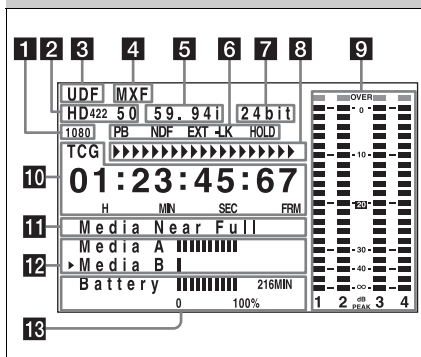
本機にリモートコントロールユニットの接続/取りはずしを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

10 i.LINK (HDV/DV) 端子 (6ピン、IEEE1394準拠S400)

FAT

FATモード時に、HDV/DV機器を接続し、HDV/DVストリームを入出力します。

LCDモニター画面



1 解像度表示

HD出力映像の解像度が表示されます。

表示 解像度 (水平×垂直)

1080	1080ライン (1920×1080)
720	720ライン (1280×720)

2 記録フォーマット表示

記録フォーマットまたは再生中のクリップの記録フォーマットが表示されます。

- UDFモード時
 - HD422 50
 - HD420 HQ
 - IMX50

DVCAM

- FATモード時
 - HQ1920
 - HQ1440
 - HQ1280
 - SP1440
 - DVCAM

3 記録モード表示

UDF：UDFモード時

FAT：FATモード時

4 ファイルフォーマット表示

MXF：UDFモード時

MP4：FAT-HDモード時

DV-AVI：FAT-SDモード時

5 システム周波数表示

記録時のシステム周波数または再生中のクリップのシステム周波数が表示されます。

59.94i

29.97P

23.98P

50i

25P

59.94P

50P

6 状態表示

PB：メディアを再生しているとき表示されます。

NDF：タイムコードがノンドロップフレームモードのとき表示されます。

EXT-LK：内蔵のタイムコードジェネレーターがTC IN端子に接続した外部信号にロックしているとき表示されます。

HOLD：タイムコードジェネレーターの歩進モードがレックランで、歩進が止まっているとき表示されます。

7 音声フォーマット表示

記録時の音声フォーマットまたは再生中のクリップの音声フォーマットが表示されます。

表示	状態	
	記録モード	記録フォーマット
16bit	FATモード時	すべて
	UDFモード時	<ul style="list-style-type: none"> • HD420 HQ • DVCAM • IMX (Audio Lengthの設定が16bitの場合)
24bit	UDFモード時	<ul style="list-style-type: none"> • HD422 50 • IMX (Audio Lengthの設定が24bitの場合)

8 記録状況表示

OperationメニューのRec Status IndicatorでLCDまたはBothが選択されているとき、記録の進行に伴って▶が表示されます。

9 音声レベルメーター

音声記録レベルまたは再生レベルが表示されます。「1」～「4」は音声チャンネル1～4を示します。

10 タイムカウンター表示

DISPLAYスイッチのポジションにより、タイムカウンター、タイムコード、ユーザービットを切り換えて表示します。タイムカウンターに現在表示しているデータの種類の、次のように表示されます。

TCG：記録タイムコード**TCR**：再生タイムコード**UBG**：記録ユーザービット**UBR**：再生ユーザービット**CNT**：カウンター

CLK：時刻表示 (PRESET/REGEN/CLOCKスイッチがCLOCKに設定されている)

タイムコード表示中にHOLDボタンが押されたときは、次のフォーマットで表示されます。HOLDボタンを再度押して保持状態を解除すると、通常の表示に戻ります。

カウンター歩進が保持状態であることを3つのドットで表す

11 警告表示エリア

記録異常や結露が発生したときに内容を表示します。

- ◆ 詳しくは、「エラー／警告システム」(192ページ)をご覧ください。

また、次に記録されるクリップの名前を表示することもできます(144ページ参照)。

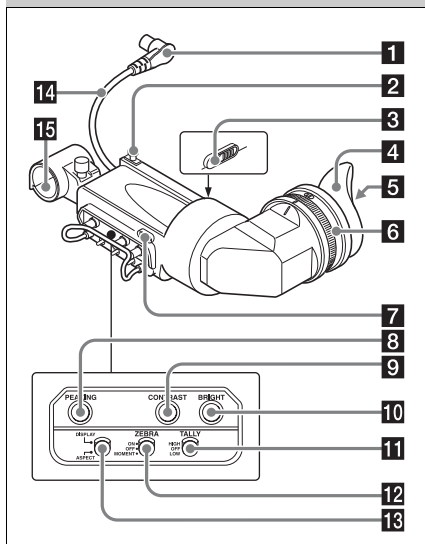
12 メディア残量表示

記録メディアの残量がスロットごとにバーグラフで表示されます。

13 バッテリー残量表示

バッテリーの残量がバーグラフで表示されます。

ビューファインダー HDVF-20A (別売)



1 コネクター

本機のVF端子(20ピン)に接続します。

2 スライドストッパー

ビューファインダーを本機に取り付けて左右にスライドさせるとき、ビューファインダーが本機からはずれのを防ぎます。

3 カメラマンタリーランプ

本機が記録動作している間点灯します。使わないときは、ふたを閉めて隠すことができます。

また、タリーランプ、ビューファインダー内の記録・レッドタリーランプと同様に点滅して、警告表示も行います。

4 アイカップ

5 表示ランプと状態表示

- ◆ 詳しくは、「ビューファインダーの表示」(34ページ)をご覧ください。

6 視度調整リング

画面の映像が最もはっきり見えるように、このリングを回して視度を調整します。

7 タリーランプ

本機が記録動作している間点灯します。使わないときは、TALLYスイッチをOFFにします。また、TALLYスイッチで明るさを調整できます。

また、カメラマンタリーランプ、ビューファインダー内の記録・レッドタリーランプと同様に点滅して、警告表示も行います。

8 PEAKING (ピーキング調整) つまみ

時計方向に回すと、画面の映像の輪郭が強調され、レンズのフォーカス合わせが容易になります。本機の出力信号には影響しません。

9 CONTRAST (コントラスト調整) つまみ

画面のコントラストを調整します。本機の出力信号には影響しません。

10 BRIGHT (明るさ調整) つまみ

画面の明るさを調整します。本機の出力信号には影響しません。

11 TALLY (タリー) スイッチ

ビューファインダー前面のタリーランプをコントロールします。

HIGH: タリーランプが明るくなる

OFF：タリーランプが機能しなくなる

LOW：タリーランプが暗くなる

12 ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

ゼブラパターンの表示をコントロールします。

ON：ゼブラパターンが表示される

OFF：ゼブラパターンが消える

MOMENT：ゼブラパターンが約5秒間表示されて消える

13 DISPLAY/ASPECT（ディスプレイ／アスペクトコントロール）スイッチ

マーカー表示のオン／オフおよび画面の表示比率を切り換えます。

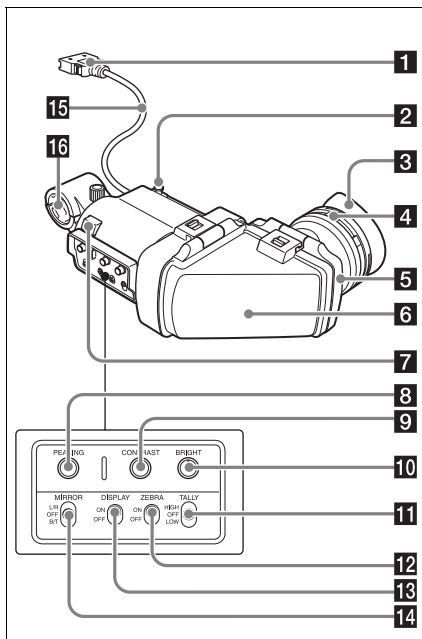
DISPLAY：本機側でマーカー表示の設定がオンになっているときは、スイッチをこの位置に押し上げるたびにマーカー表示のオン／オフが切り替わる

ASPECT：スイッチをこの位置に押し下げるたびに、マスク表示のオン／オフが切り替わる（マスク表示の設定は、メニューのOPERATION >Marker >Aspect Mask（136ページ参照）で行います。）

14 ビューファインダーケーブル

15 マイクホルダー

ビューファインダー CBK-VF01（別売）



1 コネクター

本機のVF端子（26ピン）に接続します。

2 スライドストッパー

ビューファインダーを本機に取り付けて左右にスライドさせるとき、ビューファインダーが本機からはずれのを防ぎます。

3 アイカップ

4 視度調整リング

画面の映像が最もはっきり見えるように、このリングを回して視度を調整します。

5 アイピース部

使用状況に応じて、跳ね上げることができます。

6 VF筒部

使用状況に応じて、跳ね上げたり、回転させたりすることができます。

7 タリーランプ

本機のREC STARTボタン、レンズのVTRボタン、またはリモートコントロールユニット

トのVTRボタンを押して、記録が始まると点灯します。

異常発生時は、点滅して警告表示を行います。

8 PEAKING (ピーキング調整) つまみ

時計方向に回すと、画面の映像の輪郭が強調され、レンズのフォーカス合わせが容易になります。本機の出力信号には影響しません。

9 CONTRAST (コントラスト調整) つまみ

画面のコントラストを調整します。本機の出力信号には影響しません。

10 BRIGHT (明るさ調整) つまみ

画面の明るさを調整します。本機の出力信号には影響しません。

11 TALLY (タリー) スイッチ

ビューファインダー前面のタリーランプをコントロールします。

HIGH : タリーランプが明るくなる

OFF : タリーランプが機能しなくなる

LOW : タリーランプが暗くなる

12 ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ

ゼブラパターンの表示をコントロールします。

ON : ゼブラパターンを表示する

OFF : ゼブラパターンを表示しない

13 DISPLAY (ディスプレイ) スイッチ

文字情報の表示をコントロールします。

ON : 文字情報を表示する

OFF : 文字情報を表示しない

14 MIRROR (反転) スイッチ

VF筒部を跳ね上げたり、回転させたりして画像が左右または上下に反転しているときに使用します。

L/R : 画像を左右に反転させる

OFF : 画像を反転させない

B/T : 画像を上下に反転させる

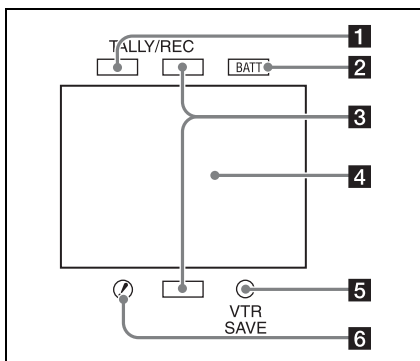
15 ビューファインダーケーブル

16 マイクホルダー

ビューファインダーの表示

表示ランプ (HDVF-20A)

HDVF-20Aの画面の上下には、本機の状態や調整の結果を知らせるランプが配置されています。



1 グリーンタリーランプ

本機が次の状態のときに点灯します。

- ピクチャーキャッシュモードが有効なとき
- グリーンタリー信号を受信したとき（本機にカメラアダプターを取り付けて、カメラエクステンションユニットと接続している場合）
- メニューのMAINTENANCE > Camera Config > HD/SDI Remote I/FをG-Tallyに設定して記録しているとき

本機が次の状態のときに点滅します。

- インターバルレックモード、またはフレームレックの連続トリガーモードに設定しているとき
(1回/秒で点滅)
- インターバルレックモード、またはフレームレックの連続トリガーモードで記録しているとき
(4回/秒で点滅)

- フレームレックの単発トリガーモードに設定しているとき、またはこのモードで記録しているとき（2回/秒で点滅）

2 BATT（バッテリー）ランプ

本機に接続したバッテリーの電圧が下がると点滅します。また、バッテリーが使用できなくなると点灯します。

動作中断を防ぐため、バッテリーが点滅を開始した時点で、すばやくバッテリーを交換してください。

- ◆ 点滅を開始するアラーム電圧を、メニューの MAINTENANCE > Battery で設定することができます。詳しくは、152 ページをご覧ください。

3 記録・レッドタリーランプ

本機が次の状態のときに点灯します。

- メニューの MAINTENANCE > Camera Config > HD/SDI Remote I/F を R-Tally に設定して記録しているとき
 - レッドタリー信号またはコール信号を受信したとき（本機にカメラアダプターを取り付けて、カメラエクステンションユニットと接続している場合）
- タリーランプ、カメラマンタリーランプと同様に点滅して、警告表示も行います。

4 ビューファインダー画面

- ◆ 「画面表示」（35ページ）

5 VTR SAVE（VTRセーブ）ランプ

本機では機能しません。

6 !（注意）ランプ

メニューの OPERATION > "I" LED で On に設定した項目について、本機が以下の動作状態になると点灯します。

- ゲインが 0dB 以外の値に設定されている
- SHUTTER スイッチが ON になっている
- WHITE BAL スイッチが PRST に設定されている
- ATW が使用されている
- レンズエクステンダーが使用されている
- オートアイリスの基準値が標準値以外になっている

- フィルターつまみが 1 以外に設定されている

画面表示

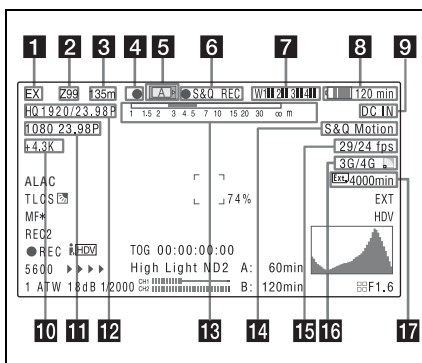
ビューファインダー画面には、映像のほかには本機の設定や動作の状態を示す文字やメッセージ、センターマーカ、セーフティーゾーンマーカなどが表示されます。セットアップメニューを表示していない状態で、DISPLAY スイッチが ON に設定されているとき、画面の上端と下端に表示される内容は、OPERATION メニューの Super Impose の設定や、関連するスイッチでの設定に連動しています。

また、設定変更時は注意メッセージを3秒間、調整経過中は実行中を示すメッセージ、調整完了後はその内容や結果を知らせるメッセージを3秒間表示します。

これらの表示はビューファインダーだけでなく、メニュー設定により、ビデオ出力することもできます。

表示できる項目は、次図のように配置されています。

画面上部



1 エクステンダー表示

本機のデジタルエクステンダー機能（別売の SDI/COMPOSITE インプットアンド50ピンインターフェース CBK-HD02 装着時）およびレンズのエクステンダー機能の設定状態が表示されます。

EX：レンズのエクステンダーがONのとき

08：レンズのシュリンカーがONのとき

x2D：本機のデジタルエクステンダー機能がONのとき

Ex2D：レンズのエクステンダーおよび本機のデジタルエクステンダー機能の両方がONのとき

デジタルエクステンダーはDigital Extender機能を割り付けたアサイナブルスイッチでオン/オフします。

❖注意

スロー&クイックモーションモード時およびフリーズミックス機能の使用時は、デジタルエクステンダーをオンにすることはできません。

また、拡大フォーカス (Focus Mag) モード時にデジタルエクステンダーをオンにすると、拡大フォーカスモードが解除されます。

2 ズームポジション表示 (レンズ装着時のみ)

ズームレンズのズームポジションが0~99の範囲で表示されます。

3 フォーカスポジション表示 (シリアルレンズ装着時のみ)

フォーカスポジションが、被写体までの距離 (単位: m) で表示されます。

4 グリーントリー表示

本機が次の状態のときに表示されます。

- メニューのMAINTENANCE >Camera Config >HD-SDI Remote I/FがG-Tallyに設定されており、HD/SD SDI OUT端子から記録の制御信号が出力されているとき
- グリーントリー信号を受信したとき (本機にカメラアダプターを取り付けて、カメラエクステンションユニットと接続している場合)

5 メディア状態表示

アクティブなメディアのスロット名 (AまたはB) が表示されます。

6 特殊記録モード/動作状態表示

本機の特殊記録モードと動作状態が以下のように表示されます。

表示	意味
●REC	記録中
STBY	クリップコンティニュアスレック時は記録停止中、それ以外のモードでは記録待機中
CONT	クリップコンティニュアスレック時に記録待機中
●CACHE	ピックアップキャッシュモードで記録待機中
●INT REC	インターバルレックモードで記録中
●INT STBY	インターバルレックモードで次の記録開始待ち
●FRM REC	フレームレックモードで記録中
●FRM STBY	フレームレックモードで次の記録開始待ち
FRM STBY	フレームレックモードで記録待機中
●S&Q REC	スロー&クイックモーションモードで記録中
S&Q STBY	スロー&クイックモーションモードで記録待機中
CALL (赤字)	外部接続機器からのコール時
▶REVIEW	レックレビュー中

7 ワイヤレスレシーバー受信レベル表示

本機にスロットインレシーバーが装着されているとき「W」が表示され、レシーバーが使用できるチャンネル数 (1ch、2ch、または4ch) に応じて、各チャンネルの受信レベルが4つのセグメントからなるインジケータで次のように表示されます。

通常：白色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す

アナログレシーバーのミュート時/デジタルレシーバーのエラーレート悪化時：灰色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す

受信レベルがピークを越えたととき：インジケータの代わりに「P」と表示される¹⁾

送信機のバッテリー消費時：該当するチャンネル番号とインジケータが点滅する¹⁾

¹⁾別売のDWR-S01D使用時のみ

8 バッテリー残量／電圧表示

本機を駆動している電源の種類に応じて以下のように表示されます。

電源の種類	表示
インフォバッテリー	バッテリー残量アイコンと記録可能な残り時間
アソナパワアー社製バッテリー	バッテリー残量 (%表示)
その他の電源	入力電圧

9 外部電源入力表示

DC IN端子に接続した外部電源から電源が供給されると表示されます。

10 色温度表示

R/Bのゲインから計算された色温度が1.5K～50.0Kの範囲(0.1K刻み)で表示されます。また、Offset Whiteの設定(142ページ参照)によって、+/-が表示されます。

表示なし：Offset WhiteがOFF

+：Offset Whiteの設定値が3200Kより大きいとき

-：Offset Whiteの設定値が3200Kより小さいとき

11 システムライン数表示

記録中または再生中の映像のシステムライン数(1080/720/576/480または486¹⁾)が表示されます。

1)SDモードで、メニューのOPERATION >Format >CountryがNTSC Area/NTSC(J) Areaに設定されている場合

UDFモード時：486

FATモード時：480

UDFモード時は、システム周波数(59.94i/29.97P/23.98P/50i/25P/59.94P/50P)もこの位置に表示されます。

12 ビデオフォーマット表示

記録時のビデオフォーマットまたは再生中のクリップのビデオフォーマットが表示されます(58ページ参照)。

ビデオフォーマットがIMX50またはDVCAMに設定されているときは、映像のアスペク

ト比(16:9/4:3)を表示することもできます。

13 被写界深度表示(シリアルレンズ装着時およびCBK-VF01使用時のみ)**エラー／警告表示**

被写界深度がバーで表示されます。表示の単位は、メニューのOPERATION >Display On/Off >Lens Infoの設定により、メートルまたはフィートを選択できます。エラーまたは警告が発生すると、このエリアにメッセージが表示されます。

このエリアの下に、次に記録されるクリップの名前を表示することもできます(144ページ参照)。

14 特殊記録モード表示

本機が特殊記録モードのときに表示されません。

- Frame Rec (フレームレックモード)
- Interval Rec (インターバルレックモード)
- S&Q Motion (スロー & クイックモーションモード)


15 特殊記録モードの設定表示


本機が特殊記録モードのとき、その設定内容が表示されます。


16 電波状態表示(CBK-WA100使用時のみ)

別売のCBK-WA100が外部機器接続端子に接続され、電源が入っているときは電波状態が表示されます。

3G/4G回線で接続しているときは「3G/4G」が表示されます。さらに、CBK-WA100がアクセスポイントとして動作しているときは「AP」が表示されます。CBK-WA100がアクセスポイントとして動作していないときは、電波の強度が以下のようにアイコンで表示されます。

：電波強度1

：電波強度2

：電波強度3

☎：電波強度4

17 プロキシ記録用メディア残量表示 (CBK-WA100使用時のみ)

別売のCBK-WA100が外部機器接続端子に接続され、電源が入っているときは、CBK-WA100に装着されたSDカードの記録可能な時間が、以下のように表示されます。

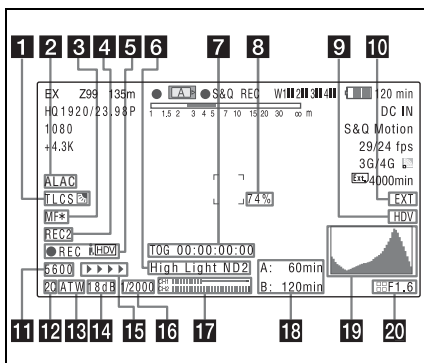
Ext. ----min：使用できないSDカードが装着されているため残量表示不可

Ext. XXXmin：XXX分記録可能

Ext. 0min：記録可能時間0分（記録不可）

Ext. 9999min：9999分より長く記録可能

画面下部



1 TLCs制御モード表示

TLCs（トータルレベルコントロールシステム）による映像レベルの制御モードがアイコンで表示されます。

アイコン	TLCsの制御モード
	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

2 ALAC状態表示

ALAC（倍率色収差補正）が自動的に実行される状態になっていると、「ALAC」が表示されます。

ALACが自動的に実行されるのは、ALACに対応しているレンズが取り付けられ、かつALACが機能が有効になっており、×

メニューのMaintenance > Camera Config > ALACが「Auto」に設定されている場合です。

3 フォกัสモード表示（オートフォーカスレンズ装着時のみ）

本機のフォーカス調整モードが表示されません。

- AF（オートフォーカス）
- MF（マニュアルフォーカス）
- MF*（マニュアルフォーカス、MFアシスト機能がON）
- Full MF（フルマニュアルフォーカス）

4 外部機器制御表示

メニューのMAINTENANCE > Camera Config > HD-SDI Remote I/Fが「Chara」に設定されており、HD/SD SDI OUT端子から記録の制御信号が出力されているとき、「REC2」が点滅表示されます。

さらに、メニューのMAINTENANCE > Camera Config > SDI Rec Controlが「Para Rec」に設定されているときは、記録中に「Rec2-P」が点滅表示されます。

ご注意

メニューのMAINTENANCE > Camera Config > SDI Rec Controlが「Para Rec」に設定されていても、HD/SD SDI OUT端子に接続された外部機器の状態により「Para Rec」が表示されない場合があります。

5 i.LINK接続機器の動作状態表示

i.LINK（HDV/DV）端子に接続した機器の種類（HDVまたはDV）と、その動作状態が以下のように表示されます。

表示	意味
●REC	HDV記録中
STBY	HDV記録待機中
●REC	DV記録中
STBY	DV記録待機中

6 映像レベル注意表示／クリップ転送状態表示 (CBK-WA100使用時のみ)

映像レベルが高すぎるときや低すぎるときに、適切なNDフィルターの番号を注意表示します。

別売のCBK-WA100が外部機器接続端子に接続されているときに、本機とCBK-WA100間でクリップを転送すると、これから転送されるクリップ数と転送中のクリップの転送済み容量(%)がこの位置に表示され、クリップ転送の進捗状況を確認できます。

クリップ転送中に注意表示が発生したときは、注意表示と転送状態表示が1秒ごとに切り替わります。

7 タイムコード表示 注意表示

DISPLAYスイッチ (25ページ参照) の設定に応じて、記録・再生経過時間、タイムコード、ユーザービットなどが表示されます。

設定を変更するときなど、注意を要するとき、このエリアに注意メッセージが表示されます。

8 輝度レベル表示 (CBK-VF01使用時のみ)

検出枠内の輝度レベルの平均値が%で表示されます。

9 外部入力ソース表示

外部入力信号を記録するとき、信号の種類(HDV)が表示されます。

10 外部入力設定表示

外部入力信号を記録するとき、「EXT」と表示されます。

11 電気色温度フィルター表示

CC5600K機能がオンのとき表示されます。

12 フィルター表示

現在選択されているNDフィルターのポジション番号が表示されます (20ページ参照)。

Electrical CCをアサインプルスイッチに割り当てているときは、前ページの図のように、NDフィルター表示 (1~4) の右側に電氣的CCフィルターのポジション (A/B/C/D) が表示されます。

13 ホワイトバランスメモリー表示

現在選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーが表示されます。

ATW : ATW (自動追尾ホワイトバランス) モード

W:A : メモリー Aモード

W:B : メモリー Bモード

W:P : プリセットモード

3200 : Color Temp SW 3200Kを割り当てたアサインプルスイッチがオンのとき

4300 : Color Temp SW 4300Kを割り当てたアサインプルスイッチがオンのとき

5600 : Color Temp SW 5600Kを割り当てたアサインプルスイッチがオンのとき

6300 : Color Temp SW 6300Kを割り当てたアサインプルスイッチがオンのとき

14 ゲイン値表示

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値 (dB) が表示されます。

15 記録状況表示

OperationメニューのRec Status IndicatorでViewfinderまたはBothが選択されているとき、記録の進行に伴って▶が表示されません。

16 シャッター表示

シャッタースピードまたはシャッターモードが表示されます。

◆「電子シャッターの設定」(64ページ)

17 オーディオレベルメーター

音声チャンネル1、2のレベルが表示されません。

18 メディア残量表示

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間が、スロットごとに分単位で表示されます。記録メディアがプロテクトされているときは、ロックマークが表示されます。

19 ヒストグラム表示（CBK-VF01使用時のみ）

映像の明るさのピクセル分布がグラフ表示されます（HDモードのみ）。

20 アイリスポジション表示（レンズ装着時のみ）

アイリスポジション、およびアイリスオーバーライド（絞りの基準値）の設定状態（66ページ参照）が表示されます。

アイリスオーバーライドの設定状態は、4つのセグメントからなるインジケータで次のように表示されます。

基準値	インジケータ	
+0.25	■	左側下の灰色セグメントが点灯
+0.5	■ ■	左側上下の灰色セグメントが点灯
+0.75	■ ■ ■ ■	左側上下と右側下の灰色セグメントが点灯
+1	■ ■ ■ ■ ■ ■	灰色セグメントがすべて点灯
-0.25	□	左側下の白色セグメントが点灯
-0.5	□ □	左側上下の白色セグメントが点灯
-0.75	□ □ □ □	左側上下と右側下の白色セグメントが点灯
-1	□ □ □ □ □ □	白色セグメントがすべて点灯

電源の準備

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーおよびAC電源を使用しないでください。

- リチウムイオンバッテリーパック：BP-L80S
- ACアダプター：AC-DN2B、AC-DN10

バッテリーパックを使用する

バッテリーパックBP-L80Sを使った場合、連続記録での動作時間は約145分です。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

バッテリーパックの動作時間は、バッテリーパックの使用頻度や使用時の周囲温度によって変化します。

ご使用になる前に、各バッテリーパックに適したバッテリーチャージャーで充電してください。

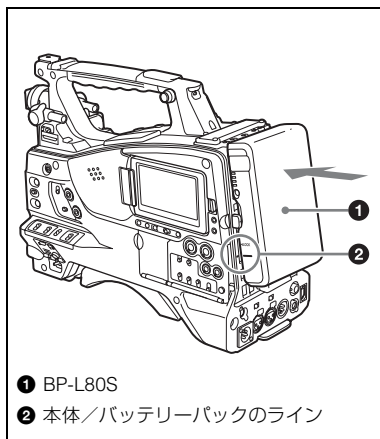
◆ 充電方法について詳しくは、バッテリーチャージャーの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック使用上のご注意

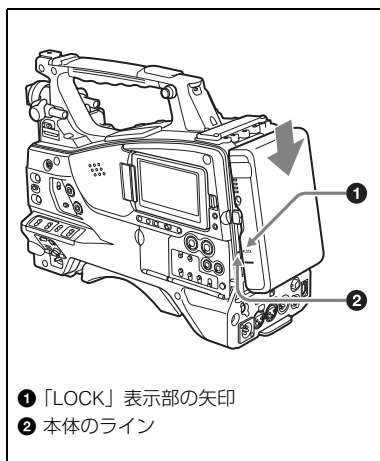
使用直後、バッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

バッテリーパックを取り付けるには

- 1 バッテリーパックの側面のラインを本体のラインに合わせて、バッテリーパックを本体の後面に押し当てる。



- 2 バッテリーパックを押し下げて、バッテリーパックの「LOCK」表示部の矢印を本体のラインに合わせる。

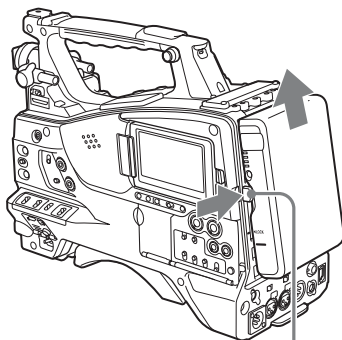


ご注意

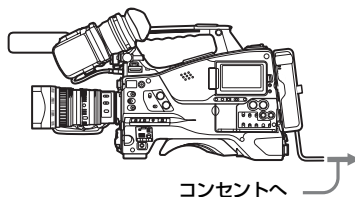
バッテリーパックは、正しく取り付けないと端子を破損することがあります。

バッテリーパックを取りはずすには

解除ボタンを押し込んだままバッテリーパックを押し上げます。



解除ボタン

**ご注意**

- 記録・再生が行われているときは（右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯）、絶対にバッテリーパックを抜かないでください。メモリーカード内のデータが壊れることがあります。
- バッテリーは、必ず本機の電源をオフにしてから交換してください。

AC電源を使用する

ACアダプター AC-DN2B/DN10をバッテリーと同様に本体に装着し、AC電源に接続します。

AC-DN2B/DN10は最大100Wまでの電源を供給できます。

ビューファインダーの取り付け

⚠ 注意

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通して焦点を結び、火災の原因になることがあります。

ご注意

ビューファインダーは別売です。

ここでは、HDVF-20Aを取り付ける場合の例を示します。

- ◆各ビューファインダーの取り付けかたについては、使用するビューファインダーのマニュアルをご覧ください。

ビューファインダーを取り付ける

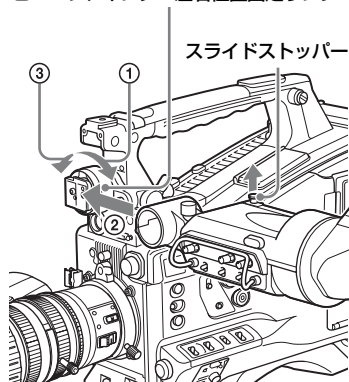
ご注意

ビューファインダーを取り付けるときは、以下の点にご注意ください。

- 必ず本機の電源をオフにしてから、ビューファインダーコネクタを本機のVF端子（20ピン）に差し込んでください。電源がオンの状態でコネクタを差し込むと、ビューファインダーが正常に動作しないことがあります。
- ビューファインダーコネクタを本機のVF端子の奥まで確実に差し込んでください。コネクタが確実に接続されていないと、画像が乱れたり、タリランプが正常に点灯しないことがあります。
- ◆詳しくは、ソニーのサービス担当者にお問い合わせください。

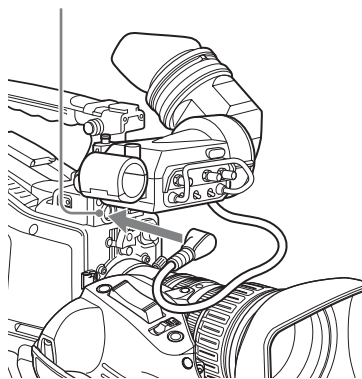
- ①左右位置固定リングをゆるめる。②ビューファインダー取り付けシューにビューファインダーを取り付け、③左右位置固定リングを締める。

ビューファインダー左右位置固定リング



- 2 ビューファインダーコネクタをVF端子（20ピン）に接続する。

VF端子（20ピン）



ビューファインダーを取りはずすには

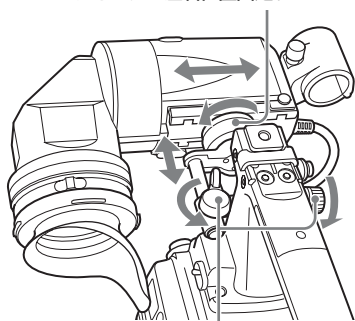
取り付けと逆の手順で行います。ただし、ビューファインダーを取り付けシューから取りはずすときに、スライドストッパーを引き上げてください。

位置を調整する

左右位置を調整するときにはビューファインダー左右位置固定リングを、前後位置を調

整するときにはビューファインダー前後位置
LOCKつまみを、それぞれゆるめます。

ビューファインダー左右位置固定リング

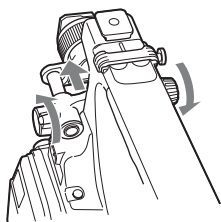


ビューファインダー前後位置LOCKつまみ

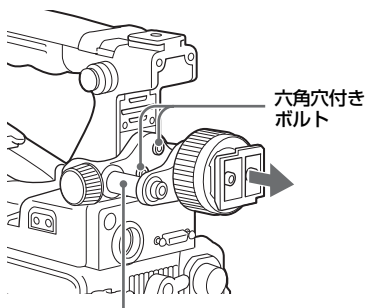
ビューファインダー回転収納機構BKW-401を取り付ける

ビューファインダー回転収納機構BKW-401 (別売) を取り付けると、ビューファインダーを垂直位置まで回転させることができます。ビューファインダーをこの位置にしておけば、本機のグリップを持ったときにビューファインダーが脚に当たらないため、速やかに移動できます。

- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーとビューファインダー前後位置LOCKつまみをゆるめ、ビューファインダースライドAssyを手前に引き出す。

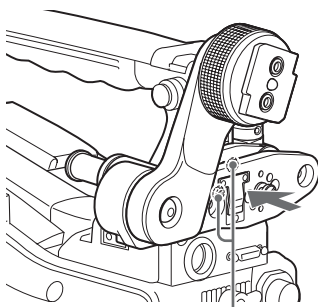


- 2 対辺2.5ミリの六角レンチを使用して、ビューファインダースライドAssyを取りはずす。



ビューファインダースライドAssy

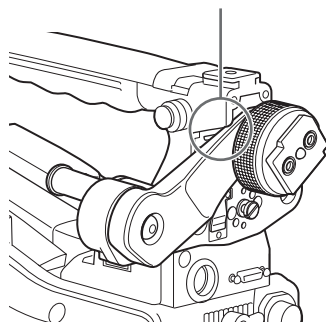
- 3 BKW-401を付属のボルトで取り付ける。



BKW-401に付属のボルト

- 4 BKW-401のアームを跳ね上げたとき、ハンドルと干渉しないように前後位置を調整する。

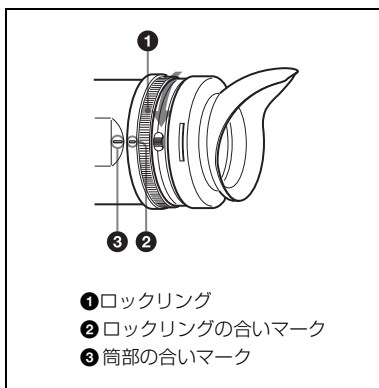
ハンドルと干渉しない位置に調整する



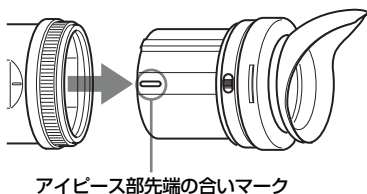
アイピース部を取りはずす

アイピース部を取りはずすと、ビューファインダーから目を離して撮影する場合にも、画面がぼやけることなく、全体がよく見えます。また、ビューファインダー画面やミラーにほこりが付着した場合にも容易に取り除くことができます。

- 1 ロックリングを反時計方向にいっぱい回して、ロックリングとビューファインダー筒部のそれぞれの合いマークを合わせる。



- 2 アイピース部を抜き取る。



市販の口径52mmのプロテクトフィルターやクローズアップレンズなどを取り付けることができます。

再び取り付けるには

- 1 ロックリング合いマークをビューファインダー筒部の合いマークに合わせる。

- 2 アイピース部先端の合いマークをロックリングおよび筒部の合いマークに合わせて、アイピース部を筒部に差し込む。
- 3 ロックリングを時計方向にいっぱいに回して、ロックリングの「LOCK」表示部の矢印をビューファインダー筒部の合いマークに合わせる。

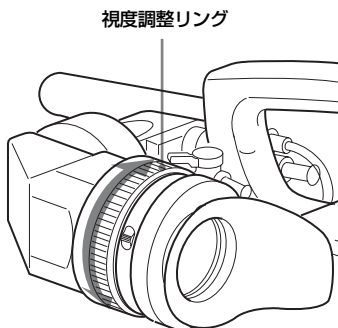
アイカップが消耗した場合は、交換部品をお買い求めください。

◆交換部品について詳しくは、ソニーのサービス担当者にお問い合わせください。

視度と画面を調整する

視度を調整するには

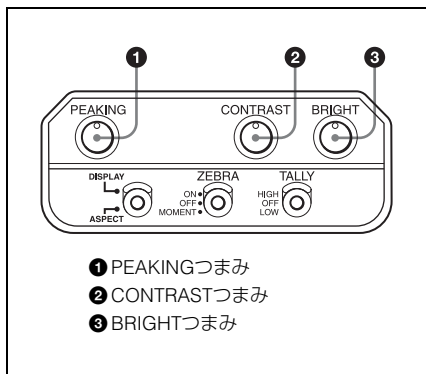
視度調整リングを回して、ビューファインダー内の画像がはっきり見えるように調整します。



画面を調整するには

ビューファインダー画面の状態を、次の項目について調整できます。

輪郭：PEAKINGつまみで調整する。
濃淡：CONTRASTつまみで調整する。
明るさ：BRIGHTつまみで調整する。

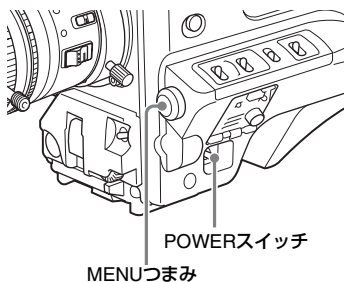


使用地域の設定

本機を初めて使用するとき

本機は、使用地域が未設定の状態でお荷されています。したがって、本機をご使用になるには、初めに使用地域を設定する必要があります。（使用地域を設定しないと、本機を使用することはできません。）

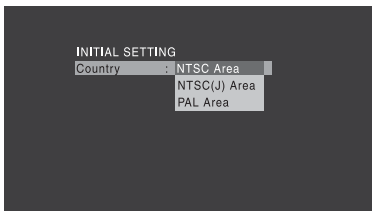
使用地域を設定するには



- 1 POWERスイッチをONにする。
ビューファインダーに使用地域の設定画面が表示されます。



- 2 MENUつまみを押す。
選択可能な使用地域の設定値が表示されます。



3 MENUつまみを回して、希望の使用地域を選択する。

設定値	使用地域
NTSC Area	NTSC地域 (日本以外の地域向け) a)
NTSC(J) Area	NTSC地域 (日本国内向け) b)
PAL Area	PAL地域 c)

- a) 本機から出力されるコンポジット信号は Setup (7.5IRE) が付いたNTSC信号。システム周波数は59.94i
- b) 本機から出力されるコンポジット信号は SetupがないNTSC信号。システム周波数は59.94i
- c) 本機から出力されるコンポジット信号は PAL信号。システム周波数は50i

4 以下の項目を設定する。

- Time Zone (タイムゾーン)
 - Date/Time (日付/時刻)
- ◆ 「セットアップメニューの基本操作」
(124ページ)

5 MENUつまみを回して「Finish」を選択し、つまみを押す。

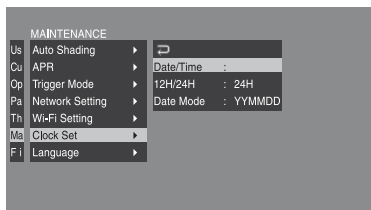
本機が使用できる状態になります。

内蔵時計の日付と時刻の設定

内蔵時計の年、月、日、および時刻を設定します。ここで合わせた時刻がタイムコードに実時刻として反映されます。

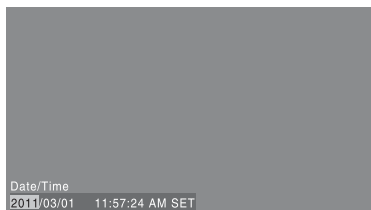
- ◆ メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)

1 メニューのMAINTENANCE >Clock Set >Date/Timeを選択する。



2 MENUつまみを押す。

Date/Time画面が表示されます。



3 MENUつまみを回して希望の値を表示させ、つまみを押す。

右隣の項目に選択が移動します。

4 手順3を繰り返して残りの設定を行う。

5 「SET」が選択された状態でMENUつまみを押す。

手順3、4で設定した日付、時刻が内蔵時計に反映されます。

設定を取り消すには

上記の手順5の操作を行う前にMENU
CANCEL/PRST/CANCEL/PRSTスイッチを
CANCEL/PRST側に押し上げます。

レンズの取り付けと調整

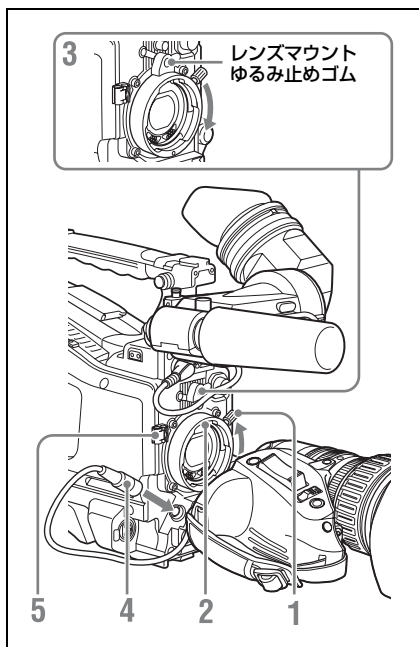
ご注意

レンズの取り付け／取りはずしは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

◆レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

レンズは別売です。



- 1 レンズ固定レバーを押し上げて、レンズマウントからレンズマウントキャップをはずす。
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを押し下げてレンズを固定する。

⚠ 注意

レンズがしっかり固定されていないと、本機の使用中にレンズがはずれて、大きな事故につながる可能性があります。レンズが固定されているか充分に確認してください。前図のように、レンズマウントゆるみ止めゴムをはめ込んで使用することをおすすめします。

- 4 レンズケーブルをLENS端子に接続する。
- 5 レンズケーブルをケーブルクランプに押し込む。

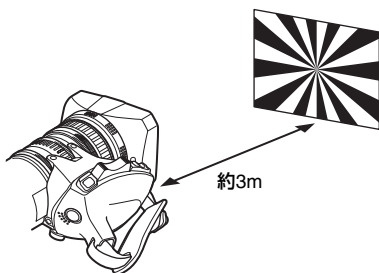
収差補正対応レンズを取り付けたときは

自動的に収差補正機能が働きます。本機の起動時にデータ読み込みを行うため、起動に時間がかかることがあります。

収差補正対応レンズについては、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にお問い合わせください。

フランジバックの調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方でフォーカスがきちんと合わない場合は、フランジバック（レンズ取り付け面から結像面までの距離）の調整を行います。一度調整すれば、レンズを交換しない限り再調整の必要はありません。調整を行うときは、フランジバック調整用チャートを被写体として使用してください。

**ご注意**

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かすと、調整がエラーになりますので、ご注意ください。
- テレ端では画面中央になるように被写体（フランジバック調整用チャート）を置いてください。ワイド端では被写体よりもカムコーダーとの距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。

調整する

- 1 レンズの絞りを手動にする。
- 2 絞りを開き、付属のフランジバック調整用チャートを約3m離れた位置に置き、適度な映像出力が得られるように照明する。
- 3 F.fまたはF.B（フランジバック調整）リング固定ネジをゆるめる。
- 4 手動または電動でズームリングを望遠位置にする。
- 5 フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。
- 6 ズームリングを広角位置にする。
- 7 F.fまたはF.Bリングを回し、チャートに焦点を合わせる。このときフォーカスリングは動かさないように注意する。
- 8 望遠と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順4～7の操作を繰り返す。
- 9 F.fまたはF.Bリング固定ネジをしっかり締める。

音声入力の準備

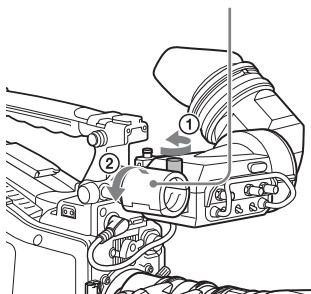
MIC IN端子にマイクロホンを接続する

ビューファインダー（別売）のマイクロホルダーにステレオマイクロホンECM-680S（別売）を取り付けることができます。ここでは、HDVF-20Aに取り付ける場合の例を示します。

◆各ビューファインダーへの取り付けかたについては、使用するビューファインダーのマニュアルをご覧ください。

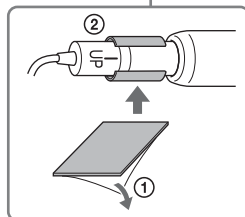
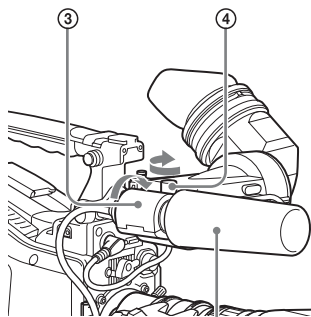
1 ネジをゆるめてマイクロホルダーのクランパーを開く。

マイクロホルダーのクランパー



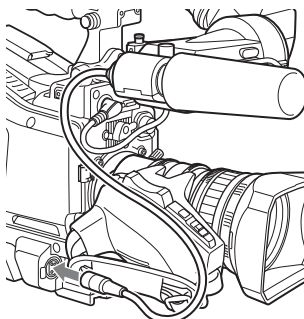
2 マイクロホンをマイクロホルダーに取り付ける。

- ① マイクスペーサーを、両面に貼ってある保護シートをはがしてからマイクロホンに巻く。
- ② 「UP」の文字を上に向けてマイクを入れる。
- ③ マイクロホルダーを閉める。
- ④ ネジを締める。



◆取り付けかたについては、マイクロホンに付属の取扱説明書をご覧ください。

3 マイクケーブルをMIC IN端子に接続し、このマイクロホンの音声を記録したいチャンネルのAUDIO INスイッチをFRONTに設定する。



4 マイクケーブルをケーブルクランプに固定する。

AUDIO IN端子にマイクロホンを接続する

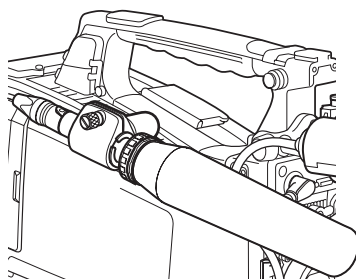
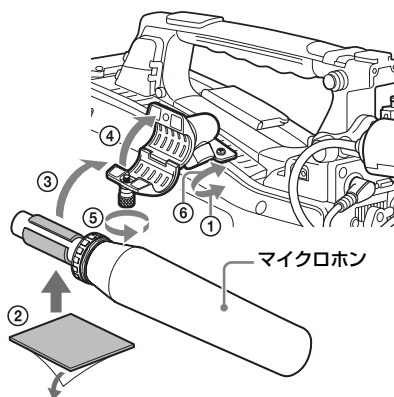
マイクホルダー CAC-12 (別売) でAUDIO IN CH-1/CH-2端子に、モノラルのマイクロホンを2本まで接続できます。

ここでは、エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-674/678などを取り付けるときの例を説明します。

◆CAC-12の取り付けかたについて詳しくは、CAC-12の取扱説明書をご覧ください。

1 エレクトレットコンデンサーマイクロホンを取り付ける。

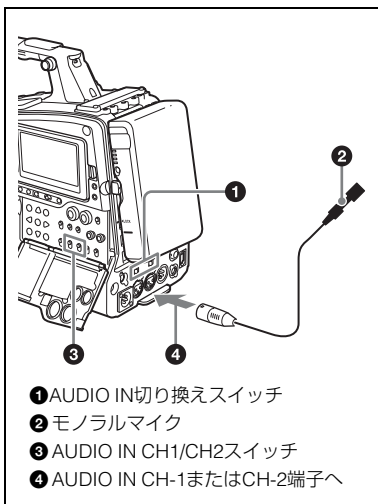
- ① ボールジョイント固定レバーをゆるめておく。
- ② マイクスペーサー (シートタイプ、マイクロホンに付属) を、両面に貼ってある保護シートをはがしてからマイクロホンに巻く。
- ③ 「UP」の文字を上に向けてマイクを入れる。
- ④ マイクホルダーを閉める。
- ⑤ ネジを締める。
- ⑥ マイクロホンがビューファインダーと干渉しない位置でボールジョイント固定レバーを締める。



2 マイクケーブルを本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子に接続する。

3 スイッチを以下のように設定する。

- 使用するマイクロホンによって、AUDIO IN入力切り換えスイッチを、以下のように設定する。
内部電源供給式マイクロホンを使用する場合：MIC
外部電源供給式マイクロホンを使用する場合：+48V
- マイクロホンを接続したチャンネルに該当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARに設定する。



- ① AUDIO IN切り換えスイッチ
- ② モノラルマイク
- ③ AUDIO IN CH1/CH2スイッチ
- ④ AUDIO IN CH-1またはCH-2端子へ

4 使用するマイクロホンの感度に合わせて、入力レベルを切り換える。

- ◆ 入力レベルの切り換えは、メニューの MAINTENANCE >Audio >Rear MIC > CH1/CH2 Refの設定値（工場出荷時は -60dB）を変更することによって行います。詳しくは、154 ページをご覧ください。

ご注意

- マイクロホンの感度に対して本機の入力レベルが適切に設定されていない場合、音が大きく歪んだり、S/Nが悪化することがあります。
- 本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子は、ファントム方式の48V電源を供給できるようにするため、凹のXLRコネクター（3ピン）を装備しています。マイクケーブルのコネクターが凹の場合は、変換アダプターをご用意ください。
- マイクホルダー CAC-12をはさず場合は、取り付けに使ったネジ（手順1ではずしたネジ）を元の位置に必ず取り付けてください。

UHFポータブルチューナーを取り付ける（UHFワイヤレスマイクホン使用时）

ソニー UHFワイヤレスマイクホンシステムを使用するときは、本機の電源をオフに

してから次のいずれかのUHFポータブルチューナーを取り付けます。

- デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D
- UHFシンセサイザーチューナーユニット WRR-855S
- UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー WRR-860A/861/862
- ◆ UHFポータブルチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。

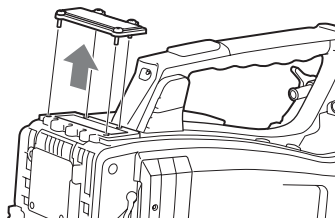
ご注意

WRR-862を取り付けるには、別売のWRR取り付け金具（サービスパーツ番号：A-8278-057-B）が必要です。

詳しくは、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にお問い合わせください。

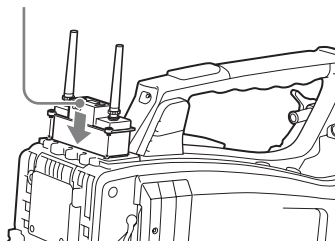
DWR-S01D/WRR-855Sを取り付けるには

- 1 挿入口のカバーを固定している4本のネジをゆるめ、カバーを取りはずす。



- 2 DWR-S01DまたはWRR-855Sを挿入し、4本のネジを締めて固定する。

DWR-S01DまたはWRR-855S



- 3 入力したいチャンネルのAUDIO INスイッチ（27ページ参照）をWIRELESSに設定する。

WRR-862を取り付けるには（バッテリーパックBP-L80S使用時）

- 1 別売のWRR取り付け金具（サービスパーツ番号：A-8278-057-B）を本機の後部に取り付ける。

①次図のように、プラスドライバーを使って取り付け金具に付いているネジ（4本）を締める。

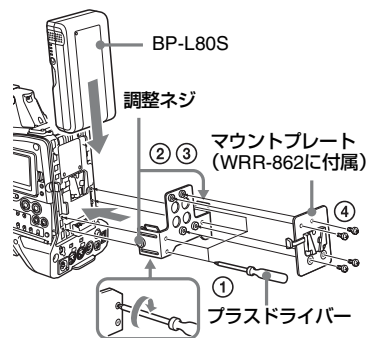
ご注意

4本のネジが確実に締められていることを確認してください。

- ②取り付け金具の調整ネジをゆるめる。
③バッテリーパックBP-L80Sの厚みに応じて取り付け金具の位置を調整してから、調整ネジを締めて位置を固定する。

④WRR-862に付属のマウントプレートを取り付ける。

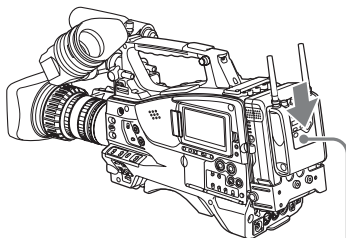
◆ WRR取り付け金具（サービスパーツ番号：A-8278-057-B）については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。



- 2 バッテリーパックを取り付ける。

◆ バッテリーパックの取り付けかたについては、「バッテリーパックを取り付けるには」（41ページ）をご覧ください。

- 3 チューナーを取り付け金具に取り付ける。



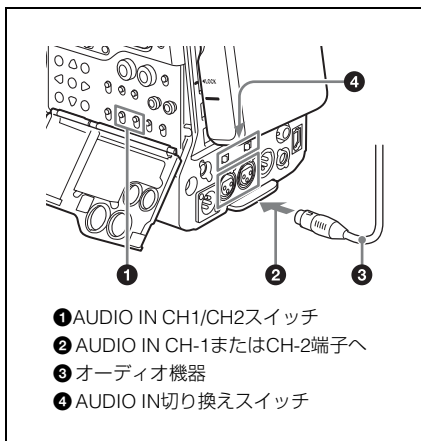
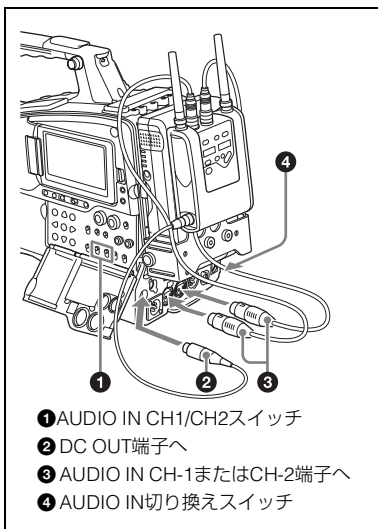
WRR-862

- 4 チューナーの電源コードを本機のDC OUT端子に、音声出力ケーブルをAUDIO IN CH-1またはCH-2端子に接続する。

- 5 スイッチを以下のように設定する。

- 音声出力ケーブルをつないだチャンネルに対応するAUDIO IN 切り換えスイッチをMICに設定する。
- 音声出力ケーブルをつないだチャンネルに該当するAUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4スイッチをREARに設定する。

ただし、XLR接続自動検出機能がONになっている場合は、記録音声が自動で選択されるため、この操作は不要です。



ライン入力用オーディオ機器を接続する

ライン入力信号源として使うオーディオ機器の音声出力端子を、本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子に接続します。

スイッチを設定する

音声信号源を接続したチャンネルに対応するAUDIO IN切り換えスイッチをLINEに設定します。

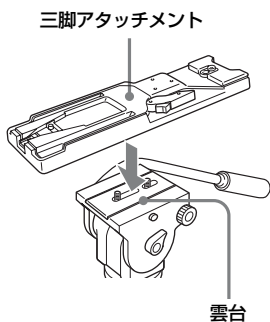
記録する音声入力の選択について

- XLR接続自動検出機能がOFFの場合（工場出荷時）は、オーディオ機器をつないだチャンネルに該当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARに設定します。
- XLR接続自動検出機能をONにすると、AUDIO IN CH-1またはCH-2端子へのケーブル接続時、AUDIO IN CH1/CH2スイッチの設定にかかわらず、記録音声としてこれらの端子からの入力が自動的に選ばれるようになります。

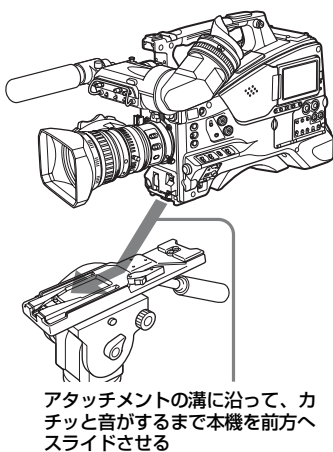
XLR接続自動検出機能のON/OFFは、メニューのMAINTENANCE > Audio > Rear XLR Autoで切り換えることができます。

三脚への取り付け

- 1 三脚アタッチメントVCT-14/U14（別売）を雲台に取り付ける。



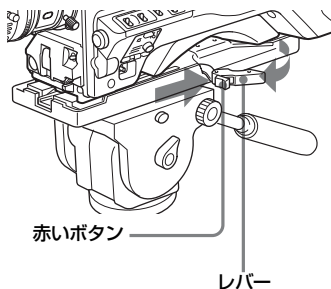
- 2 本機を三脚アタッチメントに取り付ける。



- 3 カメラを前後に動かして、はずれないことを確認する。

三脚アタッチメントから本機を取りはずすには

赤いボタンを押したまま、レバーを矢印の方向へ動かします。



ご注意

本機を取りはずした後、三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときは、赤いボタンを押したままレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが残ったままでは、取り付けができません。

ビデオライトの接続

本機には、アントンパワー社製のウルトラライト2または同等品のビデオライト（電源電圧12V、最大消費電力50W）を取り付けて使用できます。

- ビデオライトのコネクターを本機のLIGHT端子に接続した場合は、LIGHTスイッチをAUTO側に設定すると、本機のスタート/ストップに連動して、ライトを点灯/消灯できます。
- 本機のLIGHT端子は、入力電圧（DC入力またはバッテリー電圧）が12V以上の場合は12Vに安定化されるため、バッテリー電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化することはありません。

ご注意

- 消費電力が50Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
- 入力電圧（DC入力またはバッテリー電圧）が12V以下になった場合は、入力電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化します。

ビデオライトを取り付けるには

ビデオライトを取っ手のアクセサリースューに取り付け、ビデオライトコネクターをLIGHT端子に接続します。

ご注意

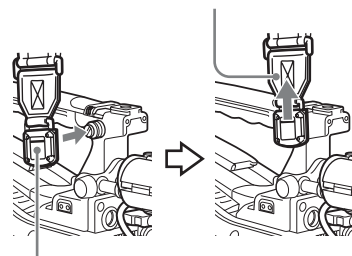
アクセサリースューは $\frac{1}{4}$ 型ネジタイプです。スライドシュータイプに変更する場合は、本機に付属のゴールドシューキットを使用してください。取り付け方法については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サプリメント）の「外部ハードディスクを使う」をご覧ください。

ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを取り付けるには

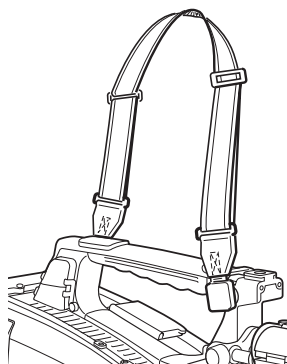
- 1 片方のクリップをショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。

ベルトを上引っ張ってきちんと固定する



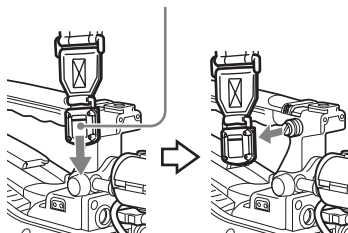
クリップ

- 2 同様にもう一方のクリップを、反対側のショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。



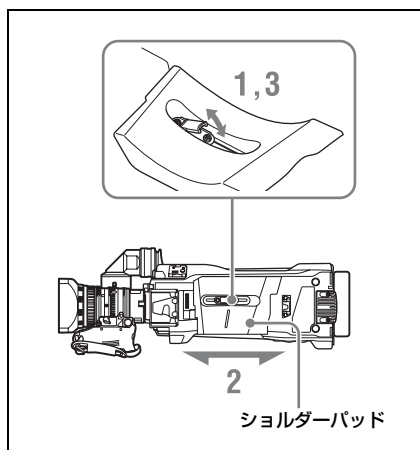
ショルダーベルトを取りはずすには

ここを押したまま矢印の方向へ引く



ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、前後に40mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。



- 1 ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックをはずす。
- 2 前後方向にスライドして、適当な位置を選ぶ。
- 3 レバーを倒して固定する。

3章 撮影のための調整と設定

◆メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

ビデオフォーマットの設定

ビデオ解像度やシステム周波数の組み合わせによって、以下のビデオフォーマットの設定が可能です。

UDFモード時

UDF

メニューの OPERATION >Format の設定項目				ビデオフォーマット (記録 フォーマット/システム周波数)	フレームサイズ	
HD/SD	HD System Line	Rec Format	System Frequency ^{a)}			
HD	1080	HD422 50	59.94i	HD422 1920/59.94i	1920×1080	
			50i	HD422 1920/50i		
			29.97P	HD422 1920/29.97P		
			25P	HD422 1920/25P		
		23.98P	HD422 1920/23.98P			
		HD420 HQ1920	59.94i	HQ 1920/59.94i		1920×1080
			50i	HQ 1920/50i		
			29.97P	HQ 1920/29.97P		
	25P		HQ 1920/25P			
	HD420 HQ1440	59.94i	HQ 1440/59.94i	1440×1080		
		50i	HQ 1440/50i			
		29.97P	HQ 1440/29.97P			
		25P	HQ 1440/25P			
	720	HD422 50	59.94P	HD422 1280/59.94P	1280×720	
			50P	HD422 1280/50P		
			29.97P	HD422 1280/29.97P		
25P			HD422 1280/25P			
23.98P			HD422 1280/23.98P			
HD420 HQ1280			59.94P	HQ 1280/59.94P		1280×720
		50P	HQ 1280/50P			
		23.98P ^{b)}	HQ 1280/23.98P			

メニューの OPERATION >Format の設定項目				ビデオフォーマット (記録 フォーマット/システム周波 数)	フレームサイズ
HD/SD	HD System Line	Rec Format	System Frequency ^{a)}		
SD	—	IMX50 ^{c)}	59.94i	IMX50/59.94i	720×486
			50i	IMX50/50i	720×576
			29.97P ^{d)}	IMX50/29.97P	720×486
			25P ^{d)}	IMX50/25P	720×576
SD	—	DVCAM ^{c)}	59.94i	DVCAM/59.94i	720×480
			50i	DVCAM/50i	720×576
			29.97P ^{d)}	DVCAM/29.97P	720×480
			25P ^{d)}	DVCAM/25P	720×576

a) **59.94i/29.97P/59.94P/23.98P** : メニューのOPERATION >Format >CountryがNTSC Area/NTSC(J) Areaに設定されているとき

50i/25P/50P : メニューのOPERATION >Format >CountryがPAL Areaに設定されているとき

b) 2-3プルダウン変換された59.94iで記録される

c) 別売のCBK-MD01装着時

d) PsFで記録される

FATモード時

FAT

メニューの OPERATION >Format の設定項目				ビデオフォーマット (記録 フォーマット/システム周波 数)	フレームサイズ		
HD/SD	HD System Line	Rec Format	System Frequency ^{a)}				
HD	1080	HQ 1920	59.94i	HQ 1920/59.94i	1920×1080		
			50i	HQ 1920/50i			
			29.97P	HQ 1920/29.97P			
			25P	HQ 1920/25P			
			23.98P	HQ 1920/23.98P			
			HQ 1440	59.94i		HQ 1440/59.94i	1440×1080
				50i		HQ 1440/50i	
				29.97P		HQ 1440/29.97P	
		25P		HQ 1440/25P			
		SP 1440	59.94i	SP 1440/59.94i			
			50i	SP 1440/50i			
			23.98P ^{b)}	SP 1440/23.98P			
			720	HQ 1280		59.94P	HQ 1280/59.94P
		50P			HQ 1280/50P		
		29.97P			HQ 1280/29.97P		
		25P			HQ 1280/25P		
23.98P	HQ 1280/23.98P						

メニューの OPERATION >Format の設定項目				ビデオフォーマット (記録フォーマット/システム周波数)	フレームサイズ
HD/SD	HD System Line	Rec Format	System Frequency ^{a)}		
SD	—	DVCAM ^{c)}	59.94i	DVCAM/59.94i	720×480
			50i	DVCAM/50i	720×576
			29.97P ^{d)}	DVCAM/29.97P	720×480
			25P ^{d)}	DVCAM/25P	720×576

a) **59.94i/29.97P/59.94P/23.98P** : メニューの OPERATION >Format >Country が NTSC Area/NTSC(J) Area に設定されているとき

50i/25P/50P : メニューの OPERATION >Format >Country が PAL Area に設定されているとき

b) 2-3プルダウン変換された59.94iで記録される

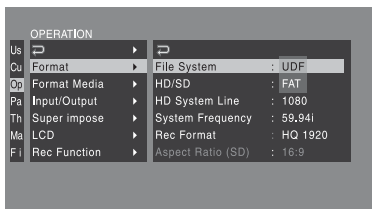
c) 別売のCBK-MD01装着時

d) PsFで記録される

記録モードを選択する

記録モードとして、UDFまたはFATを選択します。

- 1 メニューの OPERATION >Format >File System を選択する (128ページ参照)。

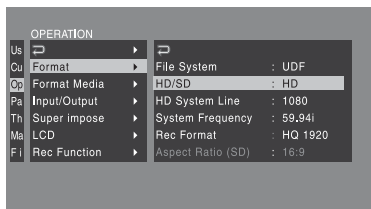


- 2 MENUつまみを回してUDFまたはFATを選択し、つまみを押す。
- 3 確認のメッセージが表示されます。
- 4 実行するには「Execute」を、中止するには「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
- 5 本機の電源を入れ直す。

ビデオフォーマットを変更する

前記の表を参照し、該当する項目の設定値を変更します。

- 1 メニューの OPERATION >Format を選択する (128ページ参照)。



- 2 MENUつまみを回して変更したい項目を選択し、つまみを押す。
- 3 MENUつまみを回して設定値を選択し、つまみを押す。
確認のメッセージが表示されます。
- 4 実行するには「Execute」を、中止するには「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
- 5 HD/SDまたはCountryを変更したときは、本機の電源を入れ直す。

ブラックバランス／ホワイトバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されます。

ブラックバランスの調整

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用するとき
- メニューのOPERATION >Gain SwitchでGAINスイッチ (L/M/H/Turbo) に設定しているゲイン値を変更したとき

通常は、電源を再び入れた場合でも調整し直す必要はありません。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

ブラックバランスを調整する

ブラックバランスの自動調整は、ブラックセット、ブラックバランスの順に実行されます。ブラックバランスは、設定メニューの操作によって手動調整することもできます。

以下の場合は、ブラックバランスの自動調整ができません。

- 記録中

- 特殊記録モード (Picture Cache Rec、Interval Rec、Frame Rec、Slow & Quick) 時
- シャッターモードがSLSモードの場合

- 1 OUTPUT/DCCスイッチをCAMにする。
- 2 AUTO W/B BALスイッチをBLACK側に押し、指を離す。
調整中は「Executing…」と表示され、「Done」に変われば終了です。調整値は自動的にメモリーに記憶されず。

ご注意

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に働き、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。
- i.LINK出力中にブラックバランスを実行すると、i.LINK端子からの出力が一時的に停止します。ブラックバランスが終了するとi.LINK端子からの出力が再開されます。

ブラックバランスの自動調整ができないとき

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。表示されるエラーメッセージは次のとおりです。

エラーメッセージ 意味

NG: Iris Not Closed	レンズの絞りが閉らなかったため、調整できなかった。
NG: Timeout	規定された調整回数以内で調整が終了しなかった。
NG: Out of Range	現在値と基準値の差が大きく、調整範囲を超えていたため、調整できなかった。

上記のエラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

◆内部点検については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

ご注意

レンズの接続ケーブルがLENS端子にしっかり接続されていないと、レンズの絞りが遮光状態にならず、ブラックバランスはエラーになります。

ホワイトバランスを調整する

1 以下のようにスイッチを設定する。

- GAINスイッチ：L（できるだけ小さいゲイン値に設定）
- OUTPUT/DCCスイッチ：CAM
- WHITE BALスイッチ：AまたはB¹⁾

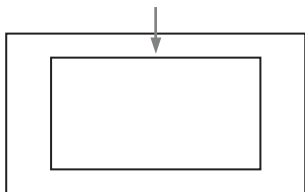
1)メモリー Bに設定値が記憶されるのは、メニューのOPERATION >White Setting >White SwitchがMemoryに設定されているときのみです。

2 照明条件に合わせて、FILTERつまみの設定を切り換える。

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。

被写体の近くの白いもの（白布、白壁）で代用することもできます。最小限必要な白の面積は、図のとおりです。

画面センターを中心とする長方形
各辺の長さは、画面の高さ、または幅の70%



ご注意

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

4 レンズの絞りを調整する。

手動調整レンズの場合：絞りを適正值に合わせる。

自動絞り調整機能付きレンズの場合：レンズ側の絞り自動/手動切換スイッチを自動に設定する。

5 AUTO W/B BALスイッチをWHITE側に押し、指を離す。

調整中は「Executing…」と表示され、「OK: (被写体の色温度)」と表示されれば終了です。

調整値は、手順1で選択したメモリー (AまたはB)に自動的に記憶されます。

ご注意

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチング¹⁾を起こすことがあります。このような場合は、レンズに付いている絞りのゲインつまみ (IG、IS、Sなどと表示されている) を調整してください。

◆詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

1)ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

ホワイトバランスの自動調整ができないときは

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。表示されるエラーメッセージは次のとおりです。

エラーメッセージ	意味
NG: Low Light	白の映像レベルが低すぎる。レンズの絞りを開けるか、ゲインを上げる。
NG: Timeout	規定された調整回数以内で調整が終了しなかった。
NG: High Light	白の映像レベルが高すぎる。レンズを絞るか、NDフィルターを交える。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

◆内部点検については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

ホワイトバランスを調整する時間がないときは

WHITE BALスイッチをPRSTにします。COLOR TEMP. ボタンを押すことにより、5600Kにホワイトバランスが自動的に調整されます。

COLOR TEMP. ボタンを押したときの色温度は、OPERATIONメニューのAssignable SWで3200K、4300K、5600K、または6300Kから選択することができます。また、ASSIGN. 1/3スイッチまたはASSIGNABLE 4/5スイッチに各色温度を割り当てることもできます。

NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更するには

電氣的CC（色補正）フィルターをNDフィルター（20ページ参照）に割り当てることによって、NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更することができます。

- 1 メニューのMAINTENANCE >White Filter >ND Filter C.TempをOnに設定する（160ページ参照）。
- 2 電氣的CCフィルターをFILTERつまみのポジション番号1に割り当てるときはND FLT C.Temp<1>を、ポジション番号2～4に割り当てるときはND FLT C.Temp<2-4>を選択する。
- 3 MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。
3200K ↔ 4300K ↔ 5600K ↔ 6300Kと切り替わります。
- 4 必要に応じて、手順2と3を繰り返す。

電氣的CCフィルターをアサイナブルスイッチで切り換えるには

電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサイナブルスイッチに割り当てることによって、アサイナブルスイッチを押すたびに最大で4つのポジション（A～D）に設定された色温度（3200K/4300K/5600K/6300K）を切り換えることができます。

また、アサイナブルスイッチへの機能割り当てにかかわらず、リモートコントロールユニットRM-B150/B170/B750から各ポジションに設定された色温度を切り換えることもできます。

- 1 メニューのMAINTENANCE >White Filterを選択する（160ページ参照）。
- 2 CCフィルターを設定したいポジションElectrical CC<A>～<D>を選択し、MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。
3200K ↔ 4300K ↔ 5600K ↔ 6300K と切り替わります。

色温度を設定しないときは

Electrical CC<C>、<D>の設定時に「----」を選択します。

アサイナブルスイッチを押しても、そのポジションの設定は表示されません。たとえば、1つのポジションに「----」を設定したときは、3つのポジションの切り換えになります。

- 3 必要に応じて、手順2を繰り返す。
- 4 アサイナブルスイッチに電氣的CCフィルターの切り換え機能（ELECTRICAL CC）を割り当てる（170ページ参照）。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも、再度ホワイトバランスを調整するまで保存されます。

ホワイトバランスのメモリーは、A、Bの2系統があり、WHITE BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、NDフィルターごとの調整値を自動的に記憶させることができます。本機は4つのNDフィルターを内蔵しているため、合計8個（4×2）の調整値を記憶できます。ただし、次の場合、メモリーの内容はNDフィルターに連動しません。

- メニューのOPERATION >White Setting >Filter White MemoryをOffに設定することによって、A、B両系統のメモリー数を1個に限定したとき
- 電氣的CCフィルター切り換え機能がアサインナブルスイッチに割り当てられているとき、またはリモートコントロールユニット接続時（この場合、メモリーの内容は電氣的CCフィルターのポジション（A～D）に連動します。）

また、メニューのOPERATION >White Setting >White SwitchをATWに設定すると、WHITE BALスイッチがBの位置でATW（自動追尾ホワイトバランス）が動作し、照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスが自動追従します。

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

標準モード

動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択できます。

Speedモード

システム	シャッタースピード（単位：秒）
周波数	
59.94i	1/60、1/100、1/120、1/125、1/250、
59.94P	
50i	1/500、1/1000、1/2000
50P	
29.97P	1/40 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、1/100、1/120、
	1/125、1/250、1/500、1/1000、
	1/2000
25P	1/33 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、1/100、1/120、
	1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000
23.98P	1/32 ^{a)} 、1/48 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、1/96、
	1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、
	1/1000、1/2000

a) スロー&クイックモーション撮影時、メニューのOPERATION >Rec Function >Frame Rateをシステム周波数より大きい値に設定している場合は選択できません。

Angleモード

180°、90°、45°、22.5°、11.25°

ECS（拡張クリアスキャン）モード

モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように走査したい場合などに使用します。設定可能なシャッタースピードの範囲は、スロー&クイックモーション（S&Q）機能のオフ/オンによって、次表のように変わります。

システムライン：1080

システム 周波数	シャッタースピード（単位：Hz）	
	S&Q：オフ	S&Q：オン
59.94i	60.00～3800	—
50i	50.00～3500	—
29.97P	29.99～4100	32.01～4100
23.98P	23.99～3700	32.02～3700
25P	25.00～3900	32.03～3900

システムライン：720

システム 周波数	シャッタースピード（単位：Hz）	
	S&Q：オフ	S&Q：オン
59.94P	60.07～4100	32.01～4100
50P	50.03～3900	32.03～3900
29.97P	29.99～4100	32.01～4100
23.98P	23.99～3700	32.02～3700
25P	25.00～3900	32.03～3900

SLS（スロースピードシャッター）モード

低照度の被写体を撮影したいときに使用します。

メニューの OPERATION >Format >HD System Line の設定	蓄積フレーム数
1080	2、3、4、5、6、 7、8、16
720	2、4、6、8、16

ご注意

- ビデオフォーマットがSP 1440/23.98Pの場合や、スロー&クイックモーション撮影時は、SLSモードを使用することができません。

- メニューのOPERATION >Input/Output >i.Link I/Oの設定がEnableの場合は、SLSモードを使用することはできません。
- 蓄積フレーム数が16の場合は、カラーバーを表示することができません。また、記録中にSLSモードをオン/オフしたり、蓄積フレーム数を変更することができません。

シャッターモード/シャッター スピードを設定する

ご注意

- 絞りが自動のときは、シャッタースピードが速くなるにつれ、絞りが開き、被写界深度も浅くなります。
- 選択できるシャッタースピードは、設定されているシステム周波数によって異なります。

SpeedモードとAngleモードを切り換えるには

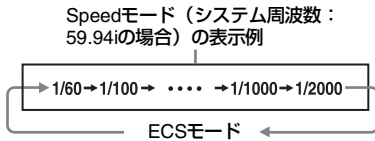
- メニューのOPERATION >Shutter Select >Shutter Selectを選択する（142ページ参照）。
- MENUつまみを回して、SecondまたははDegreeを選択し、つまみを押す。

シャッターモードおよびシャッター スピード（標準モード）を設定するには

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った状態でも保持されます。

- SHUTTERスイッチを、ONの位置からSELECT側に押す。
シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。
- 手順1の表示が消える前に、もう一度SHUTTERスイッチをSELECT側に押す。希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。

すべてのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



ご注意

スロー&クイックモーションモード時のフレームレートの設定によっては（93ページ参照）、特定のシャッタースピードが選択できなくなることがあります。選択できないシャッタースピードは、選択可能な最も遅いシャッタースピードに置き換わります。

例：HQ 1280/29.97P、フレームレート60でスロー&クイックモーション撮影を行う場合
シャッタースピードは次のように表示されます。
スロー&クイックモーションモード：オフ
1/40 → 1/50 → 1/60 → 1/100 → ...

スロー&クイックモーションモード：オン
1/60 → 1/60 → 1/60 → 1/100 → ...

シャッタースピード（ECSモード）を設定するには

- 1 シャッターモードをECSに設定する（前項参照）。
- 2 MENUつまみを回して、希望の周波数を表示させる。

シャッタースピード（SLSモード）を設定するには

- 1 メニューのOPERATION > Shutter > Slow Shutterで、シャッターモードをOnに設定する（142ページ参照）。
- 2 メニューのOPERATION > Shutter > SLS Framesで、希望のフレーム数を選択する。

オートアイリスの設定

逆光の被写体を適正な明るさで撮るときや、スポットライトが当てられた被写体の白つぶれなどを防ぐときなど、被写体の照明条件によってはオートアイリスの設定を変更する必要があります。レンズ絞りの基準値は、標準値に対して次の範囲に設定できます。

- 0.25～1（0.25刻み）：約0.25～1絞り分開きぎみになる。
 - -0.25～-1（0.25刻み）：約0.25～1絞り分閉じぎみになる。
- また、オートアイリスの対象となる範囲を設定しておくこともできます。

基準値を変更するには

- 1 メニューのOPERATION > Auto Iris > Iris OverrideをOnに設定する（140ページ参照）。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをOFFにする。
- 3 MENUつまみを回して基準値を変更する。

ご注意

このとき、シャッターモードがECS以外のモードになっていることを確認してください。

現在の基準値は、ビューファインダー画面のアイリスポジション表示（40ページ参照）位置に表示されるインジケーターで確認することができます。

絞りを開きぎみにする場合

MENUつまみを本機正面から見て反時計方向に回します。
0.25、0.5、0.75、1のいずれかに設定します。

絞りを閉じぎみにする場合

MENUつまみを本機正面から見て時計方向に回します。

-0.25、-0.5、-0.75、-1のいずれかに設定します。

変更した基準値は電源を切るまで保持されます。基準値を変更しても、電源を入れるたびに標準値に戻ります。

オートアイリス検出ウィンドウを設定するには

1 メニューのOPERATION >Auto Iris >Iris Window IndicationをOnに設定する。

ビューファインダー画面上に現在選択されているオートアイリスウィンドウが表示されます。

オートアイリスウィンドウを常に表示しておく必要がない場合は、Offに設定します。

2 MENUつまみを回してIris Windowを選択し、つまみを押す。

3 MENUつまみを回して希望のオートアイリスウィンドウを選択し、つまみを押す。



図の網かけ部で光を検出する

Varを選ぶと、次表の項目が有効となり、希望の大きさのウィンドウを作成できます。メニューのMAINTENANCE >Auto Iris2の以下の項目を設定してください。

項目	設定
Iris Var Width	ウィンドウの幅
Iris Var Height	ウィンドウの高さ
Iris Var H Pos	ウィンドウの横方向の位置
Iris Var V Pos.	ウィンドウの縦方向の位置

メニューを終了すると、手順3で選択したオートアイリスウィンドウが表示されます。

常に表示しておく必要がない場合は、メニューのOPERATION >Auto Iris >Iris Window Indicationの設定をOffに変更します。

高輝度の外乱による影響を軽減させるには

高輝度の画像が入ってきたためオートアイリスが閉じ過ぎて全体的に暗くなり過ぎ、白つぶれという状態になることがあります。このような場合は、ハイライトクリップ機能をONに設定すると、あるレベル以上のものにクリップをかけて、オートアイリスへの影響を低減することができます。

メニューのOPERATION >Auto Iris >Clip High LightをOnに設定します。

音声レベルの調整

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにすると、各チャンネルに記録されるアナログ音声信号の入力レベルは自動的に調整されます。また、手動で調整することもできます。

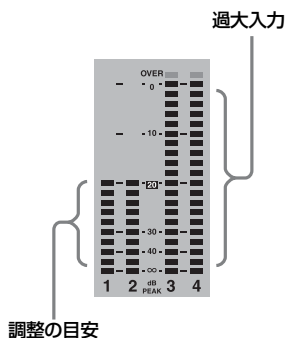
ご注意

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにしても、デジタル音声信号の入力レベルは自動調整されません。

手動調整時の音声レベルの目安

-20 dBを目安に調整します。

音声レベルメーターが0 dBまで表示されるときは、入力音量が過大です。



AUDIO IN CH-1/CH-2端子からの音声レベルを手動調整する

- 1 AUDIO IN CH-1/CH-2端子への入力信号を記録、調整したいチャンネルに相当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。
1、2チャンネルとも記録、調整する場合は、両方のAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。
- 2 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALにする。

- 3 手順1で選んだチャンネルのLEVELつまみで、通常の入力量のときの音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベル調整とつまみの対応について

メニューのMAINTENANCE > Audioで、AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の記録レベルの調整をどのつまみで行うか、選択することができます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

Rear1/WRR Level：チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL (CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL (CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

Rear2/WRR Level：チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL (CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL (CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

ご注意

LEVEL (CH1/CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動を選択した場合、MIC LEVELつまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声を記録できません。MIC LEVELつまみの位置を確認してから、LEVEL (CH1/CH2) つまみで調整してください。

MIC IN端子からの音声レベルを手動調整する

- 1 使用するチャンネルのAUDIO INスイッチをFRONTに設定する。

- 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALに設定する。
- MIC LEVELつまみを回して、通常の入力音量のとき音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベル調整とつまみの対応について

メニューのMAINTENANCE >Audioで、フロントマイクから入力する音声の記録レベルの調整をどのつまみに割り当てるかを設定できます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

MIC CH1 Level：チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL (CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL (CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

MIC CH2 Level：チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL (CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL (CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

ご注意

MIC LEVELつまみとLEVEL (CH1/CH2) つまみの連動を選択した場合、LEVEL (CH1/CH2) つまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声記録できません。LEVEL (CH1/CH2) つまみの位置を確認してから、MIC LEVELつまみで調整してください。

チャンネル3、4への音声の記録について

記録音声の選択について

音声チャンネル3、4に記録される音声は、AUDIO IN CH3/CH4スイッチで選ぶことができます。

CH3 スイッチ	チャンネル3の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-1端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

CH4 スイッチ	チャンネル4の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-2端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

また、以下のよう自動で選択されるようにすることもできます。

チャンネル1、2と同じ音声自動で選択されるようにするには

メニューのMAINTENANCE >Audio >Audio CH3/4 ModeをCh1/2に設定します。

記録音声レベルを調整するには

自動調整するには

AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをAUTOにします。

手動調整するには

- AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをMANUALにする。
- レベル調整を行うつまみを、メニューのMAINTENANCE >AudioのAudio CH3 LevelおよびAudio CH4 Levelで選択する。

Audio CH3 Level : チャンネル3の記録レベル

設定値	つまみ
Side3	LEVEL (CH3) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side3	LEVEL (CH3) つまみと MIC LEVELつまみの連動

Audio CH4 Level : チャンネル4の記録レベル

設定値	つまみ
Side4	LEVEL (CH4) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side4	LEVEL (CH4) つまみと MIC LEVELつまみの連動

音声チャンネル3、4の音声レベルが、ここで選択したつまみで調整できるようになります。

タイムデータの設定

ご注意

ピクチャーキャッシュモードが有効なときは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてもタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、ピクチャーキャッシュモードをオフにしてください。

タイムコードを設定する

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00~23:59:59:29（時：分：秒：フレーム）です。

- 1 DISP SEL/EXPANDボタンを押して、LCDモニターをステータス表示に切り換える。
- 2 DISPLAYスイッチをTCにする。
- 3 PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- 4 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。
タイムコードの最上桁が点滅します。
- 5 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。
数値を00:00:00:00にリセットするにはRESET/RETURNボタンを押します。
- 6 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを切り換える。
F-RUN : タイムコードは常に歩進する
R-RUN : タイムコードは記録時に歩進する

DF/NDFの切り換えについて

メニューのMAINTENANCE > Timecodeで、DF（ドロップフレームモード）/NDF（ノン

ドロップフレームモード)を切り換えることができます。

タイムコードを連続させるには

F-RUN/SET/R-RUNスイッチがR-RUNに設定されているときは、タイムコードは連続して記録されます。ただし、途中でメディアを交換して記録を行うと、再び元のメディアを入れてもタイムコードは連続しません。

このようなときは、PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをREGENにするとタイムコードを連続させることができます。

タイムコードに実時刻を入れるには

PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをCLOCKにすると、タイムコードに実時刻が入ります。実時刻の設定が必要な場合は、メニューのMAINTENANCE >Clock Set >Date/Timeを使用します。

◆詳しくは、「内蔵時計の日付と時刻の設定」(47ページ)をご覧ください。

ユーザービットを設定する

ユーザービットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻、シーン番号)などの情報をタイムコードトラックに記録することができます。

- 1 DISP SEL/EXPANDボタンを押して、LCDモニターをステータス表示に切り換える。
- 2 DISPLAYスイッチをU-BITにする。
- 3 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。
ユーザービットの最上桁が点滅します。
- 4 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。

数値を00 00 00 00にリセットするにはRESET/RETURNボタンを押します。

- 5 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを希望のタイム

コードの歩進モードに応じてF-RUNまたはR-RUNにする。

ユーザービットのメモリー機能について

ユーザービットの設定内容(実時刻以外)は自動的にメモリーに記憶され、電源を切った後も保持されます。

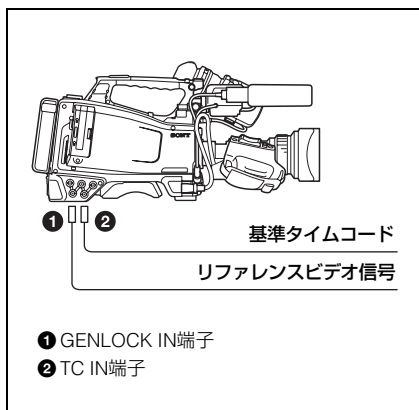
タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部VTRのタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

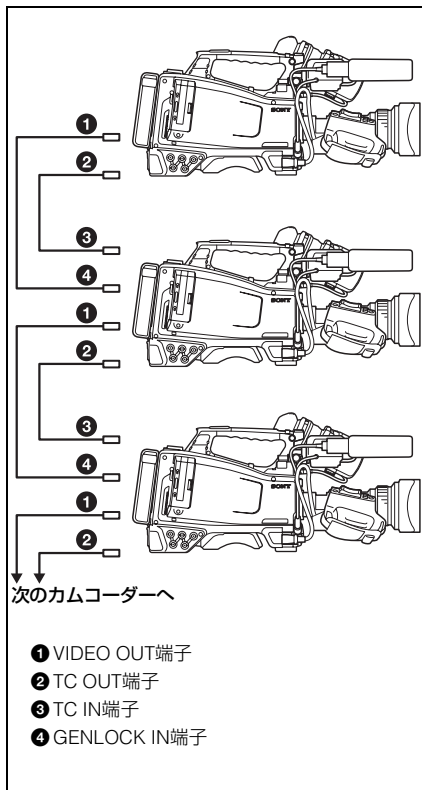
接続例

次図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：外部の信号にロックさせる場合



例2：本機を複数台接続し、1台をリファレンスとする場合



タイムコードを外部ロックさせるには

- 1 POWERスイッチをONにする。
- 2 PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- 3 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをF-RUNにする。
- 4 DISPLAYスイッチをTCにする。
- 5 SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ入力する。

これで内部タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続をはずしても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に表示されますが、シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のシステム周波数が一致しないと、正しくゲンロックできません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。

外部ロック時のユーザービットの設定について

タイムコードの外部ロック時は、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの入力を停止してから、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをR-RUNに設定します。

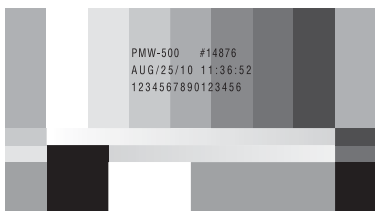
外部ロック中に、電源をバッテリーパックから外部電源に切り換えるときタイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックをはずしてください。バッテリーパックを先にはずしたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部ロックについて

外部ロック中、カメラ部はGENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号によってゲンロックがかかります。

ショットデータの設定

カラーバー出力時には、ショットデータを表示することができます。



ショットデータの例

メニューのOPERATION >Shot Displayで、スーパーインポーズするショットデータを選択することができます。

Shot Date（撮影日）

撮影日をスーパーインポーズするときは、MENUつまみを回してShot DateをOnに設定し、つまみを押します。

Shot Time（撮影時刻）

撮影時刻をスーパーインポーズするときは、MENUつまみを回してShot TimeをOnに設定し、つまみを押します。

Shot Model Name（機種名）

機種名をスーパーインポーズするときは、MENUつまみを回してShot Model NameをOnに設定し、つまみを押します。

Shot Serial Number（シリアルナンバー）

シリアルナンバーをスーパーインポーズするときは、MENUつまみを回してShot Serial NumberをOnに設定し、つまみを押します。

Shot ID Select（ショットID選択）

任意に作成したショットIDをスーパーインポーズするときは、MENUつまみを回して

Shot ID SelectをID-1～ID-4のいずれかに設定し、つまみを押します。

◆ショットIDの作成方法については、次項「ショットIDを作成する」をご覧ください。

ショットIDを作成する

16文字までの任意の文字列を、ショットIDとしてカラーバー出力にスーパーインポーズすることができます。4種類のショットIDを作成できます。

ショットIDを作成するには

- 1 メニューのOPERATION >Shot IDで、MENUつまみを回して設定したいショットIDを選択し（ID-1～ID-4）、つまみを押す。



ショットIDの設定画面が表示されます。

- 2 「文字列を入力するには」（126ページ）の手順に従って、ショットIDを作成する。

各種設定や状態を確認する（ステータス画面）

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面は、次の5種類の画面で構成されています。

ステータス画面の種類	表示内容
カメラステータス	撮像に関する設定と状態
オーディオステータス	オーディオ入出力に関する設定と状態
ビデオステータス	記録・再生に関する設定と状態
アサインブルスイッチステータス	アサインブルスイッチに割り当てられている機能の名称
バッテリー/メディアステータス	装着されているバッテリーと記録メディアの状態

ステータス画面を表示するには

メニューが表示されていないとき、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に押し上げます。押し上げることにより、ステータス画面が前表の順番に切り替わります。

カメラステータス画面

撮像に関する設定や状態を表示します。



White Bal : ホワイトバランスの状態

Gain : GAINスイッチの状態

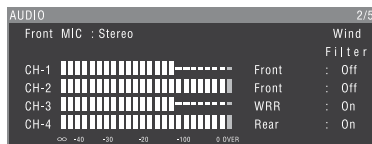
Zoom Speed : レンズのZOOMボタンに設定されたズームスピード

Zebra : ゼブラの状態

Skin Detail : スキンディテールの状態

オーディオステータス画面

オーディオ入出力に関する設定や状態を表示します。

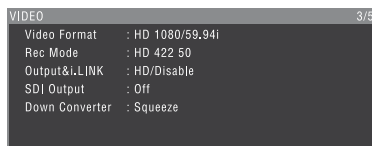


CH-1/CH-2/CH-3/CH-4 : オーディオレベルメーターと入力ソース

Wind Filter : 風音低減フィルター設定

ビデオステータス画面

記録・再生に関する設定や状態を表示します。



Video Format : ビデオフォーマット

Rec Mode : 記録ビットレート（HDモードのみ）

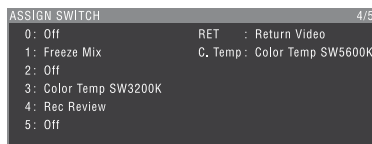
Output&i.LINK : Output&i.LINK設定とi.LINK使用状況

SDI Output : HD/SD SDI OUT端子の出力設定

Down Converter : SD出力のダウンコンバーター設定（HDモードのみ）

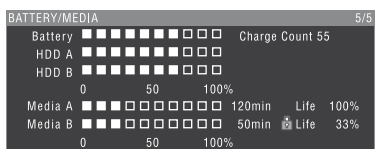
アサインブルスイッチステータス画面

アサインブルスイッチに割り当てられている機能の名称を表示します。



バッテリー／メディアステータス画面

装着されているバッテリーと記録メディアの状態を表示します。



Battery : バッテリーバック残量

Charge Count : 充電繰り返し回数

HDD A/HDD B : PHU-220Rのバッテリー残量 (FATモード時)

Media A/Media B :

- メディアの残量
- 残記録可能時間
- メディアの書き換え寿命目安 (Life)
未使用のメディアでは「Life 100%」が表示される

SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売）に記録します。

なお、本機では、以下のような機器を使用して記録を行うこともできます。

- プロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R
- メディアアダプター MEAD-MS01/SD02（FATモードで記録する場合）、または XQD ExpressCardアダプター QDA-EX1（FAT/UDFモードで記録する場合）

詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。

SxSメモリーカードについて

本機で使用可能なSxSメモリーカード

本機では、ソニー製SxS PROまたはSxS-1メモリーカードをご使用ください。

SxS PRO

- SBP-32（32GB）
- SBP-64A（64GB）

SxS-1

- SBS-32G1A（32GB）
- SBS-64G1A（64GB）

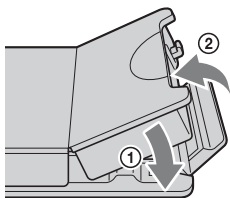
SxS PROまたはSxS-1以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

これらのメモリーカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

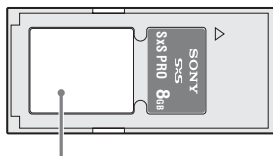
- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxSメモリーカード使用上のご注意

- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中、またはフォーマット中にSxSメモリーカードを抜いたり、振動、衝撃を与えたり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - 使用条件範囲以外の場所
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中／直射日光のあたる場所／熱器具の近くなど
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の場合は、正しい挿入方向をご確認ください。
- SxSメモリーカードの保管時および携帯時は、専用ケースに入れて確実にロックしてください。



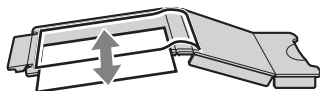
- SxS-1 メモリーカード「SBS-32G1」を UDF モードで使用するには、ソフトウェアのアップデートが必要になることがあります。詳しくは、ソニーのウェブサイトアクセスしてご確認ください（付属のCD-ROM に収録されているCD-ROM マニュアルのトップページ参照）。
- SxSメモリーカードに保存しているデータは、万一の故障によるデータの損失に備えて、バックアップを取っておいてください。SxSメモリーカードに保存したデータの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ラベルシートの貼り付け部以外には専用ラベルシートを貼らないでください。専用ラベルシートを貼るときは、所定のラベルシート貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。



専用ラベルシート貼り付け部

- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。
（本機の機能による「フォーマット」や「削除」では、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡／廃棄の際は、市販のデータ消去専用ソフトを使用するか、カードを物理的に破壊するなどお客様の責任においてデータの処理をしてください。）

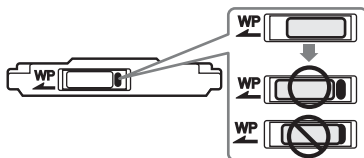
- メディア残量が少ないと、クリップを操作できないときがあります。そのような場合は、コンピューターで不要なファイルを削除してから再度操作を行ってください。
- 専用ケースカードの取り出し・再挿入の際は、専用ケースが完全に開いた状態で行ってください。



誤消去を防止するには

SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを「WP」側にすると、記録や編集、消去ができなくなります。

ライトプロテクトスイッチ



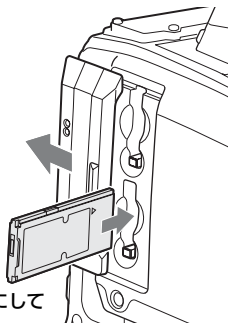
ご注意

本機に挿入したままで、SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。本機から取り出してからスイッチを切り換えてください。

SxSメモリーカードを入れる／取り出す

SxSメモリーカードを入れるには

- 1 カバーを左にスライドさせて開ける。
- 2 SxSメモリーカードをカードスロットに差し込む。



ラベルを右にして
差し込む。

ACCESSランプがオレンジで点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

3 カバーを閉める。

ACCESSランプによる状態表示

AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。

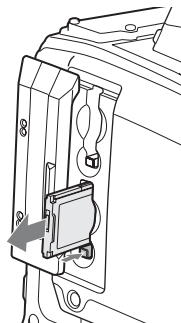
ランプ	スロットの状態
オレンジで点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み／読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • SxSメモリーカードが装着されていない。 • 使用できないカードが装着されている。 • SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出すには

- 1 カバーを開け、EJECTボタンを押してロックを解除してボタンを引き出す。

一度ボタンを押して、
ロックを解除する。

- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。



ご注意

メモリーカードへのアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合、データは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったりカードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わりません。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（103ページ）が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着したり、本機の記録モードがFATの場合にUDFモードでフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると（80ページ参照）、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。その場合は、以下の操作を行ってメモリーカードをフォーマットします。メモリーカードは、出荷時にはFATモードでフォーマットされています。

ご注意

XDCAM EX機器および本機でフォーマットしたSxSメモリーカード以外は使用できません。

フォーマット（初期化）を実行するには

フォーマット確認メッセージが表示されたら、MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押します。フォーマットが始まります。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

メニュー操作でフォーマット（初期化）するには

フォーマット指示メッセージが表示されていないときは、メニュー操作でフォーマットを実行することができます。

- 1 **メニューのOPERATION >Format Media（129ページ参照）を選択する。**
- 2 **Media(A)（スロットA）またはMedia(B)（スロットB）を選択する。**
- 3 **MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。**
フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、ビューファインダー画面に表示されます。
- 4 **MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。**

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

本機とSxSメモリーカードの記録モードが異なる場合

エラーメッセージが表示される場合と、フォーマットの実行を促すメッセージが表示される場合があります。

エラーメッセージが表示される場合

以下の状況では、「Cannot Use Media(A)/Unsupported File System」のメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

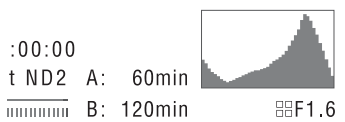
- 本機の記録モードがFATの場合にUDFモードで記録されたメモリーカードを装着した
- 本機の記録モードがUDFの場合にFATモードで記録されたメモリーカードを装着した
- 本機の記録モードがUDFの場合にFATモードでフォーマットされたメモリーカードを装着した

フォーマットの実行を促すメッセージが表示される場合

本機の記録モードがFATの場合にUDFモードでフォーマットされたメモリーカードを装着すると、FATモードでフォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます(79ページ参照)。

残りの記録可能時間を確認する

ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメ

ディアの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー／メディアステータス画面(75ページ)を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージMedia Near Fullが表示され、WARNINGランプおよびビューファインダー画面のREC表示の点滅とブザー音で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージがMedia Fullに変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージMedia Fullが表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

修復を実行するには

MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押します。
修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し“Could not Restore Some Clips”とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
 - ①本機のコピー機能（116ページ）または付属の専用アプリケーションソフトウェア（186ページ）を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
 - ②問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
 - ③必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

USBメモリーの取り扱い

UDF

UDFモード時には、外部機器接続端子にUSBメモリーを接続して、以下のデータを記録、保存、呼び出しできます。

- プロキシデータの記録（96ページ参照）
- プランニングメタデータの読み込み（98ページ参照）
- 設定データファイルの保存、呼び出し（174ページ参照）

ソニー製USBメモリーを使用するときはポケットビット高速タイプLXシリーズをおすすめします。

ご注意

- 記録容量が4GB以上のUSBメモリーを使用してください。
- 推奨品以外のUSBメモリーは、外部機器接続端子に接続しても認識されないことがあります。

USBメモリーをフォーマット（初期化）する

USBメモリーはFAT32ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

ご注意

USBメモリーを使用するときは、あらかじめパーソナルコンピューターまたは本機でフォーマットしてください。パーソナルコンピューターでフォーマットしたUSBメモリーが使用できない場合は、本機でフォーマットしてください。

1 USBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。

USBメモリーが未フォーマットの場合や本機に対応しない形式でフォーマットされている場合は、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、ビューファインダー画面に表示されます。

- 2 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。**
 実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、フォーマットが始まります。フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。USBメモリー内に、
 \MSSONYPRO\XDCAM\MEMDISC
 フォルダーと\General\Sony\Planning
 フォルダーが自動生成されます。

フォーマットできなかったときは
 プロテクトされたUSBメモリーや本機で使用できないUSBメモリーはフォーマットされません。警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、使用できるUSBメモリーに交換してください。

メニュー操作でフォーマット（初期化）するには

フォーマット指示メッセージが表示されていないときは、メニュー操作でフォーマットを実行することができます。

- 1 USBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。**
- 2 メニューのOPERATION >USB > Format USB Memoryを選択する。**
- 3 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。**
 フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、ビューファインダー画面に表示されます。
- 4 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。**
 実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、フォーマットが始まります。フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。USBメモリー内に、
 \MSSONYPRO\XDCAM\MEMDISC
 フォルダーと\General\Sony\Planning
 フォルダーが自動生成されます。

ご注意

- USBメモリーをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するUSBメモリーは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

USBメモリーを修復する

ファイルシステムが壊れているなど正常にマウントできない状態のUSBメモリーを接続すると、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押すと、実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、修復が始まります。修復が終了すると、「Restore USB Memory Done」が表示されます。

基本操作

ここでは、撮影・記録の基本操作手順を説明します。

実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、カメラシステムが正常に機能することを確認してください。

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける (41ページ参照)。
- 2 記録モードを設定する (60ページ参照)。
- 3 SxSメモリーカードを入れる (77ページ参照)。
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わりません。
- 4 本機のPOWERスイッチ (17ページ参照) をONにする。
- 5 次の設定を行う。
マーカー表示：オン (136ページ参照)
アイリス：オート (66ページ参照)
ズーム：オート
カメラ出力：撮影中の映像 (カメラ画) を選択し、DCC機能オン (22ページ参照)
タイムコードの歩進：F-RUN (フリーラン) またはR-RUN (レックラン) (70ページ参照)
オーディオ入力チャンネルの選択：オート (27ページ参照)
- 6 AUTO W/B BALスイッチを BLK側 に押し、ブラックバランスを調整する (61ページ参照)。
- 7 照明条件に合わせてフィルターを選び、ホワイトバランスを調整する (62ページ参照)。

- 8 本機を被写体に向け、フォーカスとズームを調整する。
- 9 電子シャッターを使用する場合は、適切なシャッターモード/スピードに設定する (64ページ参照)。
- 10 次のいずれかの操作を行って記録を開始する。

- REC STARTボタン (20ページ参照) を押す。
- レンズのVTRボタンを押す。
- Rec機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする (171ページ参照)。

記録中は、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が点灯します。必要に応じて、ズームとフォーカスを調整してください。

ご注意

- 記録中は (右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯)、絶対にバッテリーパックを取りはずさないでください。もし取りはずすと、記録処理が正常に終了しないため、記録中断直前の数秒間のデータが失われるおそれがあります。
- 記録中は、再生コントロールボタン (EJECT、F REV、F FWD、NEXT、PREV、PLAY/PAUSE、STOP) は動きません。

- 11 記録を停止するには、手順10のいずれかの操作を行う。

TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が消えます、本機は記録待機 (STBY) 状態になります。手順10と11の間に記録した画像・音声と付随データが、1つのクリップとして記録されます。

ご注意

UDFモードで記録しているときは、2秒以内で記録を停止しても2秒間記録を継続してから停止します。

記録内容を確認するには（レックレビュー）

記録待機中（STBY時）に、Rec Review機能またはFreeze Mix機能が割り当てられたアサイナブルスイッチをオンにします（170ページ参照）。

最終クリップの全体または最後の数秒（3秒または10秒）が再生され、STBY状態に戻ります。

再生時間は、メニューのMaintenance >Camera Config >Rec Review（158ページ参照）で変更することができます。

レンズのRETボタンにRec Review機能が割り当てられている場合は、レンズのRETボタンを押してレックレビューすることもできます。

12 手順10と11を繰り返して、記録を繰り返す。

メモリーカード上に順次クリップが作成されます。



ご注意

- 記録を停止してから約1秒間は次の記録を再開できません。
- 1枚のメモリーカードに記録できるクリップ数は、最大600個です。クリップが600個記録されると、メモリーカードに空き容量があっても、記録できなくなります。

クリップのファイルサイズについて

クリップのサイズは、ファイルフォーマットに応じて変わります。

ファイルフォーマット	ファイルサイズ	クリップサイズ
MP4	4GB未満	30分未満
AVI	2GB未満	9分30秒未満
MXF	43GB未満	6時間未満

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファ

イルに分割されることがあります（最大分割数は99）。

複数のファイルに分割された場合でも、本機上では1つのクリップとして扱います。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、自動的に8文字のクリップ名（前半4文字の英数字＋後半4桁の番号）が生成されます。

例：ABCD0001

クリップ名の前半部分（文字の英数字）は、メニューのOPERATION >Clip >Title Prefix（143ページ参照）で設定開始前に任意の文字列（4～46文字）にすることも可能です。（記録後に変更することはできません。）

クリップ名の後半部分（4桁の番号）は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（STBY時）の場合は、レックレビュー機能（84ページ参照）により最後に記録したクリップの全体または一部を再生することもできます。

1 再生するSxSメモリーカードを入れる（77ページ参照）。

2 PREVボタン（24ページ参照）またはF REVボタン（24ページ参照）を押して、再生したいクリップを頭出しする。

3 PLAY/PAUSEボタンを押す。
PLAY/PAUSEインジケータが点灯し、ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生を一時停止するには

PLAY/PAUSEボタンを押します。

一時停止中はPLAY/PAUSEインジケータが点滅します。

もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生するには

F FWDボタン（24ページ参照）またはF REVボタン（24ページ参照）を押します。

標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

メモリーカードを切り換えるには

メモリーカードを2枚装着しているときは、SLOT SELECT ボタン（28ページ参照）を押して切り換えます。

再生中にメモリーカードを切り換えることはできません。

再生を終了するには

STOPボタンを押す：再生が停止し、本機はE-Eモードになります。

THUMBNAILボタンを押す：再生が停止し、ビューファインダー画面にサムネイル画面（103ページ参照）が表示されます。

再生中に記録を開始したりSxSメモリーカードを取り出した場合も、再生が停止し、ビューファインダー画面にカメラ画が表示されます。

再生中にカメラ画を表示するには (ライブアンドプレイ機能)

ライブアンドプレイは、再生中にビューファインダー画面にカメラ画（ライブ映像）を表示する機能です。

ビューファインダー画面でカメラ画（ライブ映像）を確認しながら、次の撮影のためのフレーミング、ピント合わせ、露出などの調整を行うことができます。フレーミング合わせには、フリーズミックス機能（95ページ参照）を併用することもできます。ライブアンドプレイ機能は、本機が以下のようにセットアップされている場合に有効です。

HD/SD	システムライン数	システム周波数
HD	1080	1920/59.94i
		1920/50i
		1440/59.94i
		1440/50i
720		1280/59.94P
		1280/50P

HD/SD	システムライン数	システム周波数
SD	-	59.94i
		50i
		59.94i
		50i

ライブアンドプレイ機能を使用するには、メニューのOPERATION >Output >Live&PlayをOnにします。

ご注意

- 再生中およびサムネイル表示中にLive&Playのオン/オフを切り換えることはできません。
- フレームレックモード、インターバルレックモード、スロー&クイックモーションモードおよびスローシャッター設定時はライブアンドプレイ機能を使用できません。
- フリーズミックス機能を併用する場合、まずLCDモニターを見て操作してください（DISP SEL/EXPANDボタンを押して、表示モードをSTATUS以外に設定）。操作が完了し、フリーズミックス機能が動作したら、ビューファインダー画面と同じ映像が表示されます。
- 記録時のシステムライン数やシステム周波数が本機の現在の設定と異なるクリップを再生しているときは、カメラ画に切り換えることはできません。
- HD/SD SDI OUT端子やVIDEO OUT端子の出力を再生画またはカメラ画に切り換える場合、映像の切り替わり時に一瞬静止画になることがあります。

記録したクリップを削除する

アサインブルスイッチを使用して直前に記録したクリップを削除することができます（Last Clip DEL機能）。

- ◆THUMBNAILメニューを使用して、記録した全クリップを一括削除したり（All Clips DEL機能）、任意のクリップを選択して削除する方法については、「クリップを削除する」（117ページ）をご覧ください。

1 Last Clip DEL機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする（171ページ参照）。

確認メッセージが表示されます。

- 2 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。

応用操作

ショットマークを記録する

UDF/FAT-HD

本機では、HDモードで記録したクリップに対して、2種類のショットマークを任意の位置に記録できます。ショットマークを記録しておく、編集時にすばやく頭出しすることができます。

1つのクリップに記録できるショットマークの最大数はファイルフォーマットに応じて変わります。

ファイルフォーマット	最大数
MP4	127
MXF	999

ご注意

SDモードでショットマークを記録することはできません。

- ◆ THUMBNAILメニューを使用して、任意のクリップにショットマークを追加／削除することもできます。詳しくは、「ショットマークを追加／削除する」(120ページ)をご覧ください。

ショットマークを記録するには

次の2つの方法があります。

- Shot Mark 1またはShot Mark 2機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする(170ページ参照)。
- レンズのRETボタンにLens RET機能が割り当てられている場合は、レンズのRETボタンを次のように操作する。

ショットマーク1を記録するには：1回押す。

ショットマーク2を記録するには：すばやく2回押す。

ショットマークが記録されると、ビューファインダー画面のタイムコード表示付近に「ShotMark1」または「ShotMark2」が約3秒間表示されます。

OKマークを設定する

UDF / FAT-HD

編集時にクリップを選別する目安として、HDモードで記録したクリップに対してOKマークを設定することができます。

ご注意

記録または再生中にOKマークを設定／削除することはできません。

設定／削除するには

THUMBNAILメニューを使用して、任意のクリップに対してOKマークを設定／削除することができます。詳しくは、「クリップにOK、NG、KPマークを付ける／削除する」(114ページ)をご覧ください。

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）

本機では、内蔵の大容量メモリーに、本機で撮影している映像／音声データを常時数秒間（最大15秒間）分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間の設定

ピクチャーキャッシュモードで記録を始めるには、あらかじめOPERATIONメニューでピクチャーキャッシュモードおよびメモリーへの画像の蓄積時間（ピクチャーキャッシュ時間）を選択しておく必要があります。

記録を開始したときに、記録開始操作の実行から何秒前にさかのぼって記録できるかは、ピクチャーキャッシュ時間によって決まります。次の「ご注意」に挙げるような特殊な場合では、さかのぼって記録できる時間が短くなる場合があります。

ご注意

- メモリーへの画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュモードを選択してから開始されます。したがって、選択後すぐに記録を開始した場合は、ピクチャーキャッシュモード選択以前に撮影した映像は記録されません。
- 再生、レックレビュー、およびサムネイル表示を行っている間は、メモリーに画像を蓄えないため、再生やレックレビューを行っていた間の映像をさかのぼって記録することはできません。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間を設定するには

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニニアスレックと同時に使用することはできません。ピクチャーキャッシュモードを選択すると、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニニアスレックは無効になります。また、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニニアスレックのいずれかを有効にすると、ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- 記録中にピクチャーキャッシュ時間を設定することはできません。

1 メニューのOPERATION >Rec Function >Picture Cache Recを選択する。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
- 3 P. Cache Rec Timeを選択し、MENUつまみを回して希望のピクチャーキャッシュ時間を選択し、つまみを押す。
0-2sec、2-4sec、4-6sec、6-8sec、8-10sec、10-12sec、12-14sec、13-15secから選択できます。

一度選択したピクチャーキャッシュモードは、設定を変更するまで保持されます。手順1、2を行う代わりに、Picture Cache機能を割り当てたアサイナブルスイッチを使用して（170ページ参照）ピクチャーキャッシュモードを選択することもできます。

ピクチャーキャッシュモードで記録する場合の本機の動作について

記録の手順は通常とほぼ同じですが、本機の動作には通常と異なる点がありますので、以下の点に充分ご注意ください。

- メディアへのアクセスが行われている間に記録を開始した場合、実際に記録される映像の開始点が、設定されたピクチャーキャッシュ時間よりも遅くなる場合があります。記録クリップ数が多いほど遅くなるため、ピクチャーキャッシュモードでは、すばやく記録停止、記録開始操作はなるべく避けてください。
- F-RUN/SET/R-RUNスイッチの設定にかかわらず、F-RUNモードになります。
- ピクチャーキャッシュモードでは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、いったんピクチャーキャッシュモードを解除してください。
- 現在選択されているスロット内のメディアの記録可能残量がピクチャーキャッシュ時間よりも少ない場合は、選択されていないスロット内のメディア（十分な記録可能残量があれば）に対して記録が行われます。

ただし、選択されていないスロット内にメディアがない場合や、スロット内のメディアの記録可能残量が不十分な場合は、記録は行われません。（ビューファインダー画面に、メディア残量が不足している旨を知らせるメッセージが表示されます。）

- 記録開始操作前にショットマークを設定しても、ショットマークは記録されません。
- ビデオフォーマットがi.LINK HDV出力可能な設定の場合に、ピクチャーキャッシュ記録したクリップを再生すると、同じ画像とタイムコードが数フレーム連続することがあります。
- ピクチャーキャッシュ記録中もi.LINK出力は可能です。ただしピクチャーキャッシュ時間に制限があります。

記録中に本機の電源が切れた場合

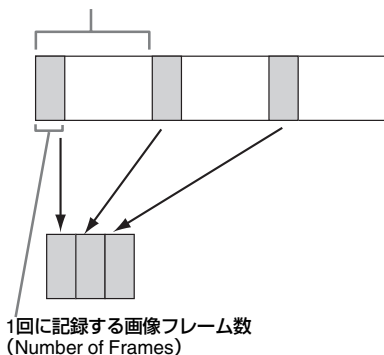
- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、数秒間メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DCケーブルを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、メモリーに蓄積されている映像／音声データが消滅するため、その瞬間までの映像は記録されません。バッテリー交換の際は、充分ご注意ください。

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

記録を開始すると、設定したフレーム数（Number of Frames）分の映像を、任意のインターバル（Interval Time）で自動記録できます。

撮影の間隔 (Interval Time)



インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトを自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます（プリライティング機能）。

インターバルレックの設定と撮影

ご注意

- インターバルレックは、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックと同時に使用することはできません。インターバルレックモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックのいずれかを有効にすると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中にインターバルレックの設定を変更することはできません。
- 以下のフォーマット設定ではインターバルレックは無効です。
 - FAT モードの SP 1440/59.94i または SP 1440/50i で、出力設定が HD、メニューの

OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable

- FAT モードの SP 1440/23.98P（ブルダウン記録）
- UDF モードの HD420 HQ 1280 × 720/23.98P（ブルダウン記録）
- HQ 1920/23.98P または HQ 1280/23.98P 以外で、出力設定が SD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable

設定するには

- 1 **メニューのOPERATION >Rec Function >Interval Recを選択する。**
 ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの構成と階層」（122ページ）をご覧ください。
- 2 **MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。**
 本機はインターバルレックモードになり、ビューファインダー画面で「Interval」の表示が点滅します。（HDVFシリーズビューファインダー内のグリーンタリーランプも点滅します。）
- 3 **Number of Framesを選択し、MENUつまみを回して1回に記録する希望のフレーム数を選択し、つまみを押す。**
 1、3、6、9（フォーマットの設定が720/59.94Pまたは720/50Pの場合は2、6、12）から選択できます。
- 4 **Interval Timeを選択し、MENUつまみを回して希望のインターバル選択し、つまみを押す。**
 1~10/15/20/30/40/50 sec、1~10/15/20/30/40/50 min、1~4/6/12/24 hourから選択できます。
- 5 **必要に応じてPre-Lightingを選択し、MENUつまみを回して記録開始前のビデオライト点灯時間を選択し、つまみを押す。**
 1~10/15/20/30/40/50 sec、1~10/15/20/30/40/50 min、1~4/6/12/24 hourから選択できます。

ご注意

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、本機のLIGHTスイッチを「AUTO」に設定してください。ビデオライトのスイッチもオンしておく必要があります。このときビデオライトが自動点灯/消灯します。ただし、消灯時間が5秒以下の場合、ビデオライトは連続して点灯します。
- LIGHTスイッチを「MANUAL」に設定し、ビデオライトのスイッチをオンにすると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、Number of Frames、Interval Time、Pre-Lightingの設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときには再設定する必要はありません。

撮影するには

「基本操作」(83ページ)にしたがって、記録のための設定や準備を行った後、本機が動かないように固定して撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Interval」表示が点滅から点灯に変わり、REC表示位置に「INT REC」と「●INT STBY」が交互に表示されます。通常の記録時と同様に、TALLYランプとビューファインダー前面のタリールランプが点灯します。(HDVFシリーズビューファインダー内のグリーンタリールランプが高速で点滅します。)プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOFFにする。
- 記録待機中に、メニューのOPERATION >Rec Function >Interval RecをOffに設定する。

記録中の動作制限

- i.LINK (HDV/DV) 端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定にかかわらず、R-RUNモードになります。
- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- SLOT SELECTボタンを押すと、「Number of Frames」で設定されたフレーム数分の記録を終了してクリップを作成し、別のメディアに切り換えます(UDFモード時)。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット(最大15秒)が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

コマ撮りする(フレームレック機能)

フレームレック機能は、クリエイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数(Number of Frames)だけ間欠的に映像を記録します。

フレームレックの設定と撮影

ご注意

- フレームレックは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックと同時に使用することはできません。フレームレックモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレックのいずれかを有効にすると、フレームレックモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。フレームレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中にフレームレックの設定を変更することはできません。
- 以下のフォーマット設定ではフレームレックは無効です。
 - FAT モードの SP 1440/59.94i または SP 1440/50i で、出力設定が HD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable
 - FAT モードの SP 1440/23.98P (フルダウン記録)
 - UDF モードの HD420 HQ 1280 × 720/23.98P (フルダウン記録)
 - HQ 1920/23.98P または HQ 1280/23.98P 以外で、出力設定が SD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable

設定するには

- 1 **メニューのOPERATION >Rec Function >Frame Recを選択する。**
◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。
- 2 **MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。**
本機はフレームレックモードになり、ビューファインダー画面で「Frame Rec」の表示が点滅します。(HDVFシ

リーズビューファインダー内のグリーンタリーランプも点滅します。)

- 3 **Number of Framesを選択し、MENUつまみを回して1回に記録する希望のフレーム数を選択し、つまみを押す。**
1、3、6、9 (フォーマットの設定が 720/59.94Pまたは720/50Pの場合は2、6、12) から選択できます。

本機の電源を切るとフレームレックモードは解除されますが、Number of Framesの設定は保持されます。次回フレームレックモードでの撮影時に再設定する必要はありません。

撮影するには

「基本操作」(83ページ)にしたがって、記録のための設定や準備を行った後、本機が動かないように固定して撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Frame Rec」表示が点滅から点灯に変わり、REC表示位置に「FRM REC」と「FRM STBY」が交互に表示されます。通常の記録時と同様に、TALLYランプとビューファインダー前面のタリーランプが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

フレームレックモードを終了するには 次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOFFにする。
- 記録待機中に、メニューのOPERATION >Rec Function >Frame RecをOffに設定する。

記録中の動作制限

- i.LINK (HDV/DV) 端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの

設定にかかわらず、R-RUNモードになります。

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- SLOT SELECTボタンを押すと、「Number of Frames」で設定されたフレーム数分の記録を終了してクリップを作成し、別のメディアに切り換えます。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット（最大10秒）が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

スロー&クイックモーション撮影する

本機がHDモードで、ビデオフォーマット（58ページ）が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

OPERATION >Format の設定				ビデオフォーマット	
Country	File System	HD System	System Line		
NTSC Area または NTSC(J) Area	UDF	1080	HD422 50/29.97P		
			HD422 50/23.98P		
			1080		HD420 HQ 1920/29.97P HD420 HQ 1920/23.98P
	FAT	1080	720		HD422 50/59.94P HD422 50/29.97P HD422 50/23.98P
			720		HQ 1920/29.97P HQ 1920/23.98P HQ 1280/23.98P
			720		HQ 1280/59.94P HQ 1280/29.97P

OPERATION >Format の設定				ビデオフォーマット	
Country	File System	HD System	System Line		
PAL Area	UDF	1080	HD422 50/25P		
			1080		HD420 HQ 1920/25P
			720		HD422 50/25P HD422 50/50P
	FAT	1080	720		HQ 1920/25P HQ 1280/50P HQ 1280/25P
			720		HQ 1920/25P HQ 1280/50P
			720		HQ 1280/50P HQ 1280/25P

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の数倍で撮影した映像を低速再生したり高速再生するよりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

例

ビデオフォーマットがHQ 1280/23.98Pのとき、フレームレートを1〜23に設定して撮影するとクイックモーション映像になり、フレームレートを25〜60に設定して撮影するとスローモーション映像になります。

スロー&クイックモーションの設定と撮影

設定するには

ご注意

- スロー&クイックモーションは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、クリップコンティニュースレックと同時に使用することはできません。スロー&クイックモーションモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、クリップコンティニュースレックは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、クリップコンティニュースレックのいずれかを有効にすると、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。
- スローシャッター設定時（シャッター表示が「SLS」の場合）は、スロー&クイックモーションは無効になります。また、スロー&クイックモーションモード時は、スローシャッター設定は無効になります。

- メニューのOPERATION >Input/Output >i.LINK I/Oの設定がEnableの場合、スロー&クイックモーションは無効になります。また、スロー&クイックモーションモード時は、i.LINK I/OはDisableに固定されます。
- 記録中にスロー&クイックモーションの設定を変更することはできません。

1 メニューのOPERATION >Rec Function > Slow & Quickを選択する。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

本機はスロー&クイックモーションモードになり、ビューファインダー画面で「S&Q STBY」の表示が点灯します。

3 Frame Rateを選択し、MENUつまみを回して記録フレームレートを選択し、つまみを押す。

フレームレートの設定範囲は次のとおりです。

システム	フレームレート
周波数	
1080	UDFモードでメニューのOPERATION >Format >CountryがPAL Areaの場合：1~25 FATモードの場合またはUDFモードでメニューのOPERATION >Format >CountryがPAL Area以外の場合：1~30
720	UDFモードでメニューのOPERATION >Format >CountryがPAL Areaの場合：1~50 FATモードの場合またはUDFモードでメニューのOPERATION >Format >CountryがPAL Area以外の場合：1~60

設定完了後、ビューファインダー画面上部にシステム周波数とフレームレートが表示されます。この表示を見ながら、MENUつま

みでフレームレートを変更することもできます。

本機の電源を切ってもスロー&クイックモーションモードとFrame Rateの設定は保持されます。

撮影するには

「基本操作」(83ページ)にしたがって撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「S&Q STBY」表示が「●S&Q REC」になります。通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリールランプも点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

ご注意

Frame Rateを小さい値(遅いフレームレート)に設定すると、記録停止操作を行ってから記録を停止するまでの時間が長くなります。

スロー&クイックモーションモードを終了するには

記録待機中に、メニューのOPERATION >Rec Function >Slow & QuickをOffに設定します。

記録中の動作制限

- i.LINK (HDV/DV) 端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定にかかわらず、R-RUNモードになります。
- 再生フレームレートと異なる記録フレームレートを選択した場合、音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- 記録フレームレートを現在のシャッタースピードの設定値より速い値に変更すると、シャッタースピードは撮影可能な最も遅い値に変更されます。

例：フレームレート32でシャッタースピード $1/40$ のときに、フレームレートを55に変更するとシャッタースピードは $1/60$ に変更される。

また、記録フレームレートより遅いシャッタースピードを選択することはできません。

- ゲンロックはかかりません。

クリップコンティニュースレック機能を使って撮影する

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニュースレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

クリップコンティニュースレックの設定と撮影

ご注意

- クリップコンティニュースレックは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションと同時に使用することはできません。クリップコンティニュースレックモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションのいずれかを有効にすると、クリップコンティニュースレックモードは自動的に解除されます。
- FATモード時は無効です。

設定するには

- 1 メニューのOPERATION >Rec Function >Clip Continuous Recを選択する。

- ◆ メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

本機はコンティニュースレックモードになり、ビューファインダー画面で「CONT」の表示が点灯します。

ASSIGN. 1/2/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとCOLOR TEMP.ボタンにクリップコンティニュースレック機能のオン/オフを割り当てることもできます。

- ◆ 詳しくは、「アサインブルスイッチに機能を割り当てる」(170ページ)をご覧ください。

撮影するには

「基本操作」(83ページ)にしたがって撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Cont」表示が「●REC」表示に変わります。

通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプも点灯します。

ご注意

記録中または記録待機中（「Cont」表示が点灯した状態）に、メディアを取り出したりバッテリーや電源を抜くと、メディアの修復が必要になります。本機以外の機器を使ってメディアを修復することはできません。

クリップコンティニュースレックモードを終了してからメディアを取り出してください(95ページ参照)。

なお、「Cont」が点滅(1回/秒)しているときは、メディアを取り出すことができます。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

ご注意

最低2秒間記録してから記録を停止してください。

クリップコンティニュースレックモードを終了するには

記録待機中に、メニューのOPERATION
>Rec Function >Clip Continuous RecをOff
に設定します。

記録中または記録待機中の動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。(次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。)

- クリップ操作 (クリップのロック、削除、または名前の変更)
- スロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- POWERスイッチオフ
- 再生
- サムネイルモードへの切り換え

フリーズミックス機能を使ってフレーミングする

フリーズミックス機能を使うと、HDモードで記録したクリップの映像の静止画 (フリーズ画) と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができるため、フレーミング (位置合わせ) が容易に行えます。

ご注意

以下の場合、フリーズミックス機能は使用できません。

- 記録フォーマットがSP 1080/23.98P (FATモード時) またはHQ 1280/23.98P (UDFモード時) に設定されている
- 記録画像とカメラ画のビデオフォーマットが異なる
- スロー&クイックモーションモード時またはスローシャッター撮影時
- i.LINK入力時

フリーズミックス表示する

- 1 カメラ入力画像と同じフォーマットのクリップを再生またはレックレビューする。

- 2 位置合わせをしたい画像が表示されたら、Freeze Mix機能を割り当てたアサインブルスイッチをオンにする。レビュー画像が、フリーズ画としてカメラ画に重ねて表示されます。

ご注意

フリーズミックス表示中は、以下の操作や表示は無効になります。

- メニュー操作
- フォーカス拡大
- マーカー表示
- ゼブラ表示
- ピーキング表示
- スキンディテール表示

フリーズミックス表示を解除する

次のいずれかを行います。

- Freeze Mix機能を割り当てたアサインブルスイッチを再度押す。フリーズミックス表示が解除され、通常のカメラ画が表示されます。
- 記録を開始する (83ページ参照)。通常の記録が始まります。

プロキシデータの記録

UDF

プロキシデータは、低解像度の映像データ（MPEG-4）と音声データ（A-Low）で構成されています（映像データ：1.5Mbps、音声データ：各チャンネル64kbps）。オリジナルデータの代わりに、高速転送が可能なプロキシデータを利用することにより、編集、閲覧作業を効率化することができます。UDFモード時には、外部機器接続端子にUSBメモリーを接続しておく、映像、音声データを記録するときにプロキシデータが自動生成され記録されます。USBメモリーに記録されたプロキシデータをコンピューターに読み込んで、取り急ぎ撮影内容を確認したり、短時間でオフライン編集を行うことができます。

ご注意

USBメモリーへのアクセス中に本機の電源を切ったりUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。

クリップを記録しながらプロキシデータを記録する

SxSメモリーカードにクリップを記録しながら、USBメモリープロキシデータを記録することができます。

- 1 メニューのMAINTENANCE >USB >Memory RecをEnableに設定する。
- 2 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する（81ページ参照）。
- 3 記録を開始する。

SxSメモリーカードにオリジナルデータが記録されると同時に、自動作成された\MSSONY\PRO\XDCAM\MEMDISC**プロキシデータ：**<Proav-ID>\Sub\内に保存されます。

メタデータ：<Proav-ID>\Clip\内に保存されます。

プロキシデータの記録を停止するには
記録を停止しないでプロキシデータの記録だけを停止するには、メニューのMAINTENANCE >USB >Memory RecをDisableに設定します。

記録が失敗したときは

「USB Memory Error」が表示されます。USBメモリーの空き容量不足により記録が失敗したときは、「USB Memory Full」が表示されます。

USBメモリーの不備などで記録が失敗したときは、USBメモリーを交換したり、再接続することにより、本機内部のメモリーに保存されているプロキシデータを再度記録することができます。

クリップのプロキシデータを記録する

SxSメモリーカードに記録されているクリップのプロキシデータをUSBメモリーに記録することができます。

すべてのクリップのプロキシデータを記録するには

- 1 メニューのMAINTENANCE >USB >Memory RecをEnableに設定する。
- 2 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部

機器接続端子に接続する（81ページ参照）。

- 3 クリップが記録されているSxSメモリーカードを挿入する。
- 4 メニューのMAINTENANCE >USB > Copy All Clipsを選択して、MENUつまみを押す。
- 5 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。
プロキシデータの記録が始まります。
記録が完了すると、「Copy All Clips Done」が表示されます。

クリップを頭出ししてプロキシデータを記録するには

- 1 メニューのMAINTENANCE >USB >Memory RecをEnableに設定する。
- 2 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する（81ページ参照）。
- 3 クリップが記録されているSxSメモリーカードを挿入する。
- 4 プロキシデータを記録したいクリップを頭出しする。
- 5 メニューのMAINTENANCE >USB > Copy Current Clipを選択して、MENUつまみを押す。
- 6 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。
プロキシデータの記録が始まります。
記録が完了すると、「Copy Current Clip Done」が表示されます。

USBメモリー内のプロキシデータをすべて消去する

\\MSSONY\PRO\XDCAM\MEMDISCフォルダーを削除することにより、フォルダー内のプロキシデータを一括削除します。

- 1 メニューのMAINTENANCE >USB >Memory RecをEnableに設定する。
- 2 プロキシデータが記録されているUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。
- 3 メニューのMAINTENANCE >USB > Del All Memory Clipsを選択して、MENUつまみを押す。
- 4 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。
フォルダーの削除が始まります。
削除が完了すると、「Delete All Clips Done」が表示されます。

プランニングメタデータの操作

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

```
<?xmlsversion=1.0?encoding=UTF-8?>
<PlanningMetadata
xmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"
assignId="P0001" creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"
lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" load="false" version="1.00">
<PropertiespropertyId="assignment" update="2011-08-20T09:00:00+09:00"
modifiedBy="Chris">
<TitlesusAscii="Typhoon" xml:lang="ja">台風上陸</Title>
</Properties>
</PlanningMetadata>
```

プランニングメタデータファイルの例

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影を行うことができます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語¹⁾
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語¹⁾
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語¹⁾

1)一部の文字が他の類似のフォントで表示されません。

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、ビューファインダー画面お

よびLCDモニター（ステータス表示時）に表示されない場合があります。

- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。LCDモニター（ステータス表示時）には、アルファベット、数字、記号のみ表示できます。

プランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルを一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み込んでおく必要があります。

次の2つの方法で、ファイルを読み込むことができます。

- SxSメモリーカードまたはUSBメモリーの下表に示すディレクトリーに保存されたファイルを読み込む。

記録モード	メディア	保存先ディレクトリー
FAT	SxSメモリーカード	BPAV/General/Sony/Planning
	SDHC	PRIVATE/SONY/BPAV/General/Sony/Planning
UDF	SxSメモリーカード USBメモリー	General/Sony/Planning

- 本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信する。

◆Webメニューを使用してプランニングメタデータファイルを読み込む方法については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。

メニュー操作で読み込むには

メニューのOPERATION >Plan.Metadataで以下の操作を行います。

SxSメモリーカードから読み込むには

- 1 メモリーカードスロットAまたはBにSxSメモリーカードを挿入し、Load/Slot(A)またはLoad/Slot(B)をExecuteに設定する。

ファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、SxSメモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー（General/Sony/Planning）に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

- 2 MENUつまみを回してファイルリストから読み込みたいファイルを選択し、つまみを押す。

USBメモリーから読み込むには（UDFモード時）

- 1 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する（81ページ参照）。

ファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、USBメモリー内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー（General/Sony/Planning）に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

- 2 MENUつまみを回してファイルリストから読み込みたいファイルを選択し、つまみを押す。

読み込んだプランニングメタデータの詳細情報を確認するには

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

- 1 メニューのOPERATION >Plan.Metadata >PropertiesでExecuteを選択する。
- 2 MENUつまみを回して「Execute」を選択して、つまみを押す。PLANNING METADATA PROPERTIES リストが表示されます。以下の情報が表示されます。

項目	情報
File Name	ファイル名
Assign ID	アサインID
Created	ファイルの生成日時
Modified	ファイルの最終更新日時
Modified by	ファイルの更新者
Title	ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式のクリップ名）
Title2	ファイルで指定されたTitle2の内容（UTF-8形式のクリップ名）
Material Gp	マテリアルグループ ^{a)} の数
Shot Mark0～ Shot Mark9	ファイルで定義されたショットマーク0～ショットマーク9の名前

a)マテリアルグループ：同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群

MENUつまみを回してリストをスクロールすることができます。

MENUつまみを回して項目を選択し、SETボタンを押すと、選択した項目だけを表示することができます。

読み込んだプランニングメタデータを消去するには

- 1 **メニューのOPERATION**
>Plan.Metadata >ClearでExecuteを選択する。
- 2 **MENUつまみを回して「Execute」を選択して、つまみを押す。**
消去が始まります。
消去が完了すると、「Clear Planning Metadata File OK」が表示されます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面に表示されるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

メニューのOPERATION >Plan.Metadata >Clip Name Dispで、どちらのクリップ名を表示するか選択することができます。プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の被写界深度表示の下にクリップ名が表示されます。

ご注意

プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">←
  <PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spmodifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Typhoon"spxmlns:lang="ja">台風東京上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースを入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

- ◆ Wi-Fiアダプター CBK-WA01に付属のSony Planning Metadata Add-inを使用して、クリップ名を設定することもできます。詳しく

は、CBK-WA01の取扱説明書をご覧ください。

クリップ名を設定するには

- 1 クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込む。
- 2 メニューのOPERATION >Clip >Auto NamingをPlanに設定する。

記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー (_) と5桁の通し番号 (00001~99999) が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、...

通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。

ご注意

他のプランニングメタデータを読み込むと、次の記録操作で通し番号は00001に戻ります。

クリップ名の表示形式を選択するには
ASCII形式とUTF-8形式の両方の名前を定義しているときは、どちらの形式の名前をLCDモニター画面またはビューファインダー画面に表示するかを、メニューのOPERATION >Clip >Clip Name Dispで選択することができます。

ASCII形式の名前を表示するときは：

Title1(ASCII)を選択します。
クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となりますが、画面には「Typhoon_通し番号」が表示されます。

UTF-8形式の名前を表示するときは：

Title2(UTF-8)を選択します。
クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となり、画面に表示されます。

ご注意

日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

プランニングメタデータでショットマークを設定する場合、Shot Mark0~Shot Mark9の名前を設定することができます。ショットマークを記録するときに、プランニングメタデータで定義したショットマーク名文字列を付けて記録することができます。

ご注意

ショットマーク1、2のみ本機の操作で記録できます。本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターからの操作によりショットマーク3~9およびショットマーク0を記録できます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、<Meta name>タグの内容を変更します。網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式 (32文字以下)、またはUTF-8形式 (16文字以下) で記述します。

「sp」はスペース、← は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xml_sp version="1.0" _sp encoding="UTF-8"?>←  
<PlanningMetadata xmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata" _sp assignId="H00123" _sp creationDate="2011-04-15T08:00:00Z" _sp lastUpdate="2011-04-15T15:00:00Z" _sp version="1.00">←  
<Properties _sp propertyId="assignment" _sp class="original" _sp update="2011-04-15T15:00:00Z" _sp modifiedBy="Chris">←  
  <Title_sp usAscii="Football
```

```
Game" sp_xml:lang="ja">
Football Game 15/04/2011</
Title>←
  <Meta_sp name="_ShotMark1" sp
  content="Goal"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark2" sp
  content="Shoot"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark3" sp
  content="Corner Kick"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark4" sp
  content="Free Kick"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark5" sp
  content="Goal Kick"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark6" sp
  content="Foul"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark7" sp
  content="PK"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark8" sp
  content="1st Half"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark9" sp
  content="2nd Half"/>←
  <Meta_sp name="_ShotMark0" sp
  content="Kick Off"/>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「sp」が表示されていない位置にスペースを入れずに1つの文として記述してください。

- ◆ Wi-Fiアダプター CBK-WA01に付属のSony Planning Metadata Add-inを使用して、エッセンスマーク名を設定することもできます。詳しくは、CBK-WA01の取扱説明書をご覧ください。

5章 クリップ操作

クリップの再生

E-E/再生モード時にTHUMBNAILボタンを押すと、「サムネイル画面」が表示され、SxSメモリーカードに収録されているクリップの代表画がサムネイル（縮小画）として一覧表示されます。（クリップが記録さ

れていないメモリーカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。）

サムネイル画面では、任意のクリップを選択し（106ページ参照）、そのクリップから再生を開始する（106ページ参照）ことができます。

サムネイル画面

各クリップのサムネイルの下に、代表画のタイムコードが表示されます（OK、NG、KPマークが付加されている場合は、OK、NG、KPマークも表示）。

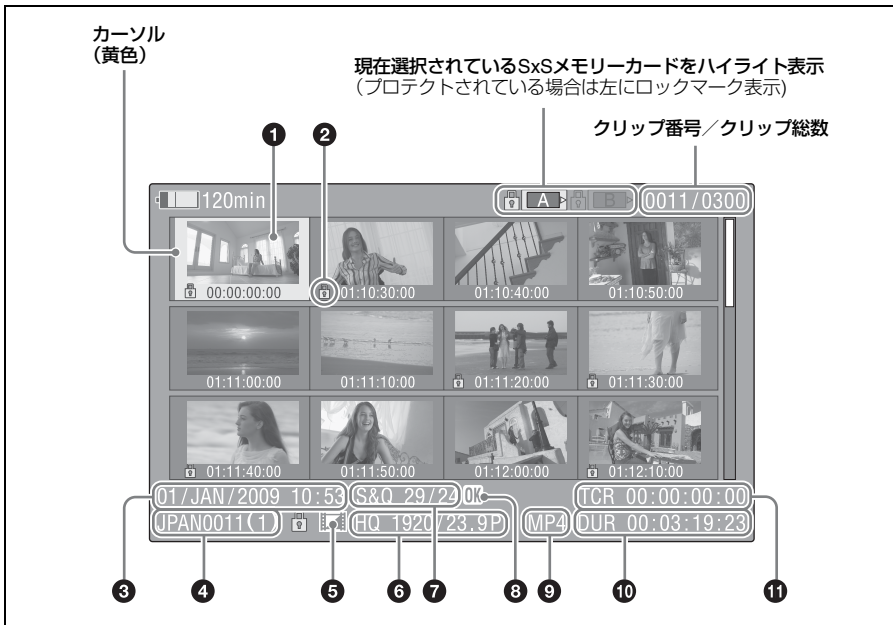
ご注意

通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHDモードとSDモードのクリップが混在して記録されている場合でも、現在メニューのOPERATION >Format >HD/SD で選択されているモード（128ページ参照）のクリップのみ表示されます。

HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（112ページ）に切り換えます。ただし、オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

サムネイル画面 (UDFモード時/FAT-HDモード時)

UDF / FAT-HD



① 代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます (120ページ参照)。

② ロックマーク

選択したクリップにOKマークが付加されているか、保護されていることを示します。

③ 収録日と録画開始時刻

④ クリップ名

⑤ AV単独ファイルアイコン

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべ

ての操作と表示ができない可能性があることを示します。

⑥ 記録時のビデオフォーマット

⑦ 特殊記録撮影情報

特殊記録モード (スロー&クイックモーション/インターバルレック/フレームレック) で記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右に[撮影フレームレート/再生フレームレート]が表示されます。

⑧ OK/NG/KPマーク

UDFモード時は、選択したクリップにOK、NG、KPマークが付加されている場合に、「OK」または「NG」、「KP」が表示されません。

FATモード時は、選択したクリップにOKマーク（114ページ参照）が付加されている場合に「OK」が表示されます。

⑨ ファイルフォーマット表示

選択したクリップのファイルフォーマット（MXFまたはMP4）が表示されます。（UDF-HDモード時は表示されません。）

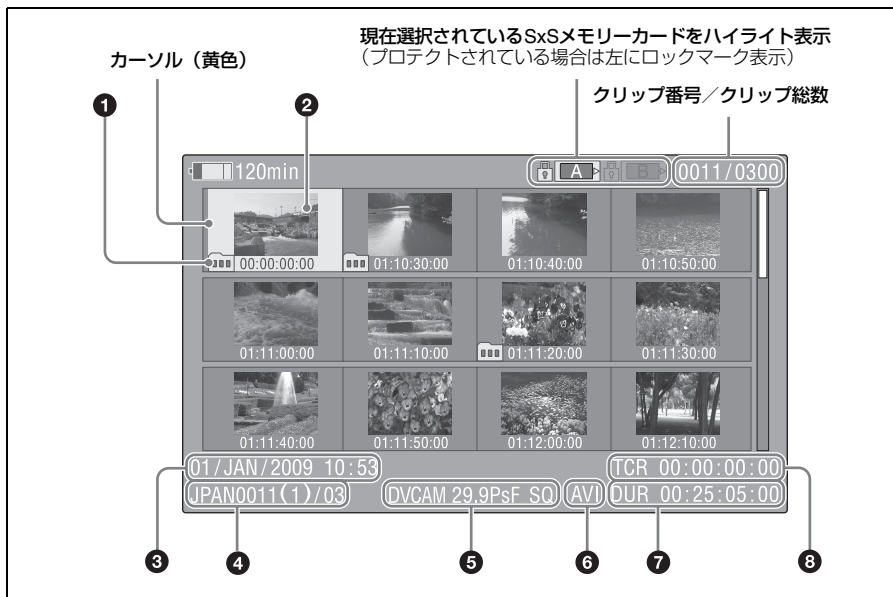
⑩ クリップの収録時間（Duration）

⑪ タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

サムネイル画面（FAT-SDモード時）

FAT-SD



① テイクマーク

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップであることを示します。それぞれの分割ファイルは、エキスパンドサムネイル画面（118ページ参照）でみることができます。

② 代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

③ 収録日と録画開始時刻

④ クリップ名／分割数

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に（/スラッシュ）で区切ってクリップの分割数を表示します。

⑤ 記録時のビデオフォーマット**⑥ ファイルフォーマット表示**

選択したクリップのファイルフォーマット (AVI) が表示されます。

⑦ クリップの収録時間 (Duration)**⑧ タイムコード**

代表画のタイムコードが表示されます。

SxSメモリーカードを切り換えるには

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して切り換えます。

ご注意

エクスパンドサムネイル画面 (118ページ参照) またはエッセンスマークサムネイル画面 (119ページ参照) を表示しているときは、SxSメモリーカードを切り換えられません。

サムネイル画面を消すには

THUMBNAILボタンを押します。

クリップを再生する**クリップのサムネイルを選択するには**

以下のいずれかの操作により、選択したいサムネイルに黄色いカーソルを合わせます。

- 矢印 (↑、↓、←、→) ボタンを押す。
- MENUつまみを回す。
- PREVまたはNEXTボタンを押す。

先頭のサムネイルを選択するには

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

最終のサムネイルを選択するには

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生するには

1 再生を開始したいクリップのサムネイルを選択する。

2 PLAY/PAUSEボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

選択したクリップ以降のすべてのクリップを連続再生します。

最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで一時停止 (静止画) モードになります。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。
- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、すべてのクリップを連続して再生することはできません。たとえば、HDモード時のサムネイル画面が表示されている場合は、HDモードのクリップのみが連続再生されます。

再生を一時停止するには

PLAY/PAUSEボタンを押します。
一時停止中はPLAY/PAUSEインジケーターが点滅します。
もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生するには

F FWDボタン (24ページ参照) またはF REVボタン (24ページ参照) を押します。
標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

再生を終了するには

STOPボタンを押す：再生が停止し本機はE-Eモードになります。

THUMBNAILボタンを押す：再生が停止し、ビューファインダー画面にサムネイル画面（103ページ参照）が表示されます。

再生中にメモリーカードを取り出した場合も、再生が停止し、ビューファインダー画面にカメラ画が表示されます。

頭出しするには

現在のクリップの先頭に戻るには

PREVボタンを押します。

- 再生中またはF FWD中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびに1つずつ前のクリップに移動します。

最初のクリップの先頭から再生するには

PREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

後ろのクリップの先頭にジャンプするには

NEXTボタンを押します。

- 再生中またはF FWD中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびに1つずつ後ろのクリップに移動します。

最後のクリップの先頭から再生するには

F FWDボタンとNEXTボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

再生中にショットマークを追加するには

HD

記録時と同じ操作で（86ページ参照）、再生中のクリップにショットマークを追加することができます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- 各クリップの先頭フレームと末尾クリップの最終フレームにはショットマークは記録できません。

クリップをサムネイルサーチする

サムネイル画面を次のようなサーチ画面に切り換えて、目的のクリップを見つけやすくなることができます。

- エクスパンドサムネイル画面
- エッセンスマークサムネイル画面（HDモード時）

いずれの画面でも、通常のサムネイル画面やOKクリップサムネイル画面と同様に、クリップのサムネイルを選択したり（106ページ参照）、クリップの再生を開始する（106ページ参照）ことができます。

エクスパンドサムネイル画面でクリップをサーチするには

エクスパンドサムネイル画面は、サムネイル画面でクリップを選択し、DISP SEL/EXPANDボタン（24ページ参照）を押すか

メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Forward Expansionを選択すると、次のように表示されます。

HDモード時：選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示します。

SDモード時：ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示します。

記録時間の長いクリップの目的のシーンをすばやく頭出ししたい場合に有効です。

◆エクスパンドサムネイル画面について詳しくは、「エクスパンドサムネイル画面を表示する」(118ページ)をご覧ください。

エッセンスマークサムネイル画面でクリップをサーチするには

UDF / **FAT-HD**

エッセンスマークサムネイル画面は、クリップに1つ以上のエッセンスマークが記録されている場合に、エッセンスマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示します。サムネイル画面を表示して、ESSENCE MARKボタン(26ページ参照)を押すかメニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Essence Mark Thumbnailを選択すると表示されます。

◆エッセンスマークサムネイル画面について詳しくは、「エッセンスマークサムネイル画面を表示する」(119ページ)をご覧ください。

サムネイル操作

THUMBNAILメニューを使用してクリップのサムネイル操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。

THUMBNAILメニュー構成

メニュー項目	細目	内容
Clip Properties	—	詳細情報を表示する (113ページ参照)
Set Index Picture	—	エクスパンドサムネイル画面およびエッセンスマークサムネイル画面で代表画を変更する (120ページ参照)
UDF / FAT-HD		
Thumbnail View	Forward Expansion	<ul style="list-style-type: none"> エクスパンドサムネイル画面を表示する (118ページ参照) エクスパンドサムネイル画面で、クリップの分割数を増やす (119ページ参照)
	Back Expansion	エクスパンドサムネイル画面で、クリップの分割数を減らす
	UDF / FAT-HD Essence Mark Thumbnail	エッセンスマークサムネイル画面を表示する (119ページ参照)
	Clip Thumbnail	通常のサムネイル画面を表示する
	All Clip Thumbnail	オールクリップサムネイル画面を表示する (112ページ参照)
Set Shot Mark	Add Shot Mark1	エクスパンドサムネイル画面およびエッセンスマークサムネイル画面でショットマーク1を付加する (120ページ参照)
	Delete Shot Mark1	エクスパンドサムネイル画面およびエッセンスマークサムネイル画面でショットマーク1を削除する (120ページ参照)
	Add Shot Mark2	エクスパンドサムネイル画面およびエッセンスマークサムネイル画面でショットマーク2を付加する (120ページ参照)
	Delete Shot Mark2	エクスパンドサムネイル画面およびエッセンスマークサムネイル画面でショットマーク2を削除する (120ページ参照)
	Set Clip Flag	OK
UDF	NG	NGマークを付加する
	KP(Keep)	KPマークを付加する
	None	OK、NG、KPマークを削除する
	Add OK Mark	—
FAT-HD		
Delete OK Mark	—	OKマークを削除し、クリップの保護を解除する (115ページ参照)
FAT-HD		
Lock Clip	—	クリップを保護する
UDF		

メニュー項目	細目	内容
Unlock Clip	—	クリップの保護を解除する
UDF		
Copy Clip	—	クリップをコピーする (116ページ参照)
Delete Clip	—	クリップを削除する (117ページ参照)
Divide Clip	—	クリップを分割する (121ページ参照)
FAT-HD		
Filter Clips	—	OKクリップサムネイル画面を表示する (111ページ参照)
FAT-HD		
Filter Clips	OK	OKクリップサムネイル画面を表示する
	NG	NGクリップサムネイル画面を表示する
	KP(Keep)	KPクリップサムネイル画面を表示する
	None	Noneクリップ (OK、NG、KPマークが付加されていないクリップの) サムネイル画面を表示する
Lock All Clips	—	表示されているすべてのクリップを保護する
UDF		
Unlock All Clips	—	表示されているすべてのクリップの保護を解除する
UDF		
Copy All	All Clips	クリップ/ファイルを一括コピーする (117ページ参照)
	General Files	
	All Clips & General Files	
Delete All Clips	Execute/Cancel	保護されていないすべてのクリップを削除する (117ページ参照)

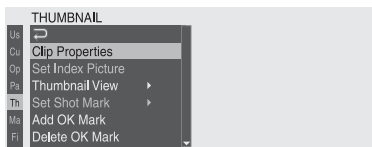
THUMBNAILメニューの基本操作

- ◆メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

THUMBNAILメニューを表示するには

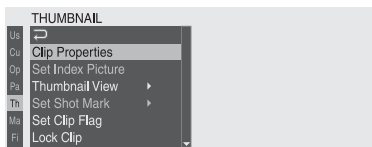
- 1 THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面を表示する。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押す。
- 3 MENUつまみを回して「TH」を選択し、つまみを押す。または、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して「TH」を選択し、SETボタンを押す。
THUMBNAILメニューが表示されます。

FAT



FATモード時

UDF



UDFモード時

THUMBNAILメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目／細目を選択するには

次のいずれかの操作を行います。

- MENUつまみを回して項目／細目を選択し、つまみを押す。
 - 矢印 (\uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 、 \rightarrow) ボタンを押して項目／細目を選択し、SETボタンを押す。選択したメニュー項目／細目に応じて、選択リストまたはクリップの詳細情報画面(113ページ参照)が表示されます。
- MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると、1つ上の階層に戻ります。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除・分割、代表画の変更、OK/NG/KPマーク・ショットマークの付加／削除はできません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップの詳細情報画面を消すには

次のいずれかの操作を行います。

RESET/RETURNボタンを押す：

THUMBNAILメニュー画面に戻ります。

THUMBNAILボタンを押す：

本機はE-Eモードになり、カメラ画が表示されます。

PLAY/PAUSEボタンを押す：

選択されているクリップから再生が始まります。

サムネイル画面の種類を変更する

OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面を表示するには

UDFモード時は、選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK、NG、KPマークが付加されたクリップのみまたはマークが付加されていないクリップ (Noneクリップ) のみ表示することができます。

FATモード時は、選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみ表示することができます。

通常のサムネイル画面が表示されているときにメニューのTHUMBNAIL >Filter Clipsを選択して画面を切り換えます。

FAT-HDモード時：OKクリップサムネイル画面に切り替わります。

UDFモード時：設定エリアでOK、NG、KP(Keep)、Noneを選択すると、選択したマークの付加されたクリップのみまたはOK/NG/KPマークの付加されていないクリップ（Noneクリップ）のみのサムネイル画面に切り替わります。

◆OK、NG、KPマークを付加する方法については、「クリップにOK、NG、KPマークを付ける／削除する」（114ページ）をご覧ください。

オールクリップサムネイル画面を表示するには

オールクリップサムネイル画面に切り換えると、HDモード、SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのクリップも記録されているかどうかを確認することができます。

通常のサムネイル画面が表示されているときに、メニューのTHUMBNAIL >All Clip Thumbnailを選択すると、オールクリップサムネイル画面に切り替わります。

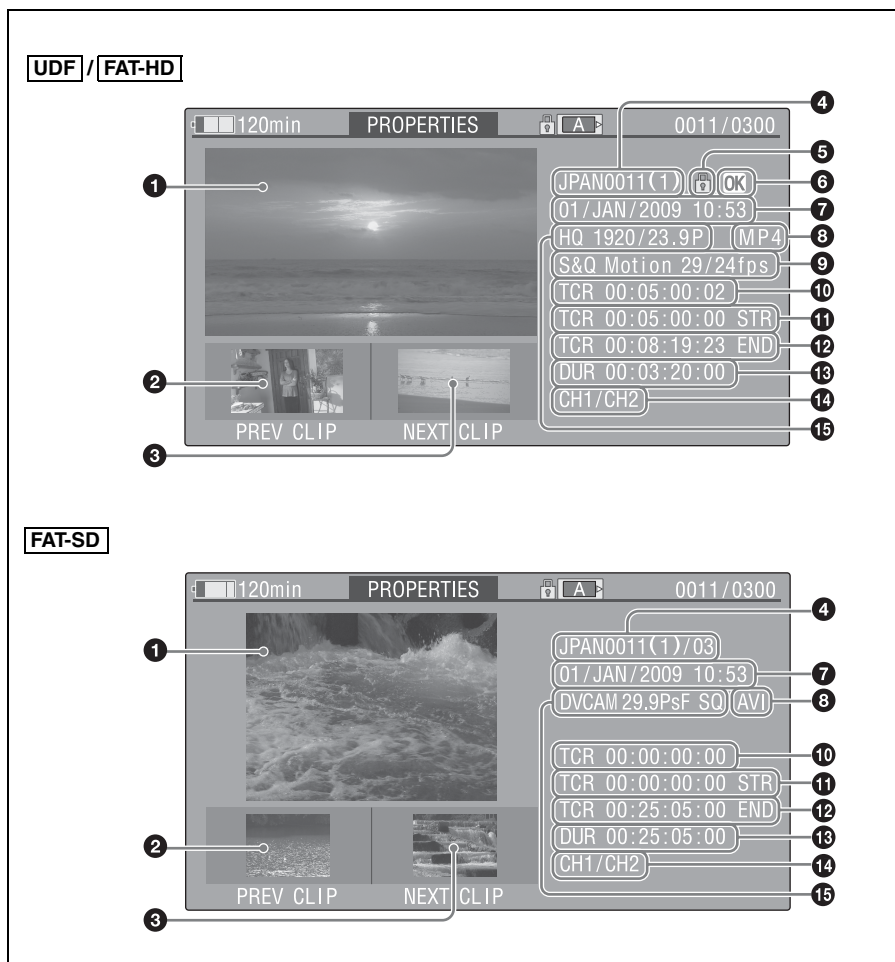
RESET/RETURNボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

クリップの詳細情報を表示する

THUMBNAILメニューでClip Propertiesを選択すると、クリップの詳細情報画面が表示されます。



1 現在のクリップの画像

2 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、1つ前のクリップの詳細情報画面になります。

3 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

4 クリップ名

SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後にクリップ分割数が表示されます。

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、MENUつ

まみを押してロング表示モードに切り替わります。ロング表示モードではクリップ名が最大53文字表示されます。

もう一度MENUつまみを押すとロング表示モードは解除されます。PREVまたはNEXTボタンで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。

ロング表示モードは最大53文字まで表示できます。

⑤ ロックマーク

OKマークが付加されているか、保護されている場合に表示されます。

⑥ OK/NG/KPマーク

OK/NG/KPマークが付加されている場合のみ表示されます。

⑦ 収録日と録画開始時刻

⑧ ファイルフォーマット表示

ファイルフォーマット（MXF、MP4またはAVI）が表示されます。

⑨ 特殊記録撮影情報

特殊記録されたクリップの場合、S&Q Motion / Interval Rec / Frame Recのいずれかを表示します。

スロー&クイックモーション撮影で記録されたクリップの場合、右に[撮像フレームレート／再生フレームレート]が表示されます。

- ⑩ 表示されている画像のタイムコード
- ⑪ 記録開始点のタイムコード
- ⑫ 記録終了点のタイムコード
- ⑬ 収録時間
- ⑭ 記録音声チャンネル
- ⑮ 記録時のビデオフォーマット

クリップにOK、NG、KPマークを付ける／削除する

UDF / FAT-HD

クリップにOK、NG、KPマークを付加すると、THUMBNAILボタンを押したときに必要なクリップのみサムネイル画面に表示されるように設定することができます。

OKマークを付加するには

FAT-HD

1 サムネイル画面で、メニューのTHUMBNAIL >Add OK Markを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

選択しているクリップにOKマークが付加されます。

Clip Flag OK機能を割り当てたアサインブルスイッチを使用して、OKマークを付加することもできます。

OK、NG、KPマークを付加するには

UDF

- サムネイル画面で、OK、NG、KPマークを付加したいクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Clip Flagを選択する。
- 設定エリアで、OK、NG、KPのいずれかを選択する。
選択したクリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。
- 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択しているクリップに手順2で選択したマークが付加されます。

Clip Flag OK、Clip Flag NG、Clip Flag Keep機能を割り当てたアサインブルスイッチを使用して、OK、NG、KPマークを付加することもできます。

OKマークを削除するには

FAT-HD

すでにOKマークが付加されているクリップを選択している場合は、THUMBNAILメニューにDelete OK Markが表示されます。

- サムネイル画面で、メニューの THUMBNAIL >Delete OK Markを選択する。
クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。
- 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択しているクリップからOKマークが削除されます。

OK、NG、KPマークを削除するには

UDF

- サムネイル画面で、OK、NG、KPマークを削除したいクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Clip Flag >Noneを選択する。
選択したクリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。
- 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択しているクリップからマークが削除されます。

クリップを保護する

UDF

UDFモード時は、特定のクリップまたはすべてのクリップの削除・分割を禁止することができます（クリップの保護）。

特定のクリップを保護するには

- サムネイル画面で、保護したいクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Lock Clipを選択する。
選択したクリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。
- 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択されているクリップが保護されます。

すべてのクリップを保護するには

- 1 メニューのTHUMBNAIL >Lock All Clipsを選択する。
確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
すべてのクリップが保護されます。

特定のクリップの保護を解除するには

- 1 サムネイル画面で、保護を解除したいクリップのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Unlock Clipを選択する。
選択したクリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択しているクリップの保護が解除されます。

すべてのクリップの保護を解除するには

- 1 メニューのTHUMBNAIL >Unlock All Clipsを選択する。
確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
すべてのクリップから保護が解除されます。

クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。
コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例:
ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- コピー元のSxSメモリーカードに複数のクリップが記録されている場合は、コピー先のSxSメモリーカードが同じ容量であっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

- 1 サムネイル画面でコピーするクリップのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Copy Clipを選択する。
クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に、確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
コピーが始まります。

コピー中は実行メッセージと進捗バーが表示されます。
コピーが完了すると、サムネイル画面に戻ります。

コピーを中止するには

RESET/RETURNボタンを押します。
コピーを中止して、サムネイル画面に戻ります。

クリップ／ファイルを一括コピーするには

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。また、Generalディレクトリー内のファイルをクリップと別にまたはクリップと一緒に一括コピーすることもできます。

1 サムネイル画面でコピーするクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Copy All >All Clipsを選択する。

「Copy All Clip?」の確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

コピーが始まります。
コピー実行中は進捗状況が表示されます。
HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみコピーされます。
SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみコピーされます。

コピーを中断するには

RESET/RETURNボタンを押します。

コピーが完了したら

完了メッセージが表示され、THUMBNAILメニュー画面が再表示されます。

Generalディレクトリー内の全ファイルをコピーするには

クリップをコピーしないでファイルのみ一括コピーする場合は、手順1でTHUMBNAIL >Copy All >General Filesを選択します。クリップとファイルを合わせて一括コピーする場合は、手順1でTHUMBNAIL >Copy All >All Clips & General Filesを選択します。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

1 サムネイル画面で削除するクリップを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Delete Clipを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

クリップが削除されます。

サムネイル画面では、削除したクリップの次以降が1つずつ繰り上がります。

クリップを一括削除するには

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

ご注意

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。

1 サムネイル画面で削除するクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Delete All Clipsを選択する。

「Delete All Clips?」の確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

削除が始まります。
削除実行中は進捗状況が表示されます。
HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみ削除されます。
SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみ削除されます。

削除を中断するには

RESET/RETURNボタンを押します。

削除が完了したら

完了メッセージが表示され、THUMBNAILメニュー画面が再表示されます。

エキスパンドサムネイル画面を表示する

エキスパンドサムネイル画面では、サムネイルサーチ（107ページ参照）や代表画の変更（120ページ参照）、ショットマークの付加／削除（120ページ参照）を行うことができます。

表示するには

サムネイル画面でサムネイルを選択し、DISP SEL/EXPANDボタン（24ページ参照）を押すか、メニューのTHUMBNAIL

>Thumbnail View >Forward Expansionを選択します。

選択したクリップのエキスパンドサムネイル画面が表示されます。

エキスパンドサムネイル画面 (UDF/FAT-HDモード時)

UDF / FAT-HD

UDFモード時／FAT-HDモード時は、選択したクリップを時間で12分割した各ブロックの先頭フレームがサムネイル表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

① フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム
	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

② タイムコード表示

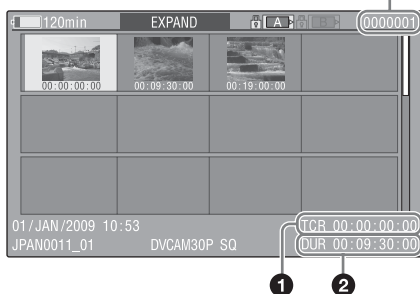
エキスパンドサムネイル画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

エキスパンドサムネイル画面 (FAT-SDモード時)

FAT-SD

FAT-SDモード時は、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームがサムネイル表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

❶ タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

❷ 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

分割数を増やすには

DISP SEL/EXPANDボタンを押すか、メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Forward Expansionを選択すると、分割表示されているクリップ／ファイルが時間でさらに12分割されます（12分割したクリップ／ファイルをさらに12分割して、12×12 = 144分割）。同じ操作を繰り返して、分割数を増やすことができます。

1段階前の分割数に戻すには

SHIFTボタンを押したままDISP SEL/EXPANDボタンを押すか、メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Back Expansionを選択すると、分割数が1段階少ないエクスパンドサムネイル画面に戻ります。

エッセンスマークサムネイル画面を表示する

UDF / FAT-HD

エッセンスマークサムネイル画面（HDモード時のみ表示）では、サムネイルサーチ（107ページ参照）や代表画の変更（120ページ参照）、ショットマークの付加／削除（120ページ参照）を行うことができます。

1 サムネイル画面でサムネイルを選択し、ESSENCE MARKボタン（26ページ参照）を押すか、メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Essence Mark Thumbnailを選択する。

エッセンスマークサムネイル画面が表示され、選択リストが表示されます。

2 エッセンスマークサムネイル画面の種類を選択する。

All : エッセンスマークが付加されたフレームがすべてサムネイル表示されます。

Rec Start : レックスタートマークが付加されているフレームおよび先頭フレームにレックスタートマークが付加されていないクリップの先頭フレームがサムネイル表示されます（UDFモード時のみ）。

Shot Mark1: ショットマーク1が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

Shot Mark2: ショットマーク2が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

Shot Mark0とShot Mark3～Shot Mark9も選択できます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

ショットマークサムネイル画面例 (Shot Mark1選択時)



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、エクスパンドサムネイル画面で表示される項目と共通です。

① タイムコード表示

ショットマークサムネイル画面で選択されているフレームのタイムコード

ショットマークを追加／削除する

UDF / FAT-HD

エッセンスマークサムネイル画面（119ページ参照）またはエクスパンドサムネイル画面（118ページ参照）では、HDモードで記録したクリップの任意のフレームにショットマークを追加したり、記録されているショットマークを削除することができます。

ショットマークを追加するには

- 1 ショットマークを追加したいフレームのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Shot Mark >Add Shot Mark1（またはAdd Shot Mark2）を選択する。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 Executeを選択し、MENUつまみを押す。

ショットマークを削除するには

- 1 ショットマークを削除したいフレームのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Shot Mark >Delete Shot Mark1（またはDelete Shot Mark2）を選択する。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

クリップの代表画を変更する

UDF / FAT-HD

UDF/FAT-HDモードで記録されたクリップでは、エクスパンドサムネイル画面（118ページ参照）やエッセンスマークサムネイル画面（119ページ参照）で選択したフレームを代表画に設定することができます。

- 1 代表画にしたいフレームのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Index Pictureを選択する。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する

FAT-HD

FAT-HDモードで記録されたクリップは、エクスパンドサムネイル画面（118ページ参照）やエッセンスマークサムネイル画面（119ページ参照）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

- 1 分割したい位置にあたるフレームのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Divide Clipを選択する。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

選択したフレーム位置で分割され、2つの別の名前のクリップが新たに作成されます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

セットアップメニューの構成と階層

本機では、ビューファインダー画面に表示されるセットアップメニューを使用して、撮影や再生に必要な各種の設定を行います。セットアップメニューは、外部ビデオモニターに表示する（182ページ参照）こともできます。

セットアップメニューの構成

下記のメニューで構成されています。

Us : USERメニュー

各メニューの項目を任意の順番で配置することができます（127ページ参照）。

Op : OPERATIONメニュー

画質以外の撮影に関する設定を行います（128ページ参照）。

Pa : PAINTメニュー

画質に関する設定を行います（145ページ参照）。

Th : THUMBNAILメニュー

クリップのサムネイルに関する設定を行います（109ページ参照）。

ご注意

THUMBNAILメニューは、サムネイル画面（103ページ参照）を表示しているときのみ使用できます。サムネイル画面を表示していないときは無効です。

Ma : MAINTENANCEメニュー

オーディオとタイムコードに関する設定を行います（151ページ参照）。

Fi : FILEメニュー

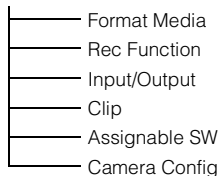
各種ファイル操作を行います（165ページ参照）。

セットアップメニューの階層

- ◆ THUMBNAILメニューの構成については、「THUMBNAILメニュー構成」（109ページ）をご覧ください。

USERメニュー（127ページ参照）

USER



OPERATIONメニュー (128ページ参照)

OPERATION

Format
Format Media
Input/Output
Super Impose
LCD
Rec Function
Assignable SW
VF Setting
Marker
Gain Switch
TLCS
Zebra
Display On/Off
“!” LED
Auto Iris
Shot ID
Shot Display
White Setting
Offset White
Shutter
Time Zone
Clip
Plan.Metadata
USB

PAINTメニュー (145ページ参照)

PAINT

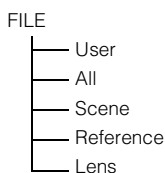
Switch Status
White
Black
Flare
Gamma
Black Gamma
Knee
White Clip
Detail(HD Mode)
Detail(SD Mode)
Aperture
Skin Detail
Matrix
Multi Matrix
V Modulation
Low Key Saturation
Noise Suppress

MAINTENANCEメニュー (151ページ参照)

MAINTENANCE

White Shading
Black Shading
Battery
Audio
WRR Setting
Timecode
Essence Mark
Camera Config
Preset White
White Filter
DCC Adjust
Auto Iris2
Genlock
ND Comp
Lens
Auto Shading
APR
Trigger Mode
Network Setting
Wi-Fi Setting
Clock set
Language
Hours Meter
Version

FILEメニュー（165ページ参照）



セットアップメニュー の基本操作

セットアップメニューを表示するには

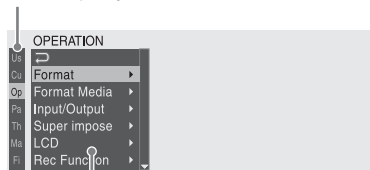
MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押します。

本機がメニューモードになり、画面にメニューリストが表示されます。

前回設定したメニューの頭文字（2文字）にカーソルが表示され、右に対応するメニュー項目選択エリアが表示されます。

例：OPERATIONメニューにカーソルがある場合

メニューリスト



メニュー項目選択エリア

ご注意

拡大フォーカス（Focus Mag）モードになっていると、セットアップメニューは操作できません。Focus Magが割り当てられているアサインプラススイッチで拡大フォーカスモードを解除してください。

メニューを設定するには

1 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、設定したいメニューにカーソルを合わせる。

アイコン右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

2 MENUつまみまたはSETボタンを押す。

カーソルがメニュー項目選択エリアに移動します。

⇒ボタンを押してカーソルをメニュー項目選択エリアに移動することもできます。

- メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できる項目が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

項目選択エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。



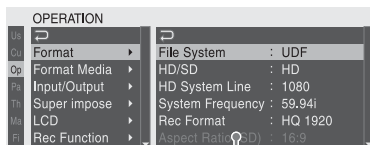
メニュー項目がまだ下にある
とき表示されます（上にある
ときは上端に▲）。

メニュー項目選択エリア

- さらに設定細目を選択する項目の場合は、右に▶が表示されます。
- 細目のない項目の場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- ⇒を選択すると一つ上の階層に戻ります。

3 MENUつまみを回すか、↑、↓ボタンを押して、設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。

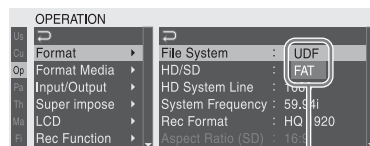


設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
- ⇒を選ぶか←ボタンを押す、またはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると一つ上の階層に戻ります。

4 MENUつまみを回すか、↑、↓ボタンを押して、設定したい細目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



選択肢エリア

- 選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

5 MENUつまみを回すか、↑、↓ボタンを押して、設定したい値を選び、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

設定が変更され、変更後の状態が表示されます。

実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。

実行前に確認が必要な項目では

手順3で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力するには

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

- 1 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、文字を選択し、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
前の欄に戻りたいときは、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げます。

- 2 同様に最後の桁・欄まで設定する。
カーソルがSETに移動します。

- 3 MENUつまみまたはSETボタンを押す。

設定が完了します。

設定変更を取り消すには

MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げます。

標準設定（初期設定）に戻す（リセットする）には

- 1 設定を変更する前または設定変更を取り消した後に、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に押し上げる。
- 2 現在の設定を標準設定（初期設定値）にリセットするかどうかを確認する

表示が出たら、再度スイッチをCANCEL/PRST側に押し上げる。
現在の設定が標準設定にリセットされます。

メニュー操作を終了するには

MENU ON/OFFスイッチをOFFにするかMENUボタンを押す。

通常のカメラ画に戻ります。

メニュー一覧

USERメニュー（工場出荷時の構成）

工場出荷時のUserメニューには以下の項目が含まれています。

- Format Media（129ページ参照）
- Input/Output（130ページ参照）
- Rec Function（133ページ参照）
- Assignable Sw¹⁾（135ページ参照）
- Clip（143ページ参照）
- Camera Config²⁾（158ページ参照）

1) 細目<0>を除く

2) 細目はUser Menu Onlyのみ

Userメニューは、任意のメニュー項目を任意の順番で配置することにより、構成を変更することができます。

詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。

OPERATIONメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

OPERATION				
項目	細目	選択肢	内容	
Format 使用する記録モード、本機の動作モードおよび記録フォーマットを設定します。	File System	UDF/FAT	記録モードをUDFまたはFATに切り換える (Executeで実行)	
	HD/SD	HD/SD	動作モードをHDモードまたはSDモードに切り換える (Executeで実行)	
	ご注意			
	別売のCBK-MD01を装着していないときは、SDを選択できません。(SDは記録できません。)			
	HD System Line	1080 /720	HDモード時の走査線数を1080または720に設定する (Executeで実行)	
	System Frequency	HD/SD、HD System Line、Countryの設定に応じて変わる	59.94i /29.97P/23.98P	HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、Countryの設定がPAL Area以外のとき
			50i /25P	<ul style="list-style-type: none"> HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、Countryの設定がPAL Areaのとき HD/SDの設定がSD、Countryの設定がPAL Areaのとき
			59.94P /29.97P/23.98P	HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720、Countryの設定がPAL Area以外のとき
		50P /25P	HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720、Countryの設定がPAL Areaのとき	
		59.94i /29.97P	HD/SDの設定がSD、Countryの設定がPAL Area以外のとき	

OPERATION				
項目	細目	選択肢	内容	
Format 使用する記録モード、本機の動作モードおよび記録フォーマットを設定します。	Rec Format		記録フォーマットを選択する (Executeで実行)	
		HD422 50	UDF/FATの設定がUDF、HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080のとき	
		HD422 50	UDF/FATの設定がUDF、HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720のとき (ただし、System Frequencyの設定が25P、29.97PのときはHD422 50に固定)	
		HQ 1920 /HQ 1440	UDF/FATの設定がFAT、HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、System Frequencyの設定が29.97Pまたは25Pのとき	
		HQ 1920 /HQ 1440/ SP 1440	UDF/FATの設定がFAT、HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、System Frequencyの設定が29.97Pおよび25P以外のとき	
		HQ 1280	UDF/FATの設定がFAT、HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720のとき	
		IMX50 /DVCAM	UDF/FATの設定がUDF、HD/SDの設定がSDのとき	
		DVCAM	UDF/FATの設定がFAT、HD/SDの設定がSDのとき	
		Aspect Ratio (SD)	16:9 /4:3	SDモードのアスペクト比を選択する (Executeで実行)
		Audio Length (IMX)	24bit/ 16bit	IMXフォーマット時のオーディオ記録のビット数を選択する
Country	NTSC Area/NTSC(J) Area/PAL Area	使用地域を設定する (Executeで実行)		
Format Media メディアのフォーマットを実行します。	Media(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する (Executeで実行)	
	Media(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する (Executeで実行)	

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Input/Output 入/出力信号に関する設定を行います。	FATモード時 Output& i.LINK	HD&HDV /SD&HDV/ SD&DV	各ビデオ端子とi.LINK (HDV/DV) 端子からの出力信号を選択する
	UDFモード時 Output	HD /SD	HD/SDの設定がSDの場合、SD&DVまたはSDが選択される
	23.98P Output	PsF /Pull Down	ビデオフォーマットがHQ 1920/23.98PまたはHQ 1440/23.98Pの場合に、プログレッシブ出力 (PsF) にするか、プルダウン出力 (Pull Down) にするかを選択する
	Source Select ^{a)}	Camera /i.LINK/ External	ビデオ入力ソースをカメラ画 (Camera) にするか、i.LINK入力 (i.LINK) にするか (FATモード時のみ)、SDI/コンポジット入力 (External) にするかを選択する
			<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASSIGN. 2スイッチにRec Sourceを割り当てている場合、この設定は無効です。 • File System >UDF/FATの設定を変更すると、この設定はCamera (工場出荷時の設定) に戻ります。

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Input/Output 入/出力信号に関する設定を行います。	Ext Video Source a)	HD SDI/SD SDI/Composite	外部入力信号を選択する HD-SDI : HDSDI信号 (HDモード時のみ) SD-SDI : SDSDI信号 Composite : コンポジット信号
	i.LINK I/O	Enable/Disable	i.LINK (HDV/DV) 端子の信号入出力を有効 (Enable) にするか無効 (Disable) にするかを選択する Enable選択時はi.LINK出力中にオートブラックバランスを実行できる。
	SDI Output	On/Off	HD/SD SDI OUT端子からの出力信号をオン/オフする
	SDI Out Super	On/Off	HD/SD SDI OUT端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報をオン/オフする
	Video Out Super	On/Off	VIDEO OUT端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報をオン/オフする
	Live & Play	On/Off	ライブアンドプレイ機能をオン/オフする
	Down Converter	Crop/Letter/Squeeze	SD信号を出力するときの信号変換モードを設定する Crop : 16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力 Letter : 4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示 Squeeze : 16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力
	Wide ID	Through/Auto	SD出力信号にワイド識別信号を付加するかどうかを選択する Through : ワイド識別信号を付加せずにそのまま出力する Auto : Down Converterの設定がSqueezeのとき、ビデオ信号にワイド識別信号を付加して出力する
	Wide Mode(Ext) a)	Auto/16:9	入力信号がSDのとき、ワイド信号の処理方法を設定する Auto : 入力信号のワイド識別信号が検出されたらワイド信号と判定し、アップコンバーターの動作モードをスクイーズにする。ワイド識別信号が検出されなかったらエッジクロップにする 16:9 : 入力信号を常にワイド信号と判定し、アップコンバーターの動作モードをスクイーズにする
	Setup Remove(Ext) a)	7.5%/0.0%	Countryの設定がPAL Area以外の場合に、アナログ入力信号セットアップを削除するかどうかを設定する 7.5% : 削除する 0.0% : 削除しない

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Super Impose スーパーインポーズされる文字情報／マーカに 関する設定を行います。	Super(VF Display)	On/Off	Input/Output >SDI Out Superまたは Video Out Superの設定がOnのとき に、HD/SD SDI OUT端子または VIDEO OUT端子からの出力にスー パーインポーズされる文字情報を、項 目ごとにオン／オフする
	Super(Menu)	On/Off	
	Super(Timecode)	On/Off	Input/Output >Video Out SuperがOn のとき、VIDEO OUT端子からの出力 にスーパーインポーズされるマーカ 表示をオン／オフする
	Super(Marker)	On/Off	
	Super (Rec Status Indicator)	On/Off	
LCD	LCD Color	-99～±0～+99	LCDモニター画面の色の濃さを調整す る
	LCD Marker&Zebra	On/Off	LCDモニターのマーカ表示とゼブラ 表示オン／オフする

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Rec Function 特殊記録モードに関する設定を行います。	Slow & Quick	On/Off	スロー&クイックモーションモードをオン/オフする (この設定をOnにすると、Picture Cache Rec、Interval Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
	ご注意 アサインابلスイッチにPicture Cacheを割り当てると、この項目は無効(グレー表示)になります。	Frame Rate	Format >HD System Lineの設定に応じて変わる UDFモードでFormat >Countryの設定がPAL Area以外またはFATモード時：1～ 30 UDFモードでFormat >Countryの設定がPAL Area：1～ 25 UDFモードでFormat >Countryの設定がPAL Area以外またはFATモード時：1～ 30 ～60 UDFモードでFormat >Countryの設定がPAL Area：1～ 25 ～50
	Clip Continuous Rec	On/Off	クリップコンティニユアスレックモードをオン/オフする(この設定をOnすると、Slow & Quick、Picture Cache Rec、Interval Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
	Picture Cache Rec	On/Off	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする (この設定をOnにすると、Slow&Quick、Interval Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
	P. Cache Rec Time	0-2sec /2-4sec/4-6sec/6-8sec/8-10sec/10-12sec/12-14sec/13-15sec	Picture Cache Recの設定がOnの場合に、ピクチャーキャッシュレック時間を設定する
	Interval Rec	On/Off	インターバルレックモードをオン/オフする (この設定をOnにすると、Slow&Quick、Picture Cache Rec、Frame Recの設定がOffになる。)

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Rec Function 特殊記録モードに関する設定を行います。	Frame Rec	On/Off	フレームレックモードをオン/オフする (この設定をOnにすると、Slow&Quick、Picture Cache Rec、Interval Recの設定がOffになる。)
	ご注意 アサインابلスイッチにPicture Cacheを割り当てると、この項目は無効(グレー表示)になります。	Number of Frames	Format >HD System Line、Format >System Frequency の設定に応じて変わる 2frame/6frame/12frame 1frame/3frame/6frame/9frame
	Interval Time	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50 (sec) 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50 (min) 1/2/3/4/6/12/24 (hour)	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバルレック撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する
	Pre-Lighting	Off/2sec/5sec/10sec	インターバルレック撮影開始前にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させない場合はOffを選択する
	Live Logging	Live/View	UDFモード時 ：ライブロギング時の操作モードを選択する FATモード時 ：Live (ライブモード)に固定 ご注意 フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニューアスレックのいずれかの撮影モードを選択している場合は、Viewを選択できません。 ◆ライブロギング機能については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement (サプリメント) をご覧ください。

OPERATION				
項目	細目	選択肢	内容	
Assignable SW アサインナブルスイッチに機能を割り当てます。 ◆機能の割り当てについて詳しくは、「アサインナブルスイッチに機能を割り当てる」(170ページ)をご覧ください。	<0>	170ページ参照	ASSIGN. 0スイッチに機能を割り当てる	
	<1>		ASSIGN. 1スイッチに機能を割り当てる	
	<2>		ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てる	
	<3>		ASSIGN. 3スイッチに機能を割り当てる	
	<4>		ASSIGNABLE 4スイッチに機能を割り当てる	
	<5>		ASSIGNABLE 5スイッチに機能を割り当てる	
	RET		レンズのRETボタンに機能を割り当てる	
	C. Temp		COLOR TEMP. ボタンに機能を割り当てる	
	Zoom Speed	0~ 20 ~99		ASSIGNABLE 4または5スイッチにZoomを割り当てた場合の動作速度を設定する
	VF Setting ビューファインダー画面に関する設定を行います。	Color ^{b)}	-99~ ±0 ~+99	ビューファインダー画面に表示される映像の色の濃さを調整する
Mode ^{b)}		Color/B&W	ビューファインダーの表示モードを選択する Color : カラー B&W : 白黒	
Peaking Type ^{b)}		Normal/Color/Both	ピーキングの種類を選択する Normal : 通常のピーキング Color : カラーピーキング Both : 両方	
Peaking Frequency ^{b)}		Normal/High	ピーキング周波数を標準 (Normal) にするか高く (High) するかを選択する	
Peaking Color ^{b)}		White/Red/Yellow/Blue	Peaking Typeの設定がColorの場合に、ピーキングの色を選択する (White : 白、Red : 赤、Yellow : 黄、Blue : 青)	
VF Detail Level ^{c)}		-99~ ±0 ~+99		カムコーダー側で付けるビューファインダーのディテールレベルを設定する
Color Peaking Level ^{b)}		Low/ Mid /High		Peaking Typeの設定がBothの場合に、カラーピーキングのレベルを低 (Low)、中 (Mid)、高 (High) から選択する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Marker ビューファインダー画面 のマーカ表示に関する 設定を行います。	Setting	On/Off	すべてのマーカ表示をオン/オフする ご注意 ASSIGN. 2にMarkerを割り当てている場合、この設定は無効です。
	Center Marker	1/2/3/4/Off	センターマーカを表示する場合はその種類を選択、表示しない場合はOffを選択する ご注意 Safety Zone、User Box、Guide Frame、100% Markerのいずれか3つがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
	Center H Position	-40~0~40	センターマーカの水平位置を設定する
	Center V Position	-40~0~40	センターマーカの垂直位置を設定する
	Safety Zone	On/Off	セーフティゾーンの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、User Box、Guide Frame、100% Markerのいずれか3つがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
	Safety Area	80%/90%/92.5%/95%	セーフティゾーンの範囲を選択する
	Aspect Marker	Line/Mask/Off	アスペクトマーカを表示する場合は表示方法を選択、表示しない場合はOffを選択する Line ：白線で表示 Mask ：マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示
	Aspect Select	15:9/14:9/13:9/4:3/ 1.66:1/1.85:1/ 2.35:1/2.4:1	マーカのアスペクト比を選択する
	100% Marker	On/Off	100%のセーフティゾーンマーカの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、Safety Zone、User Box、Guide Frameのいずれか3つがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
	Aspect Mask	0%~30%~90% (10%ステップ)	Aspect MarkerがMaskの場合、マーカ範囲内のビデオ信号レベルに対するマーカ範囲外のビデオ信号レベルをパーセンテージで設定する
	User Box	On/Off	ボックスカーソルの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、Safety Zone、Guide Frame、100% Markerのいずれか3つがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Marker ビューファインダー画面のマーカー表示に関する設定を行います。	User Box Width	40~ 500 ~999	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する
	User Box Height	70~ 500 ~999	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する
	User Box H Position	-479~ 0 ~479	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する
	User Box V Position	-464~ 0 ~464	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する
	Guide Frame	On/ Off	ガイドフレームの表示をオン/オフする
ご注意			
Center Marker、Safety Zone、User Box、100% Markerのいずれか3つがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。			
Gain Switch ゲイン値の切り換えに関する設定を行います。	Gain Low	-6dB/-3dB/ 0dB / 3dB/6dB/9dB/12dB/ 18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がLの場合のゲイン値を設定する
	Gain Mid	-6dB/-3dB/0dB/ 3dB/ 6dB /9dB/12dB/ 18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がMの場合のゲイン値を設定する
	Gain High	-6dB/-3dB/0dB/ 3dB/6dB/9dB/ 12dB / 18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がHの場合のゲイン値を設定する
	Gain Turbo	-6dB/-3dB/0dB/ 3dB/6dB/9dB/12dB/ 18dB/24dB/30dB/ 36dB/ 42dB	Turbo Gain機能を割り当てたアサイナブルスイッチをオンにしたときのゲイン値を設定する。
	Shockless Gain	On/ Off	ショックレスゲイン（ゲイン切り換え時にスムーズに値が切り替わる機能）をオン/オフする

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
TLCS トータルレベルコントロールに関する設定を行います。	Mode	Backlight/ Standard /Spotlight	TLCS時のオートアイリスモードを選択する Backlight ：バックライトモード（メインの被写体が逆光のときに黒沈みを軽減する） Standard ：標準モード Spotlight ：スポットライトモード（メインの被写体にスポットライトがあたっているときに白つぶれを軽減する）
	Speed	-99~ ±0 ~+99	TLCS時の制御スピード（映像の変化に対する反応速度）を設定する（値が大きいほど反応は速くなる）
	AGC	On/ Off	AGC（オートゲインコントロール）機能をオン/オフする
	AGC Limit	3dB/6dB/9dB/ 12dB /18dB	AGC時の最大ゲイン値を設定する
	AGC Point	F5.6/F4/ F2.8	AGC時にオートアイリスからAGCに制御方法を切り換えるF値を設定する
	Auto Shutter	On/ Off	オートシャッター機能をオン/オフする
	Auto Shutter Limit	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250	オートシャッター時の最大シャッタースピードを選択する
	Auto Shutter Point	F5.6/F8/F11/ F16	オートシャッター時にオートアイリスからオートシャッターに制御方法を切り換えるF値を設定する
Zebra ゼブラ表示に関する設定を行います。	Zebra Select	1/2 /BOTH	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する
	Zebra1 Level	50%~ 70% ~107%	ゼブラ1を表示するレベルを設定する
	Zebra1 Aperture Level	1~ 10% ~20%	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する
	Zebra2 Level	52%~ 100% ~109%	ゼブラ2を表示するレベルを設定する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Display On/Off ビューファインダー画面 に表示する項目を選択し ます。	Video Level Warnings	On/Off	映像が明るすぎる場合または暗すぎる場合の警告表示をオン/オフする
	Sending Clip Info	On/Off	別売のCBK-WA100の接続時、クリップの転送状態の表示をオン/オフする
	Brightness Display	On/Off	輝度表示をオン/オフする
	Histogram Display (HDモード時のみ)	On/Off	ヒストグラム表示をオン/オフする
	Lens Info	Meter/Feet/Off	写界深度を表示するかどうかと表示単位を選択する Meter ：メートル表示 Feet ：フィート表示 Off ：表示しない
	Focus Position	On/Off	レンズのフォーカスポジション表示をオン/オフする
	Zoom Position	On/Off	レンズのズームポジション表示をオン/オフする
	Audio Level Meter	On/Off	オーディオレベルメーターの表示をオン/オフする
	Timecode	On/Off	タイムデータ (タイムコード、ユーザービット、カウンター、デュレーション) 表示をオン/オフする
	Battery Remain	On/Off	バッテリー残量/入力電圧表示をオン/オフする
	Media Remain	On/Off	メディア残量表示をオン/オフする
	TLCS Mode	On/Off	TLCS動作モード表示をオン/オフする
	Focus Mode	On/Off	フォーカス動作モード表示をオン/オフする
	White Balance Mode	On/Off	ホワイトバランスモード表示をオン/オフする
	Filter Position	On/Off	NDフィルター設定の表示をオン/オフする
	Iris Position	On/Off	アイリスポジション表示をオン/オフする
	Gain Setting	On/Off	ゲイン設定表示をオン/オフする
	Shutter Setting	On/Off	シャッターモードとシャッタースピードの表示をオン/オフする
	Color Temp	On/Off	色温度表示をオン/オフする
	Video Format	On/Off	ビデオフォーマット表示をオン/オフする
	System Line	On/Off	システムライン表示をオン/オフする
	Rec Mode	On/Off	特殊記録モード表示 (S&Q、Interval、Frame Rec、Picture Cache Rec) をオン/オフする
	Extender	On/Off	レンズエクステンダー表示をオン/オフする
	WRR RF Level	On/Off	デジタルワイヤレスレシーバーの受信レベルの表示をオン/オフする
	Clip Number(PB)	On/Off	クリップ情報の表示をオン/オフする

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Display On/Off ビューファインダー画面 に表示する項目を選択し ます。	Wireless Status	On/Off	別売のCBK-WA100の接続時、電波状 態表示をオン/オフする
	Ext Media Remain	On/Off	別売のCBK-WA100に装着したSDカードの 残記録時間表示をオン/オフする
	ALAC	On/Off	メニューのMaintenance >Camera Config >ALACが「Auto」に設定され ているときに、ALACの状態表示をオ ン/オフする ご注意 ALACに対応しているレンズが取り付 けられていない場合や、ALACが無効 になっている場合は、この項目を 「On」に設定してもALACの状態表示 はオフのままです。
"!LED ◯"	Gain <!>	On/Off	ゲインが0dB以外に設定されている場 合に、!ランプを点灯させる機能を オン/オフする
	Shutter <!>	On/Off	SHUTTERスイッチがONに設定され ている場合に、!ランプを点灯させる 機能をオン/オフする
	White Preset <!>	On/Off	WHITE BALスイッチがPRSTに設定さ れている場合に、!ランプを点灯させ る機能をオン/オフする
	ATW Run <!>	On/Off	White Setting >White Switchが ATWに設定されている場合に、!ラ ンプを点灯させる機能をオン/オフす る
	Extender <!>	On/Off	レンズのエクステンダーが使用され ている場合に、!ランプを点灯させる機 能をオン/オフする
	Filter <!>	On/Off	NDフィルターが1以外に設定されて いる場合に、!ランプを点灯させるか機 能をオン/オフする
	Iris Override <!>	On/Off	オートアイリスオーバーライドが標準 値以外に設定されている場合に、!ラ ンプを点灯させる機能をオン/オフす る
	Auto Iris オートアイリスに関する 設定を行います。	Iris Override	On/Off
Iris Speed		-99~±0~+99	制御スピード（映像の変化に対する反 応速度）を設定する（値が大きいほど 反応は速くなる）
Clip High light		On/Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度 に対する反応を鈍くさせる機能をオン/ オフする
Iris Window		1/2/3/4/5/6/Var	オートアイリス検出ウィンドウの種類 を選択する Var ：可変
	Iris Window Indication	On/Off	オートアイリス検出ウィンドウの枠を マーカーで表示する機能をオン/オフ する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Shot ID カラーバーにスーパーインポーズするショットIDを作成します。	ID-1		ID-1としてスーパーインポーズする文字列（最長16文字）を作成する
	ID-2		ID-2としてスーパーインポーズする文字列（最長16文字）を作成する
	ID-3		ID-3としてスーパーインポーズする文字列（最長16文字）を作成する
	ID-4		ID-4としてスーパーインポーズする文字列（最長16文字）を作成する
Shot Display どのショットデータをカラーバーにスーパーインポーズして記録するかを選択します。	Shot Date	On/Off	日付をスーパーインポーズするか（On）しないか（Off）を設定する
	Shot Time	On/Off	時刻をスーパーインポーズするか（On）しないか（Off）を設定する
	Shot Model Name	On/Off	機種名をスーパーインポーズするか（On）しないか（Off）を設定する
	Shot Serial Number	On/Off	シリアルナンバーをスーパーインポーズするか（On）しないか（Off）を選択する
	Shot ID Select	ID-1/ID-2/ID-3/ID-4/Off	Shot IDで設定したショットID（任意文字列）をスーパーインポーズするかどうかと、どのショットIDをスーパーインポーズするかを選択する
White Setting ホワイトバランス調整に関する設定を行います。	White Switch	Memory/ATW	WHITE BALスイッチの設定がBの場合の動作モードを設定する Memory ：オートホワイトバランス ATW ：自動追尾ホワイトバランス
	Shockless White	Off/1/2/3	WHITE BALスイッチ切り換え時の反応速度を設定する（Offは瞬時に反応、1、2、3の中では1が最も反応が速い）
	ATW Speed	1/2/3/4/5	White Switchの設定がATWの場合の反応速度を設定する（1が最も反応が速い）
	ATW Mode	Natural/Pure	Natural ：シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるように自動調整する Pure ：青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるように自動調整する
	AWB Fixed Area	On/Off	オートホワイトバランスを画面中央部で実行する機能をオン/オフする On ：画面の高さおよび幅の25%にあたる範囲で実行 Off ：画面の高さおよび幅の70%にあたる範囲で実行
	Filter White Memory	On/Off	FILTERつまみのポジションごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をオン/オフする On ：フィルターポジションごとにホワイトバランスメモリーを設定 Off ：フィルターポジションにかかわらずA/Bのメモリーを使用

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Offset White ホワイトバランスオフ セット値に関する設定を 行います。	Offset White<A>	On/Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフ セット値を付加する (On) か付加し ないか (Off) を選択する
	Warm Cool <A>	目安の色温度を表示	Offset White<A>がOnの場合に、メモ リー Aのホワイトバランスに付加する オフセットを色温度で設定する (オフ セットの色温度が高いと誤差が大き くなるため実際の映像を見ながら調整)
	Warm Cool Balance<A>	-99~±0~+99	Warm Cool <A>の設定で希望の映像 が得られなかった場合に、さらに細か く色温度を設定する
	Offset White	On/Off	Onにするとここで調整したオフセッ トがBチャンネルのホワイトバランス に付加される。
	Warm Cool 	目安の色温度を表示	Offset WhiteがOnの場合に、メモ リー Aのホワイトバランスに付加する オフセットを色温度で設定する (オフ セットの色温度が高いと誤差が大き くなるため実際の映像を見ながら調整)
	Warm Cool Balance	-99~±0~+99	Warm Cool の設定で希望の映像 が得られなかった場合に、さらに細か く色温度を設定する
Shutter シャッターに関する設定 を行います。	Shutter Select	Second/Degree	シャッタースピードの選択方法を設定 する Second : 秒単位で選択する Degree : 角度単位で選択する
	Slow Shutter	On/Off	SLSモードをオン/オフする。
	SLS Frames	2Frames/3Frames/ 4Frames/Frames/ 6Frames/7Frames/ 8Frames/16Frames	スローシャッターの蓄積フレーム数を 設定する
Time Zone 時差を設定します。	Zone	-12:00~+0.00~ +14:00 (30分単位)	UTC (グリニッジ標準時) からの時差 を30分単位で設定する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Clip クリップの名称や管理に関する設定を行います。 ご注意 クリップ名の最初の文字を「.」の記号にしないでください。 クリップ名の最初の文字が「.」になっているクリップは、コンピュータ上のアプリケーションソフトウェアで閲覧できません。	Auto Naming	FATモード時：Title/ Plan UDFモード時： C****/Title/ Plan	クリップ名の設定方法を選択する C**** ：XDCAM標準名相当にする (UDFモード時のみ) Title ：Title Prefixで任意に設定する Plan ：プランニングメタデータで設定した名称にする(プランニングメタデータで設定した名称がない場合は、Title Prefixで設定した名称にする)
	Title Prefix	文字入力	クリップ名のタイトル部分(4~46文字の英数字)を設定する。 現在設定されているタイトルが8文字以下の場合、全文字が表示される。 8文字以上の場合、先頭から7文字目までが表示され、8文字目の位置に“...”の記号が表示される。 Character Set画面を呼び出す。 Character Set画面の構成 • 文字選択エリア (3行) Title Prefixのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.:;=@[]^_`~0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ • カーソル操作エリア (1行) Space ：カーソル位置の文字をスペースに変更する INS ：カーソル位置にスペースを挿入する DEL ：カーソル位置の文字を削除する ←：カーソルを左に移動する →：カーソルを右に移動する ESC ：変更をキャンセルして通常メニューに戻る END ：変更を実行して通常メニューに戻る • Title Prefix設定エリア (1行) タイトルを入力するエリア タイトルを設定するには 1 MENUつまみを回すか、矢印ボタンを押して、文字選択エリアからTitle Prefix設定エリアのカーソル位置に入れる文字を選択(ハイライト表示)し、MENUつまみまたはSETボタンを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2 手順 1 を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。
	Number Set	00001 ~99999	クリップ名の番号部分(5桁)を設定する(Auto Namingの設定がPlan以外の場合や、Auto Namingの設定がPlanであるにもかかわらずプランニングメタデータが有効でない場合は4桁となります。)

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Clip クリップの名称や管理に関する設定を行います。	Name Display	Off/Viewfinder/LCD Status/Both	E-Eモード時に次に記録するクリップの名称を表示するかどうかと表示位置を選択する Off ：表示しない Viewfinder ：ビューファインダー画面に表示 LCD Status ：LCDモニター（ステータス表示時）に表示 Both ：ビューファインダー画面とLCDモニターの両方に表示 ご注意 次に記録するクリップと同じ名称のクリップがメディアに存在するときは、クリップの記録を開始した直後に通し番号を変更したクリップ名を表示します（Off以外を選択した場合）。
	Update	Media<A>/Media	選択しているスロット内のメディアに記録された管理ファイルを更新する（Executeで実行）
Plan.Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定を行います。	Load/Slot(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。 Executeを選択すると、スロットAのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Load/Slot(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。 Executeを選択すると、スロットBのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Load/USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	外部機器接続端子に接続したUSBメモリーからプランニングメタデータをロードする。 「Execute」を選択すると、USBメモリーに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Properties	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータの内容を表示する（Executeで実行）
	Clear	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータを消去する（Executeで実行）
	Clip Name Disp	Title1(ASCII)/Title2(UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を選択する（101ページ参照）

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
USB USBメモリーの操作に関する設定を行います(UDFモード時のみ)。	Memory Rec	Enable/ Disable	USBメモリーへのプロキシデータの記録を有効にするか、無効にするかを選択する
	Copy Current Clip	Execute/Cancel	現在位置のクリップのプロキシデータをUSBメモリーにコピーする(Executeで実行)
	Copy All Clips	Execute/Cancel	アクティブなスロット内のSxSメモリーカードに記録されている全クリップのプロキシデータをUSBメモリーにコピーする(Executeで実行)。USB >With General FilesがEnableのときは、Generalフォルダー以下のデータもすべてコピーされる。
	Del All Memory Clips	Execute/Cancel	USBメモリーにコピーした全クリップのプロキシデータを消去する(Executeで実行)
	Format USB Memory	Execute/Cancel	USBメモリーをFAT32でフォーマットする(Executeで実行)
	With General Files	Enable/ Disable	USB >Copy All ClipsがExecuteのとき、Generalフォルダー以下のデータも同時にコピーする(Enableで実行)

a)CBK-HD02装着時

c)HDVFシリーズビューファインダー使用時

b)CBK-VF01使用時

PAINTメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Switch Status 各種補正機能とテスト信号をオン/オフします。	Gamma	On /Off	ガンマ補正機能をオン/オフする
	Black Gamma	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする
	Matrix	On/ Off	リニアマトリクスおよびユーザーマトリクス補正機能全体をオン/オフする
	Knee	On /Off	ニー補正機能をオン/オフする
	White Clip	On /Off	ホワイトクリップ補正機能をオン/オフする
	Detail	On /Off	ディテール補正機能をオン/オフする
	Aperture	On /Off	アパーチャー補正機能をオン/オフする
	Flare	On /Off	フレア補正機能をオン/オフする
	Test Saw	On/ Off	テスト信号をオン/オフする

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
White 色温度を設定して、手動でホワイトバランス調整を行います。	Color Temp <A>	1500K~ 3200K ~50000K	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する
	Color Temp BAL <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン運動) を設定する
	R Gain <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する
	B Gain <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する
	Color Temp 	1500K~ 3200K ~50000K	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する
	Color Temp BAL 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Gゲイン運動) を設定する
	R Gain 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する
	B Gain 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する
Black ブラックレベル (光があたっていないときの映像のレベル) を設定します。ブラックレベルを調整して、黒を浮かせる、黒を沈めるといった絵作りが可能です。	Master Black	-99~ ±0 ~+99	マスターブラックレベルを設定する
	R Black	-99~ ±0 ~+99	Rブラックレベルを設定する
	B Black	-99~ ±0 ~+99	Bブラックレベルを設定する
Flare フレア補正に関する設定を行います。フレアは、画面上の明るい部分の影響を受けて映像のレベル全体が上がってしまい、黒い部分が明るくなる現象で、レンズ内部での光の乱反射により発生します。	Flare	On/Off	フレア補正機能をオン/オフする
	Master Flare	-99~ ±0 ~+99	マスターフレア補正レベルを設定する
	R Flare	-99~ ±0 ~+99	Rフレア補正レベルを設定する
	G Flare	-99~ ±0 ~+99	Gフレア補正レベルを設定する
	B Flare	-99~ ±0 ~+99	Bフレア補正レベルを設定する

PAINT				
項目	細目	選択肢	内容	
Gamma ガンマ補正に関する設定を行います。 ガンマ補正により、画面のコントラストを調整して、映像の印象を大きく変えることができます。	Gamma	On/Off	ガンマ補正機能をオン/オフする	
	Step Gamma	0.35~ 0.45 ~0.90 (0.05ステップ)	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する	
	Master Gamma	-99~ ±0 ~+99	マスターガンマレベルを設定する	
	R Gamma	-99~ ±0 ~+99	Rガンマレベルを設定する	
	G Gamma	-99~ ±0 ~+99	Gガンマレベルを設定する	
	B Gamma	-99~ ±0 ~+99	Bガンマレベルを設定する	
	Gamma Select	Gamma Categoryの選択により変わる(「内容」欄参照)	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する	Gamma CategoryがSTDの場合 1 DVW : DVWカムコーダー相当 2 ×4.5 : ×4.5ゲイン 3 ×3.5 : ×3.5ゲイン 4 240M : SMPTE-240M相当 5 R709 : ITU-R709相当(初期設定) 6 ×5.0 : ×5.0ゲイン Gamma CategoryがHGの場合 1 3250 : 325%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する 2 4600 : 460%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する 3 3259 : 325%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する 4 4609 : 460%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する(初期設定)
	Gamma Category	STD/HG	スタンダードガンマ(STD)とハイパーガンマ(HG)のどちらを使用するかを選択する	
Black Gamma ブラックガンマ補正に関する設定を行います。 ブラックガンマ補正により、映像の黒または黒に近い(暗い)部分の階調や色合いが再現することができます。	Black Gamma	On/Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする	
	Gamma Level	-99~ ±0 ~+99	マスターブラックガンマレベルを設定する	
	Range	Low/L.Mid/H.Mid/ High	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する LOW : 0~3.6 % L.MID : 0~7.2 % H.MID : 0~14.4 % HIGH : 0~28.8 %	
Knee ニー補正に関する設定を行います。 ニー補正は、映像の明るい部分を記録/出力する映像のダイナミックレンジの上限に応じて圧縮し、白つぶれを防ぐ処理です。ニーをかけた始める信号レベルを「ニーポイント」、ニーによる圧縮の傾きを「ニースロープ」と呼びます。	Knee	On/Off	ニー補正機能をオン/オフする	
	Knee Point	50.0%~ 95.0% ~109.0%	ニーポイントを設定する	
	Knee Slope	-99~ ±0 ~+99	ニースロープを設定する	
	Knee Saturation	On/Off	ニーサチュレーション機能をオン/オフする	
	Knee Saturation Level	-99~ ±0 ~+99	ニーサチュレーションレベルを設定する	

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
White Clip ホワイトクリップ調整に関する設定を行います。ホワイトクリップは、ビデオ出力信号の最大レベルに制限をかける処理です。ビデオ出力信号の最大値を「ホワイトクリップレベル」と呼びます。	White Clip	On/Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする
	Level	Countryの設定がNTSC AreaまたはNTSC Area(J)の場合 90.0%~ 108.0% ~109.0% Countryの設定がPAL Areaの場合 90.0%~ 105.0% ~109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する
Detail(HD Mode)/Detail(SD Mode) HDモード時またはSDモード時のディテール調整に関する設定を行います。ディテール調整は、被写体の輪郭部分にディテール信号を加えて輪郭を強調し、クリアな映像を作成する処理です。	Detail	On/Off	ディテール調整機能をオン/オフする
	Level	-99~ ±0 ~+99	ディテールレベルを設定する
	H/V Ratio	-99~ ±0 ~+99	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する
	Crispening	-99~ ±0 ~+99	クリスプニングレベルを設定する
	Level Depend	On/Off	レベルディバインド調整機能をオン/オフする
	Level Depend Level	-99~ ±0 ~+99	レベルディバインドレベルを設定する
	Frequency	-99~ ±0 ~+99	Hディテール信号の中心周波数を設定する(値を大きくするほどディテールは細くなる)
	Knee Aperture	On/Off	ニーアパーチャ補正機能をオン/オフする
	Knee Aperture Level	-99~ ±0 ~+99	ニーアパーチャレベルを設定する
	Limit	-99~ ±0 ~+99	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する
	White Limit	-99~ ±0 ~+99	白側のディテールリミッターを設定する
	Black Limit	-99~ ±0 ~+99	黒側のディテールリミッターを設定する
	V-BLK Limit	-99~ ±0 ~+99	黒側のVディテールリミッターを設定する
	V Detail Creation	NAM/G/ R+G /Y	Vディテール信号を生成するためのソース信号を選択する NAM : R信号から作られたVディテール信号とG信号から作られたVディテール信号とB信号から作られたVディテール信号のうち最もレベルの高い信号 G : G信号 G+R : G信号とR信号を1:1で合成した信号 Y : Y信号
Cross Color (SDモード時)	-99~ ±0 ~+99	ディテールのクロスカラー抑圧レベルを設定する	

ご注意

DetailがOffの場合や、OPERATION >Format >CountryがPal Areaの場合、この設定は無効です。

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Aperture アパーチャー補正に関する設定を行います。 アパーチャー補正は、ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理です。	Aperture	On/Off	アパーチャー補正機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	アパーチャーレベルを設定する
Skin Detail スキンドテール補正に関する設定を行います。 スキンドテール補正は、人物の肌をきれいに見せるなどの目的で、特定の色(肌色)の範囲を選んでテールレベルを増減させる処理です。	Skin Detail	On/Off	スキンドテール補正機能をオン/オフする
	Area Detection	色検出画面	スキンドテール補正の対象となる色を検出する
	Area Indication	On/Off	スキンドテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	スキンドテールレベルを設定する
	Saturation	-99~±0~+99	スキンドテール補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション)を設定する
	Hue	0~359	スキンドテール補正の対象となる色の色相(ヒュー)を設定する
	Width	0~40~90	スキンドテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する
	Matrix マトリクス補正に関する設定を行います マトリクス補正により、映像の色味、鮮やかさを調整することができます。 「プリセットマトリクス」としてあらかじめ用意されたパラメーターセットから目的に合うマトリクスを選択したり、「ユーザーマトリクス」として自分でパラメーターを設定することができます。	Matrix	On/Off
Preset Matrix		On/Off	プリセットマトリクス機能をオン/オフする
Preset Select		1/2/3/4/5/6	プリセットマトリクスを選択する 1: SMPTE-240M相当 2: ITU-709相当 3: SMPTE WIDE相当 4: NTSC相当 5: EBU相当 6: PAL相当
User Matrix		On/Off	ユーザーマトリクス補正機能をオン/オフする
User Matrix R-G		-99~±0~+99	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する
User Matrix R-B		-99~±0~+99	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する
User Matrix G-R		-99~±0~+99	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する
User Matrix G-B		-99~±0~+99	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する
User Matrix B-R		-99~±0~+99	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する
User Matrix B-G		-99~±0~+99	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Multi Matrix マルチマトリクス補正に関する設定を行います。マルチマトリクス補正は、16軸の色相 (Hue) 空間で飽和度 (Saturation) を設定します。	Multi Matrix	On/Off	マルチマトリクス補正機能をオン/オフする
	Area Indication	On/Off	マルチマトリクス補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする
	Color Detection	色検出画面	マルチマトリクス補正の対象となる色を検出する
	Preset	Execute / Cancel	HueとSaturationをプリセット値に戻す (Executeで実行する)
	Axis	B/B+/MG-/MG/MG+/R/R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/CY/CY+/B-	マルチマトリクス補正の対象となる色 (16軸モード) を設定する
	Hue	-99~±0~+99	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相 (ヒュー) を16軸モードごとに設定する
	Saturation	-99~±0~+99	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度 (サチュレーション) を16軸モードごとに設定する
V Modulation Vモジュレーションシェーディング補正に関する設定を行います。レンズとプリズムの関係で発生する垂直方向の感度の傾きを補正します。	V Modulation	On/Off	Vモジュレーションシェーディング補正機能をオン/オフする
	Master V Modulation	-99~±0~+99	マスターVモジュレーションレベルを設定する
	R V Modulation	-99~±0~+99	R信号のVモジュレーションレベルを設定する
	G V Modulation	-99~±0~+99	G信号のVモジュレーションレベルを設定する
	B V Modulation	-99~±0~+99	B信号のVモジュレーションレベルを設定する
Low Key Sat. ローキーサチュレーション補正に関する設定を行います。映像の暗い部分の色の濃さだけを補正できます。	Low Key Saturation	On/Off	ローキーサチュレーション補正機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	低輝度エリアの色の飽和度 (サチュレーション) を設定する
	Range	Low/L.Mid/H.Mid/High	ローキーサチュレーション補正を有効にする輝度レベルを選択する
Noise Suppress ノイズサプレッス (ノイズ圧縮) 機能に関する設定を行います。被写体の細かなエッジ成分を残しつつ、ノイズ成分を効果的に抑制することができます。	Noise Suppress	On/Off	ノイズサプレッス機能をオン/オフする

MAINTENANCEメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
White Shading ホワイトシェーディング補正に関する設定を行います。 ホワイトシェーディングはレンズの特性により発生する明るい部分の輝度ムラや色ムラで、レンズごとに補正が必要です。	Channel Select	Red /Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する
	R/G/B White H Saw	-99~ ±0 ~+99	水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White H Para	-99~ ±0 ~+99	水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White V Saw	-99~ ±0 ~+99	垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White V Para	-99~ ±0 ~+99	垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	White Saw/Para	On /Off	ホワイトシェーディングのSAW/パラボラ補正機能をオン/オフする
	Black Shading ブラックシェーディング補正に関する設定を行います。	Channel Select	Red /Green/Blue
R/G/B Black H Saw		-99~ ±0 ~+99	水平方向のSAWブラックシェーディング補正値を設定する
R/G/B Black H Para		-99~ ±0 ~+99	水平方向のパラボラブラックシェーディング補正値を設定する
R/G/B Black V Saw		-99~ ±0 ~+99	垂直方向のSAWブラックシェーディング補正値を設定する
R/G/B Black V Para		-99~ ±0 ~+99	垂直方向のパラボラブラックシェーディング補正値を設定する
Black Saw/Para		On /Off	ブラックシェーディングのSAW/パラボラ補正機能をオン/オフする
Master Black		-99~ ±0 ~+99	マスターのブラックレベルを設定する
Master Gain (TMP)	-6dB/-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/18dB/24dB/30dB/36dB/42dB	一時的にマスターゲインの値を設定する	

MAINTENANCE				
項目	細目	選択肢	内容	
Battery バッテリーに関する設定を行います。	Info Before End	5%/10%/15%...95%/100%	バッテリーパックBP-GL65/GL95使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する	
	Info End	0%/1%/2%/3%/4%/5%	バッテリーパックBP-GL65/GL95使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する	
	Sony Before End	11.5V～17V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する	
	Sony End	11.0V～11.5V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する	
	Other Before End	11.5V～11.8V～17.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する	
	Other End	11.0V～14.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する	
	DC In Before End	11.5V～11.8V～17.0V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する	
	DC In End	11.0V～14.0V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery End」を表示するしきい値を設定する	
	Detected Battery	Info/Sony/Other/DC IN		バッテリーの種類を自動判別した結果を表示する
	Type Detection	Auto/Other		Auto : バッテリーの種類を自動判別する Other : バッテリーの種類を「Other」に固定して判別する
Segment No.10	11.0V～17.0V (0.1Vステップ)		「Other」判定時、バッテリー残量表示 (37ページ参照) の各残量セグメントが消灯する電圧のしきい値を設定する (設定した値未満で消灯する)	
Segment No.9	11.0V～16.0V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.8	11.0V～15.0V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.7	11.0V～14.0V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.6	11.0V～13.5V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.5	11.0V～13.0V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.4	11.0V～12.5V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.3	11.0V～12.0V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.2	11.0V～11.5V～17.0V (0.1Vステップ)			
Segment No.1	11.0V～17.0V (0.1Vステップ)			

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定 を行います。	Front MIC Select	Mono/Stereo	フロントマイクをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する
	Audio CH3/4 Mode	Ch1/2 / Switch	AUDIO IN CH-3/CH-4端子の入力信 号を選択する Ch1/2 : AUDIO IN CH-1/ CH-2端子 と同じ信号 Switch : AUDIO IN CH3/CH4ス イッチで選択された入力信号
	Rear XLR Auto	On/ Off	後面のAUDIO IN CH-1/CH-2端子に ケーブルが接続されているかどうか を自動的に検出する機能をオン/オ フする
	Front MIC CH1 Ref	-70dB/-60dB/ -50dB / -40dB/-30dB/-20dB	フロントマイクのチャンネル1の基 準入力レベルを選択する
	Front MIC CH2 Ref	-70dB/-60dB/ -50dB / -40dB/-30dB/-20dB	フロントマイクのチャンネル2の基 準入力レベルを選択する
	Rear MIC CH1 Ref	-70dB/- 60dB /-50dB/ -40dB/-30dB/-20dB	AUDIO IN CH1スイッチの設定が MICの場合の基準入力レベルを選 択する
	Rear MIC CH2 Ref	-70dB/- 60dB /-50dB/ -40dB/-30dB/-20dB	AUDIO IN CH2スイッチの設定が MICの場合の基準入力レベルを選 択する
	Line Input Ref	+4dB /0dB/-3dB/EBUL	AUDIO IN CH1/CH2スイッチの設 定がLINEの場合の基準入力レ ベルを選択する
	Min Alarm Volume	Off /Set	ALARMつまみを絞りがきったとき の音量を選択する Off : ほぼ聞こえない Set : ある程度は聞こえる
	Speaker Attenuate	Off /3dB/6dB/9dB/12dB	モニタースピーカーからの音量を選 択する (イヤホンの音量には影響し ない)
	Headphone Out	Mono /Stereo	イヤホンをモノラル (Mono) にす るか、ステレオ (Stereo) にするか を選択する
	Reference Level	-20dB /-18dB/-16dB/ -12dB/EBUL	1kHzテスト信号の出力レベルを設 定する
	Reference Out	0dB /+4dB/-3dB/EBUL	基準入力レベルに対する出力レ ベルを設定する
	CH1&2 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル1、2に記録するアナロ グオーディオ信号の入力レベルの自 動調整を、各チャンネルで独立して 行うか (Mono)、ステレオモード で行うか (Stereo) を選択する
	CH3&4 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル3、4に記録するアナロ グオーディオ信号の入力レベルの自 動調整を、各チャンネルで独立して 行うか (Mono)、ステレオモード で行うか (Stereo) を選択する
	AGC Spec	-6dB /-9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	AGCの特性 (飽和レベル) を選択 する
	Limiter Mode	Off /-6dB/-9dB/ -12dB/-15dB/-17dB	オーディオ入力レベルの手動調整 時、大きな入力信号に対するリミッ ター特性 (飽和レベル) を選択する リミッターを使用しない場合はOff を選択する
	Output Limiter	On/ Off	オーディオ出力リミッターをオン/ オフする

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定を行います。	CH1 Wind Filter	On/ Off	チャンネル1の風音低減フィルターをオン/オフする
	CH2 Wind Filter	On/ Off	チャンネル2の風音低減フィルターをオン/オフする
	CH3 Wind Filter	On/ Off	チャンネル3の風音低減フィルターをオン/オフする
	CH4 Wind Filter	On/ Off	チャンネル4の風音低減フィルターをオン/オフする
	Audio SG (1KHz)	On/ Off /Auto	カラーバーモード時に1kHzのテスト信号を出力するか (On) 出力しないか (Off) を設定する Auto : AUDIO SELECT CH1スイッチの設定がAUTOの場合のみテスト信号を出力する
MIC CH1 Level	Side1/ Front / Front+Side1	フロントマイクの入力音声をチャンネル1に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ (左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ (左) とMIC LEVELつまみを連動させる	
MIC CH2 Level	Side2/ Front / Front+Side2	フロントマイクの入力音声をチャンネル2に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ (右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ (右) とMIC LEVELつまみを連動させる	
Rear1/WRR Level	Side1 /Front/ Front+Side1	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH-1端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ (左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ (左) とMIC LEVELつまみを連動させる	
Rear2/WRR Level	Side2 /Front/ Front+Side2	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH-2端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ (右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ (右) とMIC LEVELつまみを連動させる	

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定 を行います。	Audio CH3 Level	Side3 /Front/ Front+Side3	チャンネル3に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する Side3 : サイドパネルのLEVELつまみ Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side3 : LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる
	Audio CH4 Level	Side4 /Front/Front+Side4	チャンネル4に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する Side4 : サイドパネルのLEVELつまみ Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side4 : LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容
WRR Setting ワイヤレスチューナーに関する設定を行います。	WRR Valid CH Sel	All/CH1	ワイヤレスレシーバーのチャンネル1、2とも有効にするか (All)、チャンネル1のみを有効にするか (CH1) を選択する
	WRR CH Select	TX1/TX2	内容をメニューに表示する受信チャンネルを選択する TX1 : チャンネル1の内容を表示する TX2 : チャンネル2の内容を表示する
	WRR Delay Comp	On/Off	ワイヤレス入力音声の遅延補正機能を有効にするか (On) 無効にするか (Off) を選択する (Onを選択するとすべてのE-E出力の音声は約8ms遅延する)
	TX	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機の名前を表示する
	TX Audio Peak	---/Peak	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のAFレベルがピークオーバーかどうかを表示する
	TX Input Level	---/Mic/Line	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機の入力レベルがマイク (Mic) とライン (Line) のどちらに設定されているかを表示する
	TX ATT Level	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のATTレベルを設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)
	TX LCF Frequency	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のローカットフィルター周波数を設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)
	TX System Delay	Auto/0.0ms~8.0ms	音声の遅延量を設定する Auto : ワイヤレスレシーバーから送られてくる音声の遅延量が0になるように自動的に遅延量を補正する 0.0ms~8.0ms : オーディオミキサーなどを介して複数のワイヤレスシステムを使用している場合に、予測されるワイヤレスシステムの遅延量を設定する

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Timecode タイムコードに関する設定を行います。	TC Out	Auto /Generator	タイムコード出力を選択する Auto ：記録時はタイムコードジェネレーターの値を出力し、再生時はタイムコードリーダーの値を出力する Generator ：記録時、再生時ともタイムコードジェネレーターの値を出力する
	DF/NDF	DF /NDF	Countryの設定がPAL Area以外の場合に、ドロップフレームモード (DF) またはノンドロップフレームモード (NDF) を選択する
	LTC UBIT	Fix /Time	LTCのユーザービットに記録するデータを設定する Fix ：ユーザーが設定したデータを記録する Time ：現在の時刻を記録する
	Counter Display	Counter /Duration	ビューファインダーに表示されるカウンタ値のリセットの方法を選択する。 Counter ：RESETボタンを押すまで積算される Duration ：記録開始ごとにリセットされる
Essence Mark ショットマークとサムネイルの代表画に関する設定を行います。	Ret Shot Mark 1	On /Off	レンズのRETボタンを使用してShot Mark1を入力するかどうかを設定する。
	Ret Shot Mark 2	On /Off	レンズのRETボタンを使用してShot Mark2を入力するかどうかを設定する。
	Index Pic Pos	0sec~10sec (1秒刻み)	クリップをサムネイル表示するとき、どのフレームの画像を表示するかを先頭からの秒数で設定する
	Find Mode	Clip/Rec Start	NEXT/PREVボタンを押したときの動作を設定する Rec Start ：次または1つ前のレックスタートマークに移動する。 Clip ：NEXTボタンを押すと、次のクリップの先頭へ移動する。PREVボタンを押すと、現在のクリップの先頭に移動する。(クリップの先頭でPREVボタンを押すと1つ前のクリップの先頭に移動する)。

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容
Camera Config カムコーダーの各種動作に関する設定を行います。	Rec Tally Blink	On/Off	バッテリー残量およびメディア残量がわずかになったときのタリー点滅をオン/オフする
	Rec Review	3sec/10sec/Clip	レックレビュー時間を選択する Clip ：直前に記録したクリップ全体をレックレビューする
	SDI Rec Control	Off/Remote IF/Para Rec	HD/SD SDI OUT端子に接続された外部機器の記録動作を制御するかどうかを設定し、制御する場合は本機の記録動作と同期させるかどうかを設定する Off ：記録動作を制御しない Remote IF ：記録動作を制御する Para Rec ：外部機器の記録動作を本機の記録動作に同期させる
			<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリーカードへの記録動作中やi.LINK出力時に、SDI Rec Controlの設定を変更することはできません。 「Para Rec」は、以下のビデオフォーマットを選択しているときに選択できます。 1920×1080/59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P (PsF出力のみ、2-3プルダウン出力には対応しない) 1440×1080/59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P (PsF出力のみ、2-3プルダウン出力には対応しない) 1280×720/59.94P, 50P スロー&クイックモーション、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、クリップコンティニユアスレックのいずれかの記録モードが選択されているときは、「Para Rec」を選択することはできません。
	HD SDI Remote I/F	Chara/G-Tally/R-Tally	SDI Rec Controlを「Remote IF」に設定して外部機器の記録動作を制御するときに、外部機器が記録状態であることを表示方法を選択する Chara ：ビューファインダー画面上の外部機器制御表示で表示する G-Tally ：HDVFシリーズビューファインダー内のグリーンタリーランプまたはCBK-VF01ビューファインダーの画面上のグリーンタリー表示で表示する R-Tally ：HDVFシリーズビューファインダー内の記録・レッドタリーランプまたはCBK-VF01ビューファインダーの画面上のレッドタリー表示で表示する
			<p>ご注意</p> <p>SDI Rec Controlを「Para Rec」に設定すると、この設定は無効です。（「Chara」に固定されます。）</p>

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Camera Config カムコーダーの各種動作に関する設定を行います。	Match Clip Name	On/Off	SDI Rec Controlを「Para Rec」に設定しているときに、HD/SD SDI出力にクリップ名を重畳して出力するかどうかを設定する On ：出力する Off ：出力しない
			ご注意 <ul style="list-style-type: none"> SDI Rec Controlを「Para Rec」以外に設定すると、この設定は無効です。（「Off」に固定されます。） メモリーカードへの記録動作中やi.LINK出力時に、Match Clip Nameの設定を変更することはできません。 ASCIIの英数文字4文字以上のクリップ名を出力できます（スペースや記号は使用不可）。これ以外のクリップ名を出力すると、外部機器の出荷時の設定に基づいて変更されます。
	ALAC	Auto/Off	ALAC（倍率色収差補正）を自動的に実行するかどうかを設定する Auto ：ALACに対応しているレンズが取り付けられ、ALACが有効になっていると、自動的にALACを実行する Off ：実行しない
	Color Bars Select	ARIB/100%/75%/SMPTE	カラーバーの種類を選択する
	User Menu Only	On/Off	メニューを表示したときに、USERメニューだけを表示するか（On）、メニューリストを表示するか（Off）を選択する。
	RM Common Memory	On/Off	リモートコントロールユニット接続時とローカル操作時で設定を共有するか（On）共有しないか（Off）を選択する
			ご注意 リモートコントロールユニットの接続時は、この設定は無効です。
	RM Rec Start	RM/CAM/PARA	リモートコントロールユニット接続時にどちらの記録開始/停止ボタンを有効にするかを設定する RM ：リモートコントロールユニット CAM ：カムコーダー PARA ：両方
	Rec Start/Stop Beep	On/Off	記録開始/停止時の警告音をオン/オフする オンのとき、記録開始時に1回、記録停止時に2回ビーブ音が鳴る。
	Rec Status Indicator	Viewfinder/LCD/Both/Off	Rec Status Indicatorを表示する位置を指定する Viewfinder ：ビューファインダー LCD ：LCDモニター Both ：ビューファインダーとLCDモニター Off ：表示しない

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Preset White ホワイトバランスのプリセット値に関する設定を行います。	Color	1500K~ 3200K ~5000K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する
	Color Temp Balance<P>	-99~ ±0 ~+99	Color Temp<P>で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する
	R Gain <P>	-99~ ±0 ~+99	Rゲインのプリセット値を設定する
	B Gain <P>	-99~ ±0 ~+99	Bゲインのプリセット値を設定する
	AWB Enable <P>	On/ Off	WHITE BALスイッチがPRSTのとき、AWB（オートホワイトバランス）を実行する機能をオン/オフする
	White Filter フィルターに関する設定を行います。	ND Filter	On/ Off
C.Temp			
ND FLT C.Temp<1>		3200K /4300K/5600K/6300K	電氣的CCフィルターをNDフィルターに割り当てるときの色温度を選択する
ND FLT C.Temp<2-4>		3200K/4300K/ 5600K /6300K	電氣的CCフィルターをNDフィルターに割り当てるときの色温度を選択する
Electrical CC<A>		3200K /4300K/5600K/6300K	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する
Electrical CC		3200K/ 4300K /5600K/6300K	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する
Electrical CC<C>		3200K/4300K/ 5600K /6300K/-----	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する Cを使わないときは----を選択する
Electrical CC<D>		3200K/4300K/5600K/ 6300K /-----	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する Dを使わないときは----を選択する
DCC Adjust DCC（ダイナミックコントラストコントロール）に関する設定を行います。	DCC Function Select	DCC /Fix	OUTPUT/DCCスイッチをCAM、DCC：ONIにしたときの二乗ポイントの設定方法を選択する DCC ：二乗ポイントを被写体の輝度に合わせて自動調整する FIX ：二乗ポイントを固定値にする
	DCC D Range	400%/450%/500%/550%/ 600%	OUTPUT/DCCスイッチをCAM、DCC：ONIにしたときのダイナミックレンジを設定する
	DCC Point	-99~ ±0 ~+99	DCCの最小二乗ポイントを設定する
	DCC Gain	-99~ ±0 ~+99	DCCの検出値に対するゲイン値を設定する
	DCC Delay Time	-99~ ±0 ~+99	DCCの制御スピード（映像の変化に対する反応速度）を設定する
	DCC Peak Filter	-99~ ±0 ~+99	DCCの検出値のピークに対する応答感度を調整する

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Auto Iris2 オートアイリスに関する設定を行います。	Iris Window	1/2/3/4/5/6/Var	オートアイリス検出ウィンドウの種類を選択する Var ：可変
	Iris Window Ind	On/Off	オートアイリス検出ウィンドウの枠をマーカーで表示する機能をオン/オフする
	Iris Level	-99~±0~+99	オートアイリスの目標値のレベルを調整する
	Iris APL Ratio	-99~±0~+99	オートアイリス検出値のピーク値と平均値のミックス比を設定する (OPERATION > TLCS > Modeの設定がStandardの場合のみ有効)
	Iris Var Width	40~500~999	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの幅を設定する
	Iris Var Height	70~500~999	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの高さを設定する
	Iris Var H Position	-479~0~+479	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの水平位置を設定する
	Iris Var V Position	-464~0~+464	Iris WindowがIris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの垂直位置を設定する
	Iris Speed	-99~±0~+99	制御スピード（映像の変化に対する反応速度）を設定する（値が大きいほど反応は速くなる）
	Clip High Light	On/Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする
Genlock ゲンロックに関する設定を行います。	Genlock	On/Off	ゲンロック機能オン/オフする
	H Phase(HD)	-999~±0~+999	ゲンロック時のHD出力のH位相を設定する
	H Phase(SD)	-99~±0~+99	ゲンロック時のSD出力のH位相を設定する
	Reference	Internal/Genlock	本機が使用している基準信号の種類を表示する
ND Comp NDフィルターの色ずれ補正に関する設定を行います。 内蔵のNDフィルターはフィルターごとにごくわずかに色が異なるため、NDフィルターを切り換えたときにホワイトバランスがずれることがあります。フィルターごとの色の差をあらかじめ補正值として保存しておき、自動的に色ずれを補正することができます。	ND Offset Adjust	On/Off	NDフィルターの色ずれ補正機能
	Clear ND Offset	Execute/Cancel	NDフィルターの色ずれ補正值をクリアする（Executeで実行する）
Lens オートフランジバック調整を実行します。	Auto FB Adjust	Execute/Cancel	対応レンズに対してのみオートフランジバック調整を実行する（Executeで実行する）
Auto Shading オートブラックシェーディング補正を実行します。	Auto Black Shading	Execute/Cancel	オートブラックシェーディング補正を実行する（Executeで実行する）
	Reset Black Shading	Execute/Cancel	ブラックシェーディング補正值をクリアする（Executeで実行する）
	Master Gain (TMP)	-6dB/-3dB/0dB/3dB/ 6dB/9dB/12dB/18dB/ 24dB/30dB/36dB/42dB	一時的にマスターゲインの値を設定する（GAINスイッチの設定値と同じ値になる）

MAINTENANCE				
項目	細目	選択肢	内容	
APR	APR(SLS)	Execute/Cancel	自動欠陥補正（自動ピクセルノイズリダクション）機能を実行し、SLSモード時の白点を軽減する（Executeで実行する）	
	APR Preset	Execute/Cancel	APRおよびブラックバランスの自動調整の実行によって、追加登録された白点データを削除する（Executeで実行する）	
Trigger Mode 記録開始／停止トリガーに関する設定を行います。	i.LINK Trigger Mode	Internal/ Both /External	記録開始／停止の操作を、SxSメモリーカードに対してのみ行う場合はInternal、i.LINK（HDV/DV）端子やHD/SD SDI OUT端子に接続した機器に対してのみ行う場合はExternal、SxSメモリーカードと外部機器の両方に対して行う場合はBothを選択する	
Network Setting ネットワーク接続に関する設定を行います。	DHCP	Enable/Disable	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するか（Enable）しないか（Disable）を選択する	
	ご注意	IP Address	0.0.0.0～255.255.255.255 (192.168.1.10)	
	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiアダプター CBK-WA01またはUSB無線LANモジュールIFU-WLM3が必要です。 記録、再生中は無効です（グレー表示）。 	Subnet Mask	0.0.0.0～ 255.255.255.255	DHCPがDisableの場合に、サブネットマスクを設定する
	◆ ネットワーク接続について詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。	Default Gateway	0.0.0.0 ～255.255.255.255	DHCPがDisableの場合に、デフォルトゲートウェイを設定する
		User Name	admin	任意のユーザー名を設定する（英数字で1～31文字）
		Password	pmw-500 （機種名）	パスワード（機種名）を設定する（英数字で0～31文字）
		Set	Execute/Cancel	Network Settingで行った設定を確定する（Executeで実行）
	MAC Address		MACアドレスを表示する	
	Net Config Reset	Execute/Cancel	ネットワークの設定を初期値に戻す（Executeで実行）	

MAINTENANCE				
項目	細目	選択肢	内容	
Wi-Fi Setting Wi-Fi接続に関する設定を行います。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiアダプター CBK-WA01またはUSB無線LANモジュールIFU-WLM3が必要です。 記録、再生中は無効です（グレー表示）。 <p>◆ Wi-Fi接続について詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブリメント）をご覧ください。</p>	Scan Networks	Execute/Cancel	Wi-FiがEnableのときに、接続先を自動検出する	
		SSID	ネットワーク名	ネットワーク名を設定する（32文字以内）
		Network Type	Infra/Adhoc	接続モードを選択する。 Infra ：インフラストラクチャモード Adhoc ：アドホックモード CBK-WA01使用時は「Adhoc」が出荷時の設定となります。 IFU-WLM3の使用時は「Infra」が出荷時の設定となります。
		Ch	1～11	Network TypeがAdhocのときに、無線チャンネルを設定する
		Authentication	Open/Shared/WPA/WPA2	ネットワーク認証方法を選択する Open ：オープンシステム認証 Shared ：共有キー認証 WPA ：WPA（Wi-Fi Protected Access）認証 WPA2 ：WPA2（Wi-Fi Protected Access2）認証（Network TypeがInfraの場合のみ）
		Encryption	Disable/WEP/TKIP/AES	データを暗号化するかどうかと暗号化方式を選択する Disable ：暗号化しない WEP ：WEP（Wired Equivalent Privacy）方式で暗号化（AuthenticationがOpenまたはSharedの場合のみ） TKIP ：TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）方式で暗号化（AuthenticationがWPAまたはWPA2の場合のみ） AES ：AES（Advanced Encryption Standard）方式で暗号化（AuthenticationがWPAまたはWPA2の場合のみ）
		WEP Key Index	1/2/3/4	EncryptionがWEPのときに、キーのインデックスを選択する
		Input Select	EncryptionがWEPの場合 ASCII5 、 ASCII13、 HEX10、 HEX26、 EncryptionがTKIPまたはAESの場合 ASCII8-63、 HEX64	ネットワークキー（またはセキュリティーキー）に応じて入力形式を選択する ASCII5 ：ASCII形式で5文字 ASCII13 ：ASCII形式で13文字 HEX10 ：16進数形式で10桁（文字） HEX26 ：16進数形式で26桁（文字） ASCII8-63 ：ASCII8ビット形式で8～63文字 HEX64 ：16進数形式で64桁（文字）
		Key		ネットワークキー（またはセキュリティーキー）を設定する
		Set		Wi-FiがEnableのときに、Wi-Fi Settingで行った設定を有効にする（Executeで実行）

MAINTENANCE				
項目	細目	選択肢	内容	
Wi-Fi Setting Wi-Fi接続に関する設定を行います。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiアダプター CBK-WA01またはUSB無線LANモジュールIFU-WLM3が必要です。 記録、再生中は無効です（グレー表示）。 <p>◆ Wi-Fi接続について詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブメント）をご覧ください。</p>	Wi-Fi Status	■■■■■ Connecting	接続の実行中には「Connecting」を表示し、通信中には接続状態■の数で表示する	
		Wireless Mode	802.11b/802.11g/ 802.11n	<p>ご注意</p> IFU-WLM3を使用してAdhocモードでWi-Fi接続しているときは、Wi-Fi Statusは表示されません。
		Wi-Fi	Enable/ Disable	IEEE802.11の規格を表示する
		Wi-Fi Remote	On / Off	<p>ご注意</p> IFU-WLM3を使用してAdhocモードでWi-Fi接続しているときは、Wireless Modelは表示されません。
Clock Set 内蔵時計を設定します。	Date/Time	12H/24H	Wi-Fi接続を有効にするか無効にするかを選択する	
	Date Mode	YYMMDD /MMDDYY/ DDMMYY	Wi-Fiリモコンを使用するときOnにする	
Language メッセージの表示言語を選択します。	Language	English /Chinese	<p>ご注意</p> Wi-Fiの設定が無効（Disable）のときは選択できません。	
	Hours Meter デジタル時間計に関する設定を行います。	Hours(Sys)		現在の日時を設定する
		Hours(Reset)		時刻の表示形式を12時間表示（12H）にするか24時間表示（24H）にするかを選択する
Version 本機のバージョン表示およびバージョンアップを実行します。	Reset	Execute/Cancel	年月日の表示形式を選択する YYMMDD ：年月日の順 MMDDYY ：月日年の順 DDMMYY ：日月年の順	
	Version		メッセージ表示言語を英語（English）にするか中国語（Chinese）にするかを選択する	
	Version Up	Execute/Cancel	積算使用時間を表示する（リセット不可）	
	CBK-HD02 a)		積算使用時間を表示する（リセット可）	
			Hours(Reset)を0にリセットする（Executeで実行する）	
			本機のソフトウェアバージョンを表示する（Vx.xx）	
			CBK-HD02のソフトウェアバージョンを表示する（Vx.xx）	
			本機をバージョンアップする（Executeで実行する）	
			<p>ご注意</p> Sxメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。	

a)CBK-HD02装着時

FILEメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
User ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。	User Load SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードに保存されたユーザーファイル呼び出す (Executeで実行) Load Customize DataがOffの場合 : USERメニューの設定値がユーザーファイルに保存されていた設定値に置き換わる (メニュー構成は変わらない)。 Load Customize DataがOnの場合 : USERメニューが、ユーザーファイルに保存されていた構成と設定値に置き換わる。 User Load WhiteがOffの場合 : ユーザーファイル呼び出して、ホワイトバランスのデータを読み込まない。 User Load WhiteがOnの場合 : ホワイトバランスのデータを読み込む。
	User Save SxS	Execute/Cancel	現在のUSERメニューのメニュー構成、設定値、現在のホワイトバランスのデータを、ユーザーファイルとしてSxSメモリーカードに保存する (Executeで実行)
	User Load USB (UDFモード時のみ)		USBメモリーに保存されたユーザーファイル呼び出す (Executeで実行)
	User Save USB (UDFモード時のみ)		現在のUSERメニューのメニュー構成、設定値、現在のホワイトバランスのデータを、ユーザーファイルとしてUSBメモリーに保存する (Executeで実行)
	File ID		ユーザーファイルに名前を付ける (最大16文字)
	Recall User Preset	Execute/Cancel	USERメニューに登録されているメニューの設定値をプリセット値に戻す (Executeで実行)
	Store User Preset	Execute/Cancel	USERメニューを保存するときに、設定値をプリセット値にして保存する (Executeで実行)
	Clear User Preset	Execute/Cancel	USERメニューに登録されているメニューの設定値を、工場出荷時の設定値に戻す (Executeで実行)
	Load Customize Data	Off /On	ユーザーファイル呼び出すときに、メニューの構成および設定値を読み込むか (On)、メニューの設定値のみ読み込むか (Off) を選択する
	Load White Data	Off /On	ユーザーファイル呼び出すときに、ホワイトバランスのデータを読み込むか (On)、読み込まないか (Off) を選択する

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
All ALLファイルの操作に関する設定を行います。	Display Mode	Date&Time/Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する
	All Load SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイルを読み出す (Executeで実行する)
	All Save SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)
	All Load USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーからファイルを読み出す (Executeで実行)
	All Save USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーにファイルを保存する (Executeで実行)
	File ID		ファイルに最大16文字の名前をつける
	All Preset	Execute/Cancel	すべての項目をプリセット値に戻す (Executeで実行する)
	Store All Preset	Execute/Cancel	すべての項目について現在の設定値をプリセット値として保存する (Executeで実行する)
	Clear All Preset	Execute/Cancel	すべての項目のプリセット値をクリアする (Executeで実行する)
	3Sec Clr Preset	On/Off	MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に3秒間押し上げたままにすると項目ごとにプリセット値がクリアされる機能をオン/オフする
	Network Data	Off/On	Allファイルを読み出すときに、ネットワークに関する設定を読み込むか (On)、読み込まないか (Off) を選択する

FILE				
項目	細目	選択肢	内容	
Scene シーンファイルの操作に関する設定を行います。	<input type="checkbox"/> 1	Standard	ファイル番号およびファイルID	
	<input type="checkbox"/> 2	Standard	ファイル番号およびファイルID	
	<input type="checkbox"/> 3	Standard	ファイル番号およびファイルID	
	<input type="checkbox"/> 4	Standard	ファイル番号およびファイルID	
	<input type="checkbox"/> 5	Standard	ファイル番号およびファイルID	
	<input type="checkbox"/> Standard		標準設定値	
	Display Mode	Date&Time/Model Name		保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する
	Scene Recall Mem	Execute/Cancel		内蔵メモリーからファイルを呼び出す (Executeで実行する)
	Scene Store Mem	Execute/Cancel		内蔵メモリーにファイルを保存する (Executeで実行する)
	Scene Recall SxS	Execute/Cancel		SxSメモリーカードからファイルを呼び出す (Executeで実行する)
	Scene Store SxS	Execute/Cancel		SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)
	Scene Recall USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel		USBメモリーからファイルを呼び出す (Executeで実行)
	Scene Store USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel		USBメモリーにファイルを保存する (Executeで実行)
	File ID			ファイルに最大16文字の名前を付ける
Reference リファレンスファイルの操作に関する設定を行います。	Reference Store	Execute/Cancel	リファレンス項目の現在の状態を内部メモリーのリファレンスファイルに保存する (Executeで実行する)	
	Reference Clear	Execute/Cancel	リファレンスファイルをクリアする (Executeで実行する)	
	Refer. Load SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイルを呼び出す (Executeで実行する)	
	Refer. Save SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)	
	Refer. Load USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーからファイルを呼び出す (Executeで実行)	
	Refer. Store USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーにファイルを保存する (Executeで実行)	
	File ID			ファイルに最大16文字の名前を付ける
	Scene White Data	On/ Off		Scene >Scene RecallまたはScene >Standardの実行時、ホワイトバランスのデータを読み込むかどうかを選択する

FILE				
項目	細目	選択肢	内容	
Lens レンズファイルの操作に関する設定を行います。	Display Mode	Date&Time/Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する	
	Lens Recall Mem	Execute/Cancel	内蔵メモリーからファイルを読み出す (Executeで実行する)	
	Lens Store Mem	Execute/Cancel	内蔵メモリーにファイルを保存する (Executeで実行する)	
	Lens Recall SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイルを読み出す (Executeで実行する)	
	Lens Recall USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーからファイルを読み出す (Executeで実行)	
	Lens Store USB (UDFモード時のみ)	Execute/Cancel	USBメモリーにファイルを保存する (Executeで実行)	
	Lens Store SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)	
	File ID		最後に呼び出したファイルに最大16文字の名前を付ける	
	Source		選択しているファイルの番号が表示される	
	Lens No Offset	Execute/Cancel	ファイルをクリアする (Executeで実行する)	
	Lens Auto Recall	Off/On/Serial Number	シリアル通信対応レンズ装着時に、該当するレンズファイルを自動的に呼び出すかどうかを設定する Off : この機能を使用しない On : 機種名に対応するレンズファイルを読み出し、その内容を反映する Serial Number : シリアル番号の通信が可能なレンズの場合は、機種名とシリアル番号に対応するレンズファイルを読み出し、その内容を反映する。シリアル番号の通信ができないレンズの場合は、機種名に対応するレンズファイルを読み出す (Onに設定したときと同じ)	
	Serial Number		装着されたシリアル通信対応レンズのシリアルナンバーが表示される (対応レンズのみ)	
	Lens ID		装着されたシリアル通信対応レンズの機種名が表示される (対応レンズのみ)	
	L Manufacturer		装着されたシリアル通信対応レンズのメーカー名が表示される (対応レンズのみ)	
	M V Modulation	-99~±0~+99		レンズファイルに垂直方向のSAWシェーディング補正値を設定する
	Lens Center H	-40~0~40		レンズファイルにセンターマーカの水平位置を設定する

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
Lens レンズファイルの操作に関する設定を行います。	Lens Center V	-40~ 0 ~40	レンズファイルにセンターマーカの垂直位置を設定する
	Lens R Flare	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルにRフレアレベルを設定する
	Lens G Flare	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルにGフレアレベルを設定する
	Lens B Flare	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルにBフレアレベルを設定する
	Lens W-R Offset	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルにRホワイトバランス補正値を設定する
	Lens W-B Offset	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルにBホワイトバランス補正値を設定する
	Shading Ch Sel	Red /Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する。
	L R/G/B H Saw	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルに水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B H Para	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルに水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B V Saw	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルに垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B V Para	-99~ ±0 ~+99	レンズファイルに垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する

アサインブルスイッチに機能を割り当てる

OPERATIONメニューのAssignable SWで、ASSIGN. 0～3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとCOLOR TEMP.ボタン、レンズのRETボタンに任意の機能を割り当てることができます。工場出荷時には、それぞれ下表に示す機能が割り当てられています。

スイッチ／ボタン	機能	Assignable SW の設定
ASSIGN. 0スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 1スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 2スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 3スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 4スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 5スイッチ	未設定	Off
RETボタン	記録中または再生中：ショットマークを記録する 上記以外：レックレビュー（再生可能な場合）	Lens RET
COLOR TEMP.ボタン	ホワイトバランスを5600Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	Color Temp SW 5600K

ASSIGN. 0スイッチに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Marker	すべてのマーカー表示をオン／オフする	設定を保持する
ATW Hold	ATW（自動追尾ホワイトバランス）によるホワイトバランス設定値を保持する	—
Picture Cache	ピクチャーキャッシュレックモードをオン／オフする	設定を保持する
Freeze Mix	フリーズミックスを実行する	—
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン／オフする	設定を保持しない
Zebra	ゼブラ表示をオン／オフする	設定を保持しない
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
OK Mark	OKマークを記録／削除する	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定／解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定／解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKeepフラグを設定／解除する設定を保持しない	設定を保持しない

ASSIGN. 2スイッチに割り当て可能な機能

ご注意

ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てた直後と記録フォーマットの切り換え直後は、その時点のスイッチの設定と本機の状態が一致しないことがあります。機能の割り当て後にASSIGN. 2スイッチを切り換えるか、電源を再投入すると一致します。

Assignable SW の設定	機能
Off	未設定
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ／モノラルを切り換える
Marker	すべてのマーカー表示をオン／オフする
Picture Cache a)	ピクチャーキャッシュレックモードをオン／オフする
Zebra	ゼブラ表示をオン／オフする
Clip Continuous Rec	クリップコンティニユアスレックモードをオン／オフする
Digital Extender	別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02の装着時に、画面拡大機能をオン／オフする
Rec Source	別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02の装着時に、記録する信号をカメラ画または外部入力に切り換える（記録／再生中に操作すると、記録／再生が終了してから切り換えが実行される）

ご注意

- a) Picture Cacheを割り当てると、メニューの
OPERATION > Rec Functionは無効（グレー表示）になり、設定できなくなります。

ASSIGN. 1/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとCOLOR TEMP. ボタンに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ（オン）／モノラル（オフ）を切り換える	設定を保持する
Marker	すべてのマーカー表示をオン／オフする	設定を保持する
Last Clip Delete	直前に撮影したクリップを削除する	—
ATW	ATW（自動追尾ホワイトバランス）モードをオン／オフする	設定を保持しない
ATW Hold	ATWによるホワイトバランス設定値を保持する	—
EZ Mode	OPERATION > TLCSの設定に基づいてEZモードを実行する	設定を保持する
Turbo Gain	OPERATION > Gain Switch > Gain Turboの設定に基づいてターボゲインを実行する	設定を保持しない
Rec Review	レックレビューを実行する	—
Rec	記録開始／停止を実行する	—
Picture Cache	ピクチャーキャッシュレックモードをオン／オフする	設定を保持する
Freeze Mix	フリーズミックスを実行する	設定を保持しない
Spotlight	オートアイリスモードをスポットライトに設定／解除する	設定を保持する
Backlight	オートアイリスモードをバックライトに設定／解除する	設定を保持する
EVF Mode	ビューファインダー画面の白黒（オン）／カラー（オフ）を切り換える	設定を保持する
BRT Disp	輝度レベル表示をオン／オフする	設定を保持する
Histogram	ヒストグラム表示をオン／オフする	設定を保持する
Lens Info	被写界深度表示のオフ、メーター表示、フィート表示を切り換える	設定を保持する

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Zoom Tele/Wide	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4に Zoom Tele機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Wide機能をそれぞれ割り当てる (<4>、<5>の設定時のみ表示する)	—
Zoom Wide/Tele	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4に Zoom Wide機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Tele機能をそれぞれ割り当てる (<4>、<5>の設定時のみ表示する)	—
Manual Focus Assist	マニュアルフォーカスアシスト機能をオン/オフする	設定を保持する
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン/オフする	設定を保持しない
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする	設定を保持しない
Lens RET	別売のCBK-HD02を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する カメラエクステンションユニットを接続していない場合は、以下の機能 記録中または再生中 ：ショットマークを記録する 上記以外 ：レックレビュー（再生可能な場合）	—
Return Video	別売のCBK-HD02を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する	—
Return Video2	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Return Video3	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Return Video4	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
OK Mark	OKマークを記録/削除する	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKeepフラグを設定/解除する設定を保持しない	設定を保持しない
Color Temp SW 3200K	ホワイトバランスを3200Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 4300K	ホワイトバランスを4300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 5600K	ホワイトバランスを5600Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 6300K	ホワイトバランスを6300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Electrical CC	ホワイトバランス調整値に対して電氣的CCフィルターを切り換える（3200K/4300K/5600K/6300K）機能 スイッチ/ボタンを押すたびに 3200K→4300→5600K→6300Kと切り替わる Menu設定で変更可能（Electrical CC<A><C><D>で設定）	設定を保持する
ご注意		
メニューのMaintenance >White Filter >ND Filter C.TempがOnの場合は設定できません。 機能を割り当てたあとでND Filter C.TempをOnすると、そのアサインパルススイッチは機能しなくなります。		
CC5600K	ホワイトバランス調整値に対して5600Kの電氣的CCフィルターをかける	設定を保持する

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Clip Continuous Rec	クリップコンティニユアスレックモードをオン/オフする	設定を保持しない
Slot Select	スロットAとBの両方に記録メディアが装着されているとき、使用する記録メディアを切り換える	—
Digital Extender	別売のSDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェースCBK-HD02の装着時に、画面拡大機能をオン/オフする	設定を保持しない

レンズのRETボタンに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Lens RET	別売のCBK-HD02を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する カメラエクステンションユニットを接続していない場合は、以下の機能 記録中または再生中 ：ショットマークを記録する 上記以外 ：レックレビュー（再生可能な場合）	—
Return Video	別売のCBK-HD02を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する	—
Rec Review	レックレビューを実行する	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定／解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定／解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKeepフラグを設定／解除する設定を保持しない	設定を保持しない
OK Mark	OKマークを記録／削除する	—
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン/オフする	設定を保持しない

設定の保存と呼び出し

セットアップメニューの設定内容は、本機の内蔵メモリーとSxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に保存することができます。このデータを使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データは、次のように分類されて保存されます。

ユーザーファイル：カスタマイズした

USERメニューの設定項目と設定データを保存します。SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に64個まで保存することができます。このファイルを本機のメモリーに読み込むことにより、USERメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

ALLファイル：全メニューの設定データを保存します。SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に64個まで保存することができます。

ご注意

機器固有のデータ（機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど）は保存されません。

シーンファイル：撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に64個まで保存することができます。

リファレンスファイル：メニューのFILE >SceneでStandardを実行するときの基準となる設定値を保存します。本機の

内蔵メモリーとSxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に1個ずつ保存することができます。

レンズファイル：レンズ固有の特性を補正する設定データ（フレア、ホワイトシェーディング、ホワイトバランス、センターマーカー）を保存します。本機の内蔵メモリーに32個、SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）に64個まで保存することができます。

ファイルを最初に保存したときの設定値を「プリセット値」と呼びます。

ファイルを読み出して本機をセットアップし、さらに設定変更を行った状態で元のファイルを上書き保存した場合でも、プリセット値を復活させて、ファイルの内容を初期状態にリセットすることができます（176ページ参照）。

設定データを保存する

設定データをALLファイルとして保存する手順を説明します。

あらかじめ、書き込み可能なSxSメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入しておきます。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

1 メニューのFILE >Allを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」（175ページ）をご覧ください。

2 All Save SxS >Executeを選択する。
ALLファイルのリストボックスが表示されます。

「No File」と表示されているファイル番号は空き番号です。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

- 3 MENUつまみを回して希望のファイル番号を選択する。
- 4 MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 保存を実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
保存を中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
保存を実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

ファイルの保存が実行されないときは
SxSメモリーカードへの保存操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示されたときは、ファイルは保存されません。

エラーメッセージ	状況	対策
NG:Cannot Save	記録可能なメディアが挿入されていない	記録可能なメディアを挿入する
NG:Media Full	メディア残容量がない	残容量のあるメディアを使用する

USBメモリーを使うときは（UDFモード時）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（81ページ参照）。
手順2でAll Save USB >Executeを選択します。

ファイルに名前を付けるには

データをALLファイルとして保存する前に名前を付けておくと、ファイルの識別に役立ちます。
以下の文字を使用できます。

数字、アルファベット、特殊文字（!、#、\$、%、&、'、(、)、*、+、,、-、.、/、:、;、<、=、>、?、@、[、\、]、~）

- 1 メニューのFILE >All >File IDを選択する。
- 2 MENUつまみを回して文字を選択し、つまみを押す。
- 3 手順3を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、MENUつまみを押してカーソルを「SET」に合わせ、つまみを押す。
設定した名前が表示されます。
ファイルの保存操作（174ページ参照）を行うと、この名前前でデータが保存されます。

設定データを呼び出す

ご注意

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）からファイルを呼び出すと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Allを選択する。
- 2 All Load SxS >Executeを選択する。
ALLファイルのリストボックスが表示されます。
「No File」と表示されているファイル番号は空き番号です。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。
- 3 MENUつまみを回して、希望のファイル番号を選択する。
- 4 MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 呼び出しを実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

呼び出しを中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

呼び出しを実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。呼び出しが完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

ご注意

他の機器で保存したファイルを読み出す場合、ファイルを保存した機器とファイルを読み出す機器でファームウェアバージョンが異なると、ファイルを読み出す機器で対応していない機能の設定値はプリセット値になります。

ファイルの呼び出しが実行されないとき

SxSメモリーカードからの呼び出し操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示された場合は、ファイルの呼び出しは行われません。

エラーメッセージ	状況	対策
NG:No Data	<ul style="list-style-type: none">読み出し可能なメディアがないメディアに該当のファイルがない	ファイルを保存したメディアを挿入する

USBメモリーを使うときは（UDFモード時）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（81ページ参照）。

手順2でAll Load USB >Executeを選択します。

変更されたファイルの内容を初期状態にリセットする

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Allを選択する。
- 2 All Presetを選択し、MENUつまみを押す。
- 3 リセットを実行するときはExecuteを選択し、MENUつまみを押す。リセットを中止するときはCancelを選択し、MENUつまみを押す。リセットを実行すると、すべてのALLファイル内の設定値が、すべてプリセット値にリセットされます。

シーンファイルの保存と呼び出し

次のデータをシーンファイルに保存できます。

- PAINTメニューを使用して設定した値
- 標準モードおよびECSモードでのシャッタースピードの設定
- ホワイトバランスのデータ
保存されるデータおよび呼び出されるデータは、FILEメニューのReference >Scene White Dataの設定によって異なります。

シーンファイルを保存する

SxSメモリーカードにファイルを保存するときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

1 メニューのFILE >Sceneを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは

手順2に進む前に、名前を設定します。

- ◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」(175ページ)をご覧ください。

2 Scene Store Mem >Execute (内蔵メモリーに保存する場合) または Scene Store SxS >Execute (SxSメモリーカードに保存する場合) を選択する。

3 MENUつまみを押す。

シーンファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。

4 保存したいファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

5 保存を実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

保存を中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

手順2でScene Store SxS >Executeを選択したときは、保存を実行するとACCESSランプが点灯します(右側面:青、カードスロット部:オレンジ)。保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USBメモリーを使うときは(UDFモード時)

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します(81ページ参照)。

手順2でScene Store USB >Executeを選択します。

シーンファイルを呼び出す

SxSメモリーカードからファイルを呼び出すときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

1 メニューのFILE >Sceneを選択する。

2 Scene Recall Mem >Execute (内蔵メモリーから呼び出す場合) または Scene Recall SxS >Execute (SxSメモリーカードから呼び出す場合) を選択する。

3 MENUつまみを押す。

シーンファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されてい

ないファイル番号には、「No File」と表示されます。

- 希望のファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 呼び出しを実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
呼び出しを中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
手順2でScene Recall SxS >Executeを選択したときは、呼び出しを実行するとACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。
指定したファイルが呼び出されると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USBメモリーを使うときは（UDFモード時）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（81ページ参照）。

手順2でScene Recall USB >Executeを選択します。

レンズファイルの保存と呼び出し

レンズファイルを設定する

レンズファイルは、FILEメニューのLens（168ページ参照）で設定します。
以下のデータを設定し、レンズファイルとして保存できます。

設定データ	細目
Vモジュレーションシェーディング補正值	M V Modulation
センターマーカーの位置	Lens Center H Lens Center V
フレアレベル	Lens R Flare Lens G Flare Lens B Flare
ホワイトバランス補正值	Lens W-R Offset Lens W-B Offset
ホワイトシェーディング補正值	L R/G/B H Saw L R/G/B H Para L R/G/B V Saw L R/G/B V Para

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

レンズファイルを保存する

SxSメモリーカードにファイルを保存するときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

1 メニューのFILE >Lensを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」(175ページ)をご覧ください。

- 2 Lens Store Mem >Execute (内蔵メモリーに保存する場合) または Lens Store Recall SxS >Execute (SxSメモリーカードに保存する場合) を選択する。
- 3 MENUつまみを押す。
レンズファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。
- 4 保存したいファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 保存を実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
保存を中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
手順2でLens Store SxS >Executeを選択したときは、保存を実行するとACCESSランプが点灯します(右側面: 青、カードスロット部: オレンジ)。保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USBメモリーを使うときは(UDFモード時)

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します(81ページ参照)。

手順2でLens Store USB >Executeを選択します。

ご注意

別のPMW-500で設定したレンズファイルをUSBメモリーに保存し、対象となるシリアルレンズの使用時にレンズファイルを自動呼び出し(Lens Auto Recall) する場合は、レンズファイルをUSBメモリーに保存するときに、対象のレンズを装着した状態で行ってください。

レンズファイルを呼び出す

SxSメモリーカードからレンズファイルを呼び出すときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(124ページ)をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Lensを選択する。
- 2 Lens Recall Mem >Execute (内蔵メモリーから呼び出す場合) または Lens Recall SxS >Execute (SxSメモリーカードから呼び出す場合) を選択する。
- 3 MENUつまみを押す。
レンズファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。
- 4 希望のファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 呼び出しを実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
呼び出しを中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
手順2でLens Recall SxS >Executeを選択したときは、呼び出しを実行するとACCESSランプが点灯します(右側面: 青、カードスロット部: オレンジ)。指定したレンズファイルが呼び出されると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USBメモリーを使うときは(UDFモード時)

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します(81ページ参照)。

手順2でLens Recall USB >Executeを選択します。

レンズファイルを自動で呼び出す

シリアル通信対応レンズを使用しているときは、レンズの設定に対応するレンズファイルを自動的に呼び出して、本機をセットアップすることができます（Lens Auto Recall機能）。

Lens Auto Recall機能を使用するときは、FILEメニューのLens >Lens Auto Recallを以下のいずれかに設定します。

On：機種名に対応するレンズファイルを呼び出す

Off：機能を使用しない

Serial Number：機種名とシリアル番号に対応するレンズファイルを呼び出す（シリアル番号の通信が可能なレンズの場合）

シリアル番号の通信に対応していないレンズを使用している場合は、いずれの設定でも、機種名に対応するレンズファイルを呼び出します。

ユーザーファイルの保存と呼び出し

USERメニューのセットアップ状態（メニュー構成と設定値）および現状のWhite Balanceのデータをユーザーファイルとして保存できます。

ユーザーファイルを保存する

SxSメモリーカードにファイルを保存するときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

1 メニューのFILE >Userを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」（175ページ）をご覧ください。

2 User Save SxS >Executeを選択する。

ユーザーファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

3 MENUつまみを回して希望のファイル番号を選択する。

4 MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

5 保存を実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。保存を中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

保存を実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。
保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USERメニューの設定値をプリセット値にして保存するには

手順2で、Store User Preset >Executeを選択します。

USBメモリーを使うときは（UDFモード時）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（81ページ参照）。

手順2でUser Save USB >Executeを選択します。

手順5で保存を実行してもACCESSランプは点灯しません。

ユーザーファイルを読み出す

ご注意

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDFモード時）からファイルを読み出すと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。

メニューのFILE >UserのLoad Customize DataとUser Load Whiteの設定に応じて、読み出されるデータが変わります。

Load Customize DataがOffの場合：USERメニューの設定値のみ読み出す。

Load Customize DataがOnの場合：USERメニューの構成と設定値を読み出す。

User Load WhiteがOffの場合：ホワイトバランスのデータを読み出さない。

User Load WhiteがOnの場合：ホワイトバランスのデータを読み出す。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（124ページ）をご覧ください。

1 メニューのFILE >Userを選択する。

2 User Load SxS >Executeを選択する。

ユーザーファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

3 MENUつまみを回して希望のファイル番号を選択する。

4 MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

5 呼び出しを実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。呼び出しを中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

呼び出しを実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。

呼び出しが完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

USERメニューの設定値をプリセット値にして読み出すには

手順2で、Load User Preset >Executeを選択します。

USBメモリーを使うときは（UDFモード時）

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（81ページ参照）。

手順2でUser Load USB >Executeを選択します。

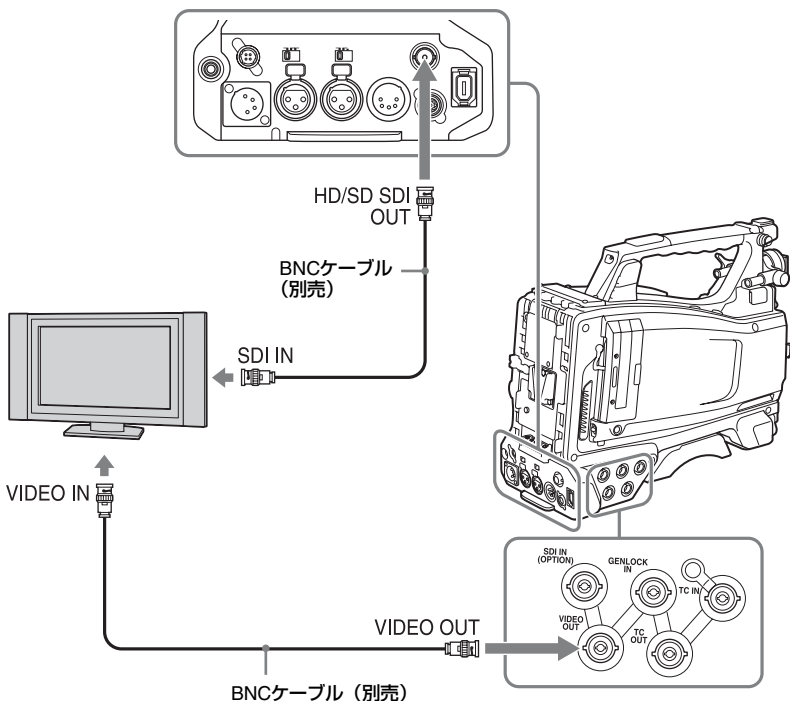
手順5で呼び出しを実行してもACCESSランプは点灯しません。

8章 外部機器の接続

本機は、リモートコントロールユニットRM-B150/B170/B750やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501などのコントロールユニットを使用して操作することもできます。コントロールユニットの接続や操作については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サプリメント）をご覧ください。

外部モニターを接続する

本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。



HD信号／SD信号を問わず、外部モニターにビューファインダー画面と同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

ご注意

ダウンコンバートされて出力されるSD信号には、次のような制約があります。
50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC信号、23.98Pの映像は2-3プルダウン処理されたNTSC信号として出力されます。

HD/SD SDI OUT端子 (BNC型)

HD/SD SDI OUT端子には、SDI対応のモニター、スイッチャーやVTRなどの記録装置を接続することができます。

本端子からの出力信号は、メニューのOPERATION >Input/Output >SDI Output (130ページ参照) でオン/オフすることができます。

接続には、別売のBNCケーブルを使用します。

VIDEO OUT端子

VIDEO OUT端子には、アナログコンポジット対応のモニターやVTRなどの記録装置を接続することができます。

出力信号は、メニューのOPERATION >Output&i.LINKの設定に応じて、次のように変わります。

設定	出力信号
HD&HDV (FATモード時)	HD/SD SDI OUT端子からの出力と同じビデオフォーマットのHD-Yアナログ信号
HD (UDFモード時)	
SD&HDVまたはSD&DV (FATモード時)	HD/SD SDI OUT端子からの出力と同じビデオフォーマットのコンポジット信号
SD (UDFモード時)	メニューのOPERATION >Format >HD/SDがSDの場合、HD/SD SDI OUT端子から出力される信号と同様にNTSCまたはPALにエンコードされる ^{a)} 。

a)NTSC/PALの切り換えには、メニューのOPERATION >Format >Country (129ページ参照) を使用する。

アナログコンポジット対応機器に信号を入力するには、必要に応じて、VIDEO OUT端子からのアナログコンポジット信号の設定に合わせて、アナログコンポジット対応機器側の入力信号設定を変更します。

モニターやVTRなどの記録装置に音声を入力する場合は、AUDIO OUT端子からの音声

出力とモニターやVTR側のオーディオ入力を接続します。

接続には、別売のBNCケーブルを使用します。

i.LINK (HDV/DV) 端子

FATモード時、i.LINK (HDV/DV) 端子はHDVとDVの入出力に対応します。ただし、DVを入力しても本機では記録できません。本端子には、i.LINK (HDV) 対応のモニター、VTRやHDDなどのi.LINK (HDV) 対応の記録再生装置、およびi.LINK (HDV) 対応のコンピューターを接続することができます。

HDV信号を入出力するには

HDV信号は、ビデオフォーマットがHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.98P) で、OPERATIONメニューのInput/Output >Output&i.LINKの設定がHD&HDVまたはSD&HDV、Input/Output >i.LINK I/Oの設定がEnableのときに入出力可能です。ビデオフォーマットがSP 1440/23.98Pのときは、2-3プルダウン処理された59.94iのHDV信号を出力します。

DV信号を入出力するには

DV信号は、以下の場合に入出力可能です。

- SDモードで、OPERATIONメニューのInput/Output >i.LINK I/Oの設定がEnable
- HDモードで、ビデオフォーマットがDV信号入出力不可フォーマット (HQ 1920/23.98P、HQ 1440/23.98P、HQ 1280/23.98P) 以外で、Input/Output >Output&i.LINKの設定がSD&DV、Input/Output >i.LINK I/Oの設定がEnable

コンピューターでクリップを管理・編集する

本機でSxSメモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売のノンリニア編集ソフトで編集することができます。

SxSメモリーカードをコンピューターに直接装着したり、USBケーブルを使って本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー／ライター SBAC-US10（別売）をコンピューターに接続して、本機で記録したクリップを管理・編集する方法を説明します。

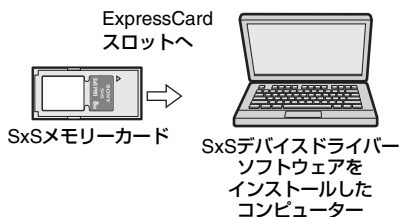
コンピューターのExpressCardスロットを使う

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

ご注意

- SxSデバイスドライバソフトウェアおよびUDFドライバーソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（17ページ）をご覧ください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- ◆ SxSデバイスドライバソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>



Windowsの場合

マイコンピューターにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作していません。

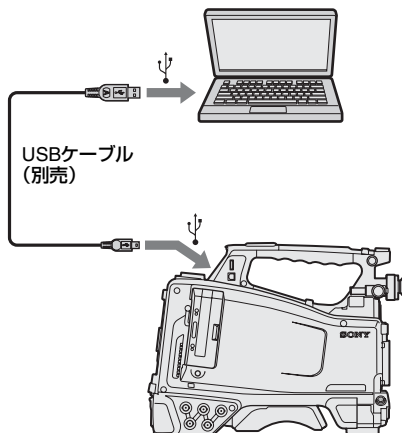
Macintoshの場合

メニューバーにアイコンが表示されます。

コンピューターとUSB接続する

準備

本機を別売のUSBケーブルを使ってコンピューターに接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。



ご注意

- コンピューターに接続するときは、USBコネクタの形と向きに注意してください。
- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。

USB接続を開始するには

ご注意

PC接続端子とバッテリー駆動のプロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R（別売）をコンピューターに同時接続している状態でPHU-220Rのバッテリーが消耗（Battery End）すると、以下を操作することはできません。

- コンピューターからのアクセスをガード
- メディア抜去相当の処理
- ビューファインダー画面にタリー点灯などユーザーへの警告表示

PC接続端子とコンピューターを別売のUSBケーブルを使って接続したとき、USB接続を有効にするか、無効にするかを確認する「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

「Cancel」を選択したり、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げた場合、またはUSBケーブルを抜いた場合は、「Connect USB Now?」のメッセージが消え、元の画面に戻ります。

Connect USB Now?

Execute

Cancel

「Execute」を選択し、MENUつまみを押すと、USB接続が有効になり、本機はコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。矢印（↑、↓、←、→）ボタン（26ページ参照）でも操作可能です。

USB Connecting

記録／再生動作中にUSB接続を許可した場合は、動作を停止し「USB Connecting（USB接続中）」をビューファインダー画面に表示します。

このとき、VIDEO OUT端子、HD/SD SDI OUT端子からの出力信号は黒画となります。

ご注意

- USB接続中は、本機で記録／再生などの操作はできません。
- コンピューターから本機の記録メディアにアクセス（読み書き）しているときは以下の操作を行わないでください。
 - 本機の操作（電源のオン／オフ、モード切り換えなど）
 - アクセス中の記録メディアを抜き差し
 - USB接続ケーブルの抜き差し

USB接続の解除方法

USB接続の解除は、コンピューターのデバイス取りはずし手順にしたがって操作します。

USBを再接続するときは、一度USBケーブルを抜いたあとに再度接続してください。再び「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

ご注意

i.LINKケーブルを使ってコンピューターを接続した場合は、本機のカードスロットに挿入された記録メディア内のファイルをコンピューターから操作することはできません。

SxSメモリーカードを取りはずすには

Windowsの場合

- 1 コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取りはずしまたは取り出し」アイコンをクリックする。
- 2 表示されたメニューから「SxS Memory Card ードライブ (X:) を安全に取りはずします」を選択する。

3 安全に取りはずすことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

Macintoshの場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」（イジェクトアイコン）にドラッグします。

ファインダー上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

アプリケーションソフトウェアを使うには

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（17ページ）をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

Explorer（Windows環境）やFinder（Mac環境）を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

ノンリニア編集システムを使うには

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

外部機器を接続する (i.LINK接続)

FAT

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集システムに接続して、記録した画像を編集することもできます。

ご注意

- i.LINK接続はFATモード時のみ有効です。
- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中に、メニューのOPERATION >FormatのHD/SD、HD System Line、System Frequency、Rec FormatやOPERATION >Input/Outputのi.LINK I/O、Down Converterなど、i.LINK (HDV/DV) 端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作ができなくなることがあります。
- i.LINK接続で外部入力信号を記録する場合は、HDVストリームのみ記録可能です。DVストリームを記録することはできません。

本機の画像を外部機器で記録する

本機で撮影している画像がi.LINK (HDV/DV) 端子を介してHDV またはDVストリームとして出力されます。本機の記録開始/停止操作に連動して、接続したHDVレコーダーやDVCAMレコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- メニューのOPERATION >Input/Output >Output & i.LINK (130ページ参照) をHD & HDVまたはSD & HDVに設定する。

HD & HDVまたはSD & HDV : HDモードでビデオフォーマットをHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.94P) に設定し、HDVストリームを出力するとき

SD & DV : DVストリームを出力するとき

- メニューのOPERATION >Input/Output >i.LINK I/OをEnableに設定する。
- メニューのMAINTENANCE >Trigger Mode >i.LINK Trigger Mode (162ページ参照) をBothまたはExternalに設定する。

Both: 本機のメモリーカードと外部機器の両方に記録するとき

External: 外部機器でのみ記録するとき

2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

- ◆外部機器の操作について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 本機で記録を開始する。

同期して外部機器が記録モードになります。

ビューファインダー画面のi.LINK接続機器の動作状態表示部 (38ページ参照) に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY 	HDV録画待機中
●REC 	HDV録画中
STBY 	DV録画待機中
●REC 	DV録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- i.LINK HDVの出力中に本機に挿入されている記録メディアに対して記録を行うと、記録を開始する直前でi.LINK HDV出力が約1秒間停止し、再開されます。

- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機のi.LINK (HDV/DV) 端子は6ピンです。接続するコンピュータのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャーしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合ビューファインダー画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

メニューのOPERATION >Input/Output >i.LINK I/OをEnableにしてください。

- ◆ ノンリニア編集ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

外部入力信号を記録する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した機器からのHDVストリーム入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。

タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入りに重畳されているタイムコードが記録されます。

ご注意

DVストリームは記録できません。

- 1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。
ビデオフォーマットをHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.94P) に設定します。
- 2 メニューのOPERATION >Input/Output (130ページ) で以下の設定を行う。
 - Output&i.LINKをHD&HDVまたはSD&HDVに設定
 - i.LINK I/OをEnableに設定
 - Source Selectをi.LINKに設定
 入力映像が、ビューファインダー画面や、VIDEO OUT端子に接続したモニターに表示されます。
音声信号は、内蔵スピーカー、EARPHONE端子に接続したヘッドホン、VIDEO OUT端子に接続したモニターのスピーカーから出力されます。

3 記録を開始する。

ご注意

- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、記録モードを解除してください。
 - 本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。
 - コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はTALLYランプ、ビューファインダー前面のタリールランプおよびビューファインダー画面のREC表示 (●REC) が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。
再び信号が入力されると記録が再開し、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

撮影／収録システムを構成する

本機に別売のCBK-HD02を装着すると、HDカメラアダプター CA-FB70を取り付けて、HDカメラコントロールユニットCA-TX70と接続することができます。

複数のカムコーダーやカメラエクステンションユニット、リモートコントロールユニットを接続して、撮影／収録システムを構成することができます。

◆ CA-FB70およびCA-TX70について詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機をこのシステムで使う場合、本機にビデオライトを接続しないでください。

9章 保守・点検

撮影前の点検

撮影に出発する前に点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。実際に記録／再生を行って映像や音声のチェックをすることをおすすめします。

保守

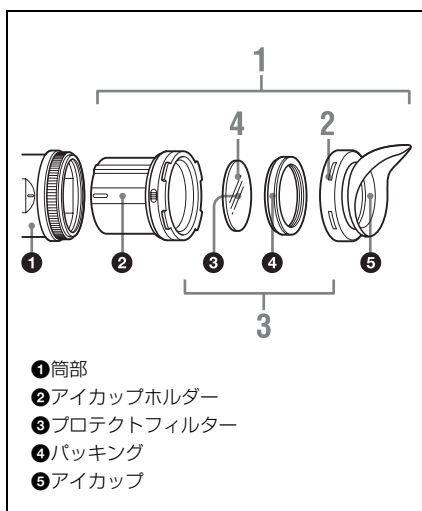
ビューファインダーをクリーニングする

筒部内のCRTスクリーンやミラーの表面からほこりを除去するには、ブローアをお使いください。
レンズとプロテクトフィルターのクリーニングには、市販のレンズクリーナーをお使いください。

ご注意

シンナーなどの溶剤はいっさい使わないでください。

アイピース部を分解するには (HDVF-20Aの例)



- 1 ビューファインダーの筒部からアイピース部をとりはずす。
 - ◆取りはずしかたについては、「アイピース部を取りはずす」（45ページ）をご覧ください。
- 2 アイカップホルダーからアイカップをはずす。
- 3 アイカップホルダー内から、プロテクトフィルターをパッキングごとはずす。
- 4 パッキングからプロテクトフィルターをはずす。

防曇フィルターについて

撮影場所の温湿度条件によっては、呼吸や水蒸気によってプロテクトフィルターが曇り、ビューファインダー内が見にくくなる場合があります。プロテクトフィルターの代わりに、別売りの防曇フィルター（サービスパーツ番号：1-547-341-11）を使用すると、くもりの発生を防ぐことができます。

防曇フィルターを取り付けるには

プロテクトフィルターをパッキングリングからはずし、代わりに防曇フィルターをパッキングリングにはめ込みます。アイピース部の防滴性を損なわないように、防曇フィルター、パッキングリングおよびアイカップは確実に組み立ててください。

ご注意

防曇フィルターをクリーニングする際は、防曇効果を損なわないように、柔らかい布でからぶきしてください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーバックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

エラー／警告システム

通電中または操作中に異常が発生すると、本機は次の方法で警告します。

- エラー／警告メッセージ（次表のA）
- WARNINGランプの表示（次表のB）、スピーカーやイヤホンからの警告音（次表のC）、タリー／REC表示（次表のD）、バッテリー残量表示（次表のE）

警告メッセージとREC表示はビューファインダー画面に表示されます。

警告音の音量は、ALARMつまみで調節できます。ALARMつまみを最小にすると、警告音は聞こえなくなります。

表の見かた

A	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	B	C	D	E
	警告内容	記録部の動作	処置	

- WARNINGランプ、タリー／REC表示およびバッテリー残量表示の記号の意味は次のとおりです。
 - ☀：点灯
 - ☀：1回／秒点滅
 - ☀：4回／秒点滅
- 警告音の記号の意味は次のとおりです。
 - ：連続音
 - ：1回／秒

エラー表示

E*****	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	☀	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	エラー（本機の異常）	記録は停止	電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。（POWERスイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックまたはAC電源をはずしてください。）再度電源を入れてもエラーが継続する場合は、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。	





警告表示

Media Near Full	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	☀	●●●●●●●●	☀	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に交換してください。	

Media Full	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。	記録は停止	交換してください。	
Battery Near End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーパックの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に充電してください。	
Battery End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。	記録は停止	DC INに電源をつなぐか、いったん操作を中止し、バッテリーパックを充電してください。	
Temperature High	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	内部温度が上昇しました。	記録は継続	いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。	
Voltage Low	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。	記録は継続	供給電源を確認してください。	
Insufficient Voltage	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●))))))))))))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。	記録は停止	他の電源に接続しなおしてください。	

Battery Error Please Change Battery.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーパックに異常が検出されました。	記録は停止	正常なバッテリーパックに交換してください。	
Backup Battery End Please Change.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バックアップ電池の残量が不足しています。	記録は継続	ソニーのサービス担当者または営業担当者に交換を依頼してください。	
Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。	記録は継続	本機では使用できませんので、交換してください。	
Reached Clip Number Limit Cannot Record to Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	1枚のメモリーカードに記録可能な最大クリップ数になりました。これ以上記録できません。	記録は停止	別のメモリーカードに交換してください。	
Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。	記録は停止	メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。	

Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。	記録は停止	再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。	
Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。	記録は停止	本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。	
Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ファイルシステムの異なるカードが挿入されました。	記録は停止	本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。	
Video Format Mismatch	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ビデオフォーマットの設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。	記録は停止	OPERATIONメニューのFormatの設定を外部入力信号に合わせて設定し直してください。	
Copy Protected Input Cannot Record	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。	記録は停止	入力信号を確認してください。	

DVCAM Input Signal! Cannot Record	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	i.LINK接続による外部入力信号がDVストリームのため、記録できません。	記録は停止	—	
Media Error Playback Halted	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。	記録は停止	頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。	
Media(A ¹) Error	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。	記録は停止	頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。	
HDD A ² Battery Near End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に交換してください。	
HDD A ² Battery End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。	記録は停止	いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。	
Not Enough Capacity Change Media (A ¹)	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードの残量が足りないため、コピーできません。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。	

Reached Duplication Limit Change Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	同名のクリップが10以上存在します。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。	
Not Enough Capacity Cannot Divide	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードの残量が足りないため、クリップを分割できません。	記録は継続（分割は不可）	—	
Will Switch Slots Soon	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	まもなくスロットを切り換えます。	記録は継続	スロットにメモリーカードが入っているか確認してください。	
No Clip	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	表示できるクリップがありません。	記録は継続	—	
No OK Clip	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	OKマークのついたクリップがありません。	記録は継続	—	
Same File Already Exists Change Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	同名のクリップが存在します。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。	

Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードの寿命がきました。	記録は停止	バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。詳しくは、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。	
Unsupported Clip Included Cannot Use Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	挿入したメモリーカードには本機で扱えないフォーマットで記録されたクリップが含まれています。	—	スロットAのカードは本機では使用できません。	
Fan Stopped	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ファンを回転させようとしたが回らない	—	高温下での使用を避け、電源を切って、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。	
Media was Ejected Just Now It Needs to be Restored	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	クリップコンテンツスレックモードで記録待機中にメディアを抜いたためメディアの修復が必要になりました(94ページ参照)。	記録は継続	抜いたメディアを再び本機に挿入して修復を実行してください(80ページ参照)。	
USB(Host)Over Current Remove USB Device	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	外部機器接続端子に過電流を検出したため端子の電源を遮断しました。(他の動作には影響しません。)	記録は継続	電源を切って外部機器接続端子に接続したWi-FiアダプターまたはUSBメモリーを抜いてください。	

1)スロットBに入れたカードの場合は(B)

2)スロットBに接続したHDDの場合はB

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2ページ)、「**▲**警告」(9ページ)、「**▲**注意」(13ページ)、「電池についての安全上のご注意」(12ページ)と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がります、好ましくありません。

使い終わったら

POWERスイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーをはずしておいてください。

輸送

- 記録メディアは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

レンズや光学フィルターの表面に付着したゴミやほこりは、ブロアーで吹き払います。

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、から拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は-5℃～+40℃）
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所
- 雨が当たる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

ズームレンズの取り付け

ズームレンズの取り付けかたを誤ると損傷することがあります。必ず「レンズの取り付けと調整」(48ページ)をご覧ください。

ビューファインダーについて

ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。

太陽光が接眼レンズを通して内部に焦点を結び、ビューファインダー内部を溶かすことがあります。

LCD (液晶) 画面について

本機のLCD (液晶) 画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり (画素欠け)、常時点灯している輝点 (赤、青、緑など) や減点がある場合があります。また、LCD画面の特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

CCD特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CCD (Charge Coupled Device) 特有の現象で、故障ではありません。

白点

CCD撮像素子は非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはCCD撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき

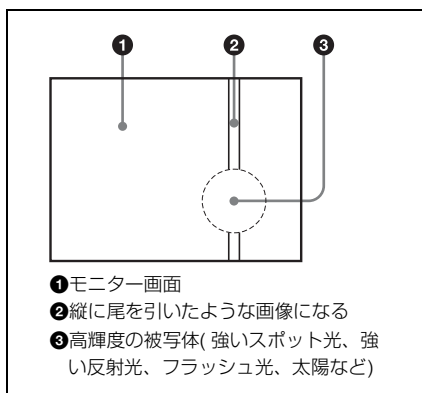
- マスターゲイン (感度) を上げたとき

また、SLSモードでシャッタースピード (フレーム数) を大きな値に設定していくと、白点が見えやすくなります。

メニューのMAINTENANCE > APR (162ページ参照) でAPRを実行すると、補正機能が働き、現象が改善することがあります。ブラックバランスの自動調整 (61ページ参照) でも補正機能 (ピクセルノイズリダクション) が働きますが、検出回数に制限があります。より確実に補正するには、APRを実行してください。

スミア現象

強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上に縦線や画乱れが発生することがあります。



繰り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット (初期化) してください。

長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化 (フラグメンテーション) して、

映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、メニューのOPERATION >Format Media（129ページ参照）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

内蔵時計用電池の交換

本機内に内蔵時計用のリチウム電池が装着されています。ビューファインダー画面に“BackUp Battery End”の表示が出たら電池の交換が必要ですので、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

主な仕様

一般

電源電圧

DC 12 V (11 V～17.0 V)

消費電力

約27 W (本体のみ)、記録時、LCDモニター点灯時

ご注意

- 消費電力が50Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
- DC OUT端子には消費電流が0.5A以下の機器を接続してください。

動作温度

-5℃～+40℃

保存温度

-20℃～+60℃

記録／再生フォーマット

UDFモード

• HD422

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 422P@HL
 ビデオレート：50Mbps/CBR
 ビデオサンプル数：1920×1080、1280×720
 ビデオプロキシ：MPEG-4
 オーディオ：LPCM 4CH、24bit、48kHz
 オーディオプロキシ：A-law

• HD420

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 MP@HL(1440)
 ビデオレート：35Mbps/VBR
 ビデオサンプル数：1920×1080、1440×1080
 ビデオプロキシ：MPEG-4
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz
 オーディオプロキシ：A-law

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 MP@HL
 ビデオレート：35Mbps/VBR
 ビデオサンプル数：1280×720
 ビデオプロキシ：MPEG-4
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz
 オーディオプロキシ：A-law

• IMX

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 422P@ML Intra
 ビデオレート：50Mbps
 ビデオサンプル数：720×480(NTSC)/576(PAL)
 ビデオプロキシ：MPEG-4
 オーディオ：LPCM 4CH、24/16bit、48kHz
 オーディオプロキシ：A-law

• DVCAM

ビデオレート：25Mbps
 ビデオサンプル数：720×480(NTSC)/576(PAL)
 ビデオプロキシ：MPEG-4
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz
 オーディオプロキシ：A-law

FATモード

• HD420

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 MP@HL
 ビデオレート：35Mbps/VBR
 ビデオサンプル数：1920×1080、1280×720
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 MP@HL(1440)
 ビデオレート：35Mbps/VBR
 ビデオサンプル数：1440×1080
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz

ビデオ圧縮方式：MPEG-2 MP@H14
 ビデオレート：25Mbps/CBR
 ビデオサンプル数：1440×1080
 オーディオ：LPCM 4CH、16bit、48kHz

• DVCAM

ビデオレート：25Mbps
 ビデオサンプル数：720×480(NTSC)/576(PAL)
 オーディオ：LPCM 2CH、16bit、48kHz

記録再生時間
SBP-32/SBS-32G1A使用時 FATモード HQ：約100分 SP：約140分 DVCAM：約130分 UDFモード HD422 50/IMX50：約60分 HD420 HQ：約90分 DVCAM：約110分
SBP-64A/SBS-64G1A使用時 FATモード HQ：約200分 SP：約280分 DVCAM：約260分 UDFモード HD422 50/IMX50：約120分 HD420 HQ：約180分 DVCAM：約220分
ご注意
記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
連続操作時間
約145分 (BP-L80S使用時)
質量
本体のみ：約3.4 kg
外形寸法
206ページ参照
付属品
205ページ参照
カメラ部
撮像素子
$\frac{2}{3}$ 型、CCD 有効画素数 1920(H)×1080(V)
方式
RGB 3板方式
分光系
F1.4プリズム方式
NDフィルター
1：クリア 2： $\frac{1}{4}$ ND 3： $\frac{1}{16}$ ND 4： $\frac{1}{64}$ ND
感度
F11 (システム周波数：59.94i) F12 (システム周波数：50i) (2000lx、反射率89.9%、3200K)
最低被写体照度
0.016 lx (F1.4、+42 dB、16フレーム蓄積)

映像S/N
54 dB (Noise Suppress Off) 59 dB (Noise Suppress On)
水平解像度
1000TV本以上
変調度
45%以上 (27.5MHz、画面中央)
黒レベル
3±1% (メニューのBlackを [±0] に設定したとき)
ゲイン
-6、-3、0、3、6、9、12、18、24、30、36、42 dB、AGC
シャッタースピード
59.94i/P、50i/P： $\frac{1}{60} \sim \frac{1}{2000}$ 秒 29.97P： $\frac{1}{40} \sim \frac{1}{2000}$ 秒 25P： $\frac{1}{33} \sim \frac{1}{2000}$ 秒 23.94P： $\frac{1}{32} \sim \frac{1}{2000}$ 秒
スローシャッター
2～8、16フレーム
ダイナミックレンジ
600% 460% (1080/29.97P、1080/25P、1080/23.98P)
スミア
-135dB

オーディオ部

サンプリング周波数
48kHz
量子化特性
16/24ビット
ヘッドルーム
20 dB (工場出荷時) (20、18、16、12 dB)、EBU
周波数特性
20Hz～20kHz (±3dB以内)
ダイナミックレンジ
90 dB (Typical)
ひずみ率
0.08%以下 (入力レベル-40dBu時)
内蔵スピーカー
モノラル 出力：300 mW

表示部

LCDモニター

画面サイズ

対角8.8 cm (3.5型)

アスペクト比

16:9

画素数

640 (H) × 3 × 480 (V)デルタ配列

透過方式

ハイブリッド (半透過) 型

メディア部

カードスロット

形状: Express Card34

スロット数: 2

端子: PCMCIA Express Card準拠

書き込みレート

50 Mbps以上

読み出しレート

50 Mbps以上

入出力部

入／出力端子

入力

GENLOCK IN : BNC型

1.0Vp-p、75Ω、不平衡

TC IN : BNC型

0.5V~18Vp-p、10kΩ

AUDIO IN CH-1/CH-2 : XLR型、3ピン、凹

(自動検出切り換え機能付)

MIC : -70~-20dBu

LINE : +4、0、-3dBu

MIC IN : XLR型、5ピン、凹

-70~-20dBu

WRR CH1/CH2 : D-sub 15pin

WRRアナログ : -40dBu

WRRデジタル : -40dbFS

HD/SD SDI : オプション装着時

オーディオ4チャンネル

出力

VIDEO OUT : BNC型、SDアナログコンポジット/HD-Y切り換え

HD/SD SDI OUT : BNC型

0.8Vp-p、不平衡 (HD/SD切り換え)

SMPTE292M/259M規格準拠

オーディオ4チャンネル (CH1~CH4)

AUDIO OUT : XLR型、5ピン、凸

+4、0、-3dBu (平衡)

TC OUT : BNC型

1.0Vp-p、75Ω

EARPHONE (ステレオミニジャック)

8Ω、5mW

その他

DC IN : XLR型、4ピン、凸

DC11~17V

DC OUT : 4ピン

DC11~17V、最大定格電流

0.5A

LENS : 12ピン

レンズへの電源供給

DC11~17V、最大定格電流 1.0A

REMOTE : 8ピン

LIGHT : 2ピン

USB : 4ピン (Aタイプ)、4ピン (Bタイプ)

ブ)

i.LINK (HDV/DV) : 6ピン、IEEE1394準拠

VF : 角型26ピン、丸型20ピン

ワイヤレスレーザー用 : D-sub 15ピン

付属品

ショルダーベルト (1)
 コールドシューキット (1)
 レンズマウントキャップ
 OPERATION MANUAL
 日本語版 (1)
 英語版 (1)
 CD-ROM
 Manuals for Solid-State Memory
 Camcorder (PDF版OPERATION
 MANUAL、SUPPLEMENTを収録) (1)

関連機器

オプションキー

SD記録再生キー
 CBK-MD01

電源関連

ACアダプター
 AC-DN10/DN2B

バッテリーパック
 BP-L80S

バッテリーチャージャー
 BC-L160/L500/L70

レンズ、ビューファインダーおよび関連機器

レンズ
²/₃型バヨネットマウントレンズにのみ対応

ビューファインダー
 HDVF-200/20A/C35W/C950W/C730W
 CBK-VF01

ビューファインダー回転収納機構
 BKW-401

リモートコントロール用機器

リモートコントロールユニット
 RM-B170/B750
 RCP-1000/1001/1500/1501/1530

SDI/COMPOSITEインプットアンド50ピンインターフェイス
 CBK-HD02

HDカメラアダプター
 CA-FB70 (別売のCBK-HD02装着時)

HDカメラコントロールユニット
 CA-TX70

MPEG TSアダプター
 HDCA-702 (別売のCBK-HD02装着時)

Wi-Fiアダプター
 CBK-WA01

USB無線LANモジュール
 IFU-WLM3

ワイヤレスアダプター
 CBK-WA100

メディアアダプター

MEAD-MS01 (メモリースティック用)
 MEAD-SD02 (SDHCカード用)

XQD ExpressCardアダプター

QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)

記録メディア

SxSメモリーカード
 SxS PRO SBP-32 (32 GB)
 SxS PRO SBP-64A (64 GB)
 SxS-1 SBS-32G1A (32 GB)
 SxS-1 SBS-64G1A (64 GB)

ハードディスクユニット
 PHU-220R (FATモード時)

オーディオ機器

マイクロホン
 ECM-678/674/673/680S

マイクホルダー
 CAC-12

ワイヤレスマイク
 DWR-S01D
 WRR-855S/860C/861/862

その他の周辺機器

三脚アタッチメント
 VCT-14/U14

ビデオライト
 UC-D200A(日本ビデオシステム社製)
 ウルトラライト (アントンパワー社製)

パッド
 ソフトタイプショルダーパッドCBK-SP01

保守用製品、操作／取り扱いを容易にするための製品

ハードキャリングケース

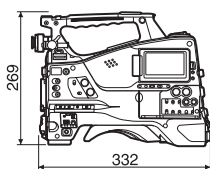
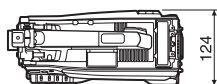
LC-H300

ソフトキャリングケース

LC-DS300SFT

メンテナンスマニュアル

外形寸法



(単位: mm)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

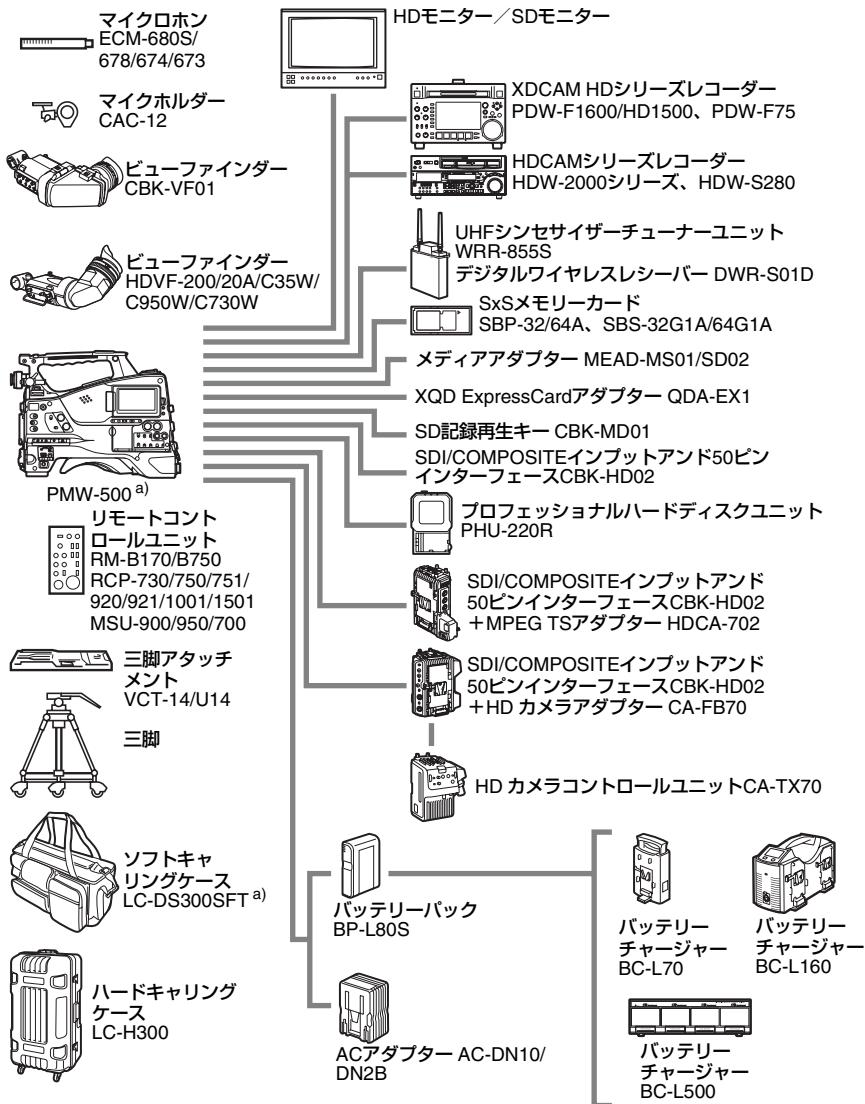
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

周辺機器・アクセサリ一覧図



a) レンズおよびマイクロホンを装着したままでも収納できます。ただし、それぞれの装着時の長さがカムコーダー本体の前面端から25cmを超える場合は取りはずしてください。

i.LINKについて

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDVまたはDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度 約100Mbps¹⁾）

S200（最大転送速度 約200Mbps）

S400（最大転送速度 約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

1)最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビットパーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK（HDVまたはDV）対応機器と接続して使用する方法については、187ページをご覧ください。

接続の際にご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトウェアの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製の6ピン↔4ピンまたは6ピン↔6ピンのi.LINKケーブルをお使いください。

i.LINKとは商標です。

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseの下、次の用途に限りライセンスされており、その他の用途に関してはライセンスされていません。

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG-4 Videoといいます）にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、もしくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

プロモーション、営利目的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページ <<http://www.mpegla.com>>を参照してください。

MPEG LAは、(i) MPEG-4 Visualビデオ情報を記録した媒体（PACKAGED MEDIA）を製造し、販売する行為、(ii) MPEG-4 Visualビデオ情報を何らかの方法（オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV放送など）で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。その他の使用方法につきましても、MPEG LAからのライセンス取得が必要な場合があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。
MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ： <http://www.mpegla.com>

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C.,（住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ： <http://www.mpegla.com>

ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したりコービットマップフォントを使用しています。

OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

OpenSSL License

/*

=====
=====

- * Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- *
- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- *
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
- * the documentation and/or other materials provided with the
- * distribution.
- *
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
- * software must display the following acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
- * endorse or promote products derived from this software without
- * prior written permission. For written permission, please contact
- * openssl-core@openssl.org.
- *
- * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
- * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
- * permission of the OpenSSL Project.
- *
- * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
- * acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

```

*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====
=====

```

```

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

```

Original SSLeay License

```

-----

```

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

```

- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publicly available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */

索引

五十音順

記号・数字

！（注意）ランプ 35

ア行

アイカップ 32, 33

アイリス（絞り）

自動設定 66

ポジション表示 40

明るさ調整 34

アクセサリー 207

アクセサリーシュー 18

アサインブルスイッチ 170

アダプター接続端子 18

色温度

切り換え 63

表示 37

インターバルレック機能 88

映像レベル注意表示 39

エクステンダー表示 35

エクスパンドサムネイル画面

表示 118

分割数を増やす 119

エッセンスマークサムネイル画面 119

オーディオ調整部 25

保護カバー 24

オーディオレベルメーター 39

音声入力 50

音声レベル

記録レベルの調整 68

再生音の調整 21

メーター 31, 39

カ行

外部機器

記録 187

制御表示 38

接続 182

外部機器接続端子 28

外部電源入力表示 37

外部入力

記録 188

設定表示 39

カメラアダプター 18

カメラマンタリーランプ 32

間欠記録 88

輝度レベル表示 39

記録

外部機器 187

外部入力信号 188

ショットマーク 86

プロキシデータ 96

記録モード 60

特殊モード設定表示 37

特殊モード表示 36, 37

記録・レッドタリーランプ 35

グリーンタリー表示 36

グリーンタリーランプ 34

クリップ

頭出し 107

一括コピー 117

一括削除 117

エクスパンドサムネイル画面でサーチ

..... 107

エッセンスマークサムネイル画面で

サーチ 108

コピー 116

コンピューターで管理・編集 184

再生 84, 106

削除 85, 117

サムネイルの選択 106

詳細情報 113

操作 103

代表画の変更 120

名前の設定 100

プロキシデータ	96
分割	121
保護	115
クリップコンテンツスレック	94
警告システム	192
ゲイン値表示	39
コネクタ	32, 33
コマ撮り	90
コントラスト調整	34

サ行

撮影	76
サムネイル	
インジケータ	26
操作	109
サムネイル画面	103
オールクリップサムネイル画面	112
種類の変更	111
操作部	25
操作部の保護カバー	24
OK クリップサムネイル画面	111
三脚	
取り付け	55
マウント	19
シーンファイル	
保存	177
呼び出し	177
時刻の設定	47
システムの構成	189
システムライン数表示	37
視度調整リング	32, 33
絞り (アイリス)	
ポジション表示	40
シャッター	64
シャッタースピード	65
表示	39
周辺機器	207
仕様	202
使用地域の設定	46
初期設定	126, 176
ショットデータ	73

ショットマーク	
記録	86
再生中に追加	107
削除	120
追加	120
名前を設定	101
ショット ID	73
ショルダーパッド	19
位置調整	57
ショルダーベルト	
取り付け	56
取り付け金具	18
スイッチカバー	23
ズーム	
ポジション表示	36
ステータス画面	74
アサインブルスイッチ	74
オーディオ	74
カメラ	74
バッテリー/メディア	75
ビデオ	74
スピーカー (内蔵)	23
スライドストッパー	32, 33
スロー&クイックモーション撮影	92
接続	182
モニター	182
i.LINK (HDV/DV)	187
設定/状態の確認	74
設定データ	
保存	174
呼び出し	175
セットアップメニュー	122
基本操作	124
ゼブラパターン	34

タ行

代表画	104, 105
変更	120
タイムカウンター表示	31
タイムコード	
外部ロック	71
設定	70

表示	39
タイムデータ	70
タリランプ	32, 33
デジタルエクステンダー	35
電圧表示	37
電気色温度フィルター表示	39
電氣的 CC フィルター	
切り換え	63
点検	190
電源	41
電子シャッター	64
電池交換	201
動作状態表示	36
i.LINK 接続機器	38
時計	47
電池交換	201

ナ行

入力ソース表示	39
ノンリニア編集	186, 188

ハ行

バッテリー (パック)	41
残量表示	32, 37
電圧表示	37
取り付け部	18
ピーキング調整	34
ピクチャーキャッシュ機能	87
被写界深度表示	37
ヒストグラム表示	40
日付の設定	47
ビデオフォーマット	58, 114
ビデオライト	56
ビューファインダー	33
アイピース部の取りはずし	45
位置の調整	43
回転収納機構	44
画面	35
画面の調整	45
クリーニング	190
ケーブル	34

左右位置固定リング	18
視度の調整	45
前後位置固定レバー	18
前後位置 LOCK つまみ	19
取り付け	43
取り付けシュー	18
表示	34
HDVF-20A (別売り)	32
ビューファインダーケーブル	33
標準設定	126
表示ランプと状態表示	32
フィルター表示	39
フォーカス	
ポジション表示	36
モード表示	38
フォーマット (初期化)	79, 81
ブラックバランス調整	61
フランジバック調整	49
プランニングメタデータ	98
フリーズミックス機能	95
フレーミング	85, 95
フレームレック機能	90
プロキシデータ	96
保守	190
ホワイトバランス	
調整	62
メモリー表示	39

マ行

マイクホルダー	33, 34
取り付け部	19
マイクロホン	50
メディア	
残量表示	32, 40
状態表示	36
プロテクト (ロック)	77
メニュー	
一覧	127
基本操作	124
FILE メニュー	165
MAINTENANCE メニュー	151
OPERATION メニュー	128

PAINT メニュー	145
THUMBNAIL メニュー	109
USER メニュー	127
モニター	182

ヤ行

矢印ボタン (←、→、↑、↓)	26
ユーザービット設定	71
ユーザーファイル	174, 180

ラ行

ライブアンドプレイ機能	85
ライン入力用オーディオ機器の接続	54
リセット	126, 176
レックレビュー	84
レッドタリーランプ	35
レンズ	
ケーブルクランプ	19
固定レバー	19
取り付け	48
マウント	19
マウントキャップ	19
マウントゆるみ止めゴム	19
レンズファイル	
自動呼び出し	180
設定	178
保存	178
呼び出し	179

ワ行

ワイヤレスレシーバー受信レベル表示	36
-------------------------	----

アルファベット順

A

AC 電源	42
ACCESS ランプ	24, 28, 78
ALARM つまみ	21
ASSIGN. 0 スイッチ	21
ASSIGN. 1/2/3 スイッチ	21

ASSIGNABLE 4/5 スイッチ	27
ATW (Auto Tracing White balance)	22
AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4 スイッチ	27
AUDIO IN CH-1/CH-2 端子	30
AUDIO IN 切り換えスイッチ	30
AUDIO OUT 端子	30
AUDIO SELECT CH 3-4 スイッチ	26
AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチ	27
AUTO W/B BAL スイッチ	20
AV 単独ファイル	104

B

BATT ランプ	35
BKW-401	44
BRIGHT つまみ	32, 34

C

COLOR TEMP. ボタン	21
CONTRAST つまみ	32, 34

D

DC IN 端子	18
DC OUT 12V 端子	18
DCC (Dynamic Contrast Control) 機能	22
DISP SEL/EXPAND ボタン	24
DISPLAY/ASPECT スイッチ	33
DISPLAY スイッチ	25, 34

E

EARPHONE 端子	29
E-E (Electric to Electric)	23
ESSENCE MARK ボタン	26

F

F FWD ボタン/ランプ	24
F REV ボタン/ランプ	24
FILTER つまみ	20
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ	26

G

GAIN スイッチ 22

GENLOCK IN 端子 28

H

HD/SD SDI OUT 端子 30, 183

HOLD ボタン 25

I

i.LINK 208

 ケーブル 208

 接続 187

i.LINK (HDV/DV) 端子 30, 183

L

LCD モニター 23

LENS 端子 19

LEVEL CH1/CH2/CH3/CH4 つまみ 26

LIGHT スイッチ 17

LIGHT 端子 19

M

MENU CANCEL/PRST/ESCAPE スイッチ
..... 23

MENU ON/OFF スイッチ 22

MENU つまみ 20

MENU ボタン 26

MIC IN (+ 48V) 端子 19

MIC LEVEL つまみ 20

MIRROR スイッチ 34

MONITOR スイッチ 21

MONITOR つまみ 21

MPEG TS アダプター 18

N

ND フィルター 20

NEXT ボタン 24, 107

O

OK/NG/KP マーク 104, 114

 削除 115

 設定 87

 付加 114

OUTPUT/DCC スイッチ 22

P

PC 接続端子 28

PEAKING つまみ 32, 34

PLAY/PAUSE ボタン/ランプ 24, 106

POWER スイッチ 17

PRESET/REGEN/CLOCK スイッチ 26

PREV ボタン 24, 107

R

REC START ボタン 20

REMOTE 端子 30

RESET/RETURN ボタン 25

S

SDI IN 端子 28

SET ボタン 26

SHIFT ボタン 26

SHUTTER スイッチ 20

Slow & Quick 92

STOP ボタン 24

SxS メモリーカード 76

 入れかた 77

 切り換え 78

 交換時期 80

 誤消去防止 77

 残量確認 80

 修復 80

 取り出しかた 78

 フォーマット (初期化) 79

SxS メモリーカードスロット 28

 スロットカバー 28

 EJECT ボタン 28

 SLOT SELECT ボタン 28

T

TALLY スイッチ	29, 32, 34
TALLY ランプ	29
TC IN 端子	29
TC OUT 端子	29
THUMBNAIL ボタン	26
THUMBNAIL メニュー	109
基本操作	111
TLCS 制御モード表示	38

U

UHF ポータブルチューナーの取り付け ...	52
USB 接続	185
USB メモリー	81
フォーマット	81

V

VIDEO OUT 端子	29
VTR SAVE ランプ	35

W

WARNING ランプ	24
WHITE BAL スイッチ	22
Wi-Fi アダプター	28

Z

ZEBRA スイッチ	33, 34
------------------	--------

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。

従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

PMW-500
(SYM)
4-260-130-06(1)

Sony Corporation

<http://www.sony.co.jp/>

©2010